

令和4年度

主要な施策の成果調書

愛媛県伊予市

目 次

| | |
|----------------------|----|
| 1 一般会計 | 1 |
| (1) 議会費 | 1 |
| (2) 総務費 | 1 |
| (3) 民生費 | 7 |
| (4) 衛生費 | 21 |
| (5) 労働費 | 29 |
| (6) 農林水産業費 | 29 |
| (7) 商工費 | 39 |
| (8) 土木費 | 45 |
| (9) 消防費 | 51 |
| (10) 教育費 | 51 |
| (11) 災害復旧費 | 59 |
| 2 国民健康保険特別会計(事業勘定) | 61 |
| 3 国民健康保険特別会計(診療施設勘定) | 61 |
| 4 介護保険特別会計 | 61 |
| 5 飲料水供給施設特別会計 | 63 |
| 6 浄化槽整備特別会計 | 63 |
| 7 農業集落排水特別会計 | 63 |
| 8 伊予港上屋特別会計 | 65 |
| 9 後期高齢者医療特別会計 | 65 |
| 10 都市総合文化施設運営事業特別会計 | 65 |

(1) 議会費

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|-------------------------------|---------|---------|---------|
| 議会だよりの発行(1. 1. 1) | 1,483 | 市 | 費 1,483 |
| 会議録発行及び会議録検索システム運用事業(1. 1. 1) | 2,903 | 市 | 費 2,903 |

(2) 総務費

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|--------------------------|---------|---------|------------------|
| 行政改革推進事務(2. 1. 2) | 1,048 | 市 | 費 1,048 |
| 関東「ふるさと伊予市」開催事業(2. 1. 2) | 2,049 | 県市 | 費費 950 1,099 |
| 広報紙の発刊(2. 1. 3) | 6,857 | 諸市 | 収入費 675 6,182 |
| 出納事務事業(2. 1. 5) | 14,571 | 市 | 費 14,571 |
| 移住・定住推進事業(2. 1. 7) | | | |
| ①移住・定住推進事業 | 5,500 | 市 | 費 5,500 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|---|---|
| 年4回全戸へ配布 A4版 5月1日発行 16ページ 14,300部 8月1日発行 20ページ 14,300部 11月1日発行 20ページ 14,300部 2月1日発行 14ページ 14,300部 | 議会広報調査特別委員会6名が中心となり、読みやすく親しみをもてる紙面づくりに努めた。 市民の議会に対する関心と理解を得るとともに、議会活動の周知が図られた。 |
| ・伊予市議会会議録発行 A4版 年4回 各回35部発行 ・伊予市議会会議録検索システム運用 ・伊予市議会インターネット映像配信業務 | 定例会及び臨時会の会議録を作成し、議会内容を市民の閲覧に供するとともに、関係者に配布し、議会活動資料として活用した。 伊予市議会会議録検索システムについて、定例会、臨時会ごとにデータ更新を行い、広く議事内容を公開し、市民の関心を深めた。 録画配信を始めたことにより、議事内容と映像を同時に確認できるようにした。 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|---|---|
| 行政評価事業 ・令和3年度事務事業評価 (自己・一次・二次判定、最終判断) 事務事業数 565件 うち、評価対象数 334件 評価対象外数 231件 ・令和3年度施策評価 行政評価施策評価 24施策 ・行政評価委員会(外部評価) 委員数 6人 開催数 8回 評価数 22件 ・評価内容の公開 意見公募 7月1日～29日 結果公表 平成24～令和3年度 | 事務事業評価から事業成果の判定、行政活動の成果の振り返りとともに次年度以降の方針確定までのPDCAサイクルが一定定着し、評価の過程と結果について議会報告や市民へ公表を行い、説明責任を果たすことができた。また、評価対象の事務事業の圧縮を図ることで評価事業の効率化に向けて取り組むこととした。 外部評価について、ロジックモデルの考え方を意識することで、事業評価や成果指標の観点を重視し、事業実施の意図や現状の理解が向上した。 |
| 発起人会 日時:令和4年8月25日 場所:東京都渋谷区 参加人数:14人 設立総会 日時:令和5年1月28日 場所:東京都渋谷区 参加人数:65人 | 伊予市出身者や伊予市を応援して下さる方々と伊予市をプラットフォームにネットワークを作り、思いを同じくする方々で親睦や交流を深めることで、イノベーション(新たな価値の創造)、関係人口、交流人口、そして定住人口の創出を図り、「夢つながり3万人が住み続けられる伊予市」の実現を目指すために、令和5年1月に関東「ふるさと伊予市」を設立した。 |
| 毎月1回全戸へ配布 A4版 24ページ 14,500部(3回) 28ページ 14,500部(5回) 32ページ 14,500部(2回) 34ページ 14,500部(1回) 36ページ 14,500部(1回) | より多くの市民に楽しんで読んでもらえるよう、写真の掲載を多くし、余白の効果的な取り入れ等、読みやすい紙面づくりに取り組んだ。 |
| 公金収納事務 ・トータル収納システム R4年度収納済通書件数 90,748件 ・コンビニ収納(スマホアプリ含む) R4年度コンビニ収納件数 36,452件 公金支払事務 支出命令証憑総件数 48,253件 内 口座振替証憑 33,376件 窓口払証憑 1,046件 訳 別途払証憑 13,831件 | 公金の収納及び支払事務について、正確で迅速かつ効率的な事務処理を目指して取り組んだ。 収納事務については、「トータル収納システム」の運用を平成28年9月30日に開始して事務の効率化を図ってきた。それに併せて「コンビニ収納」を開始し、令和4年度においては令和元年度から運用を開始した「スマホアプリ」の拡充を図り、納税等において市民や事業所等の利便性を向上することができた。 支払事務については、窓口払を口座振替に切り替えることにより安全性・効率性の確保を図ることができた。 |
| 移住定住推進事業 移住相談件数 287件 移住者数 78人 移住・定住ワンストップ窓口の運営 ◎移住サポートセンター「いよりん」運営 ◎空き家バンクの運営(「いよりん」内) ◎移住動画の制作 ◎移住フェアへの出展等 10回 | 移住相談窓口の中心的役割を担う移住サポートセンターでは、3名体制で相談を受け付けた。移住相談件数は昨年度をわずかに下回った一方、移住者数は昨年度から1割程度増加した。 これまで、移住漫画という特色あるコンテンツを作成したことに加え、12月に本市単独による移住関連イベントを東京都世田谷区で開催。13名の参加があり、今後、本市単独企画の実施による効果の可能性が感じられた。 また、情報発信の一環で、本市地域おこし協力隊員の暮らしぶりを紹介する移住動画を制作した。全国番組での放映により、本市に移住後の生活イメージを広域に伝えた。 |

| 種目及び事業名 | | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|------------------------------|----------------------------|---------|---------------|---|
| | ②移住者住宅改修支援事業 | 1,600 | 県市 | 費 800 800 |
| 総合計画等推進事業(2.1.7) | | 1,359 | 諸市 | 収 入 費 1,045 314 |
| ふるさと納税事業(2.1.7) | | 41,037 | 市 | 費 41,037 |
| 地域力創造アドバイザー事業(2.1.7) | | 2,805 | 市 | 費 2,805 |
| 下灘コミュニティセンター空調和設備改修事業(2.1.8) | | 1,925 | 市 | 費 1,925 |
| 交通安全対策事業(2.1.10) | | 3,963 | 市 | 費 3,963 |
| 情報化推進事業(2.1.12) | | | | |
| | ①情報化推進事業 | 75,234 | 国 諸市 | 費 入 費 1,760 1,210 72,264 |
| | ②新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 | 72,249 | 国 | 費 72,249 |
| 防災行政無線等管理費(2.1.13) | | 34,961 | 市市 市 負担 | 債 費 金 9,100 25,761 100 |
| 自主防災組織活動事業費(2.1.13) | | 1,083 | 市 | 費 1,083 |
| 感染症拡大防止対策備蓄物資等整備事業(2.1.13) | | 3,830 | 国 | 費 3,830 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|--|--|
| <p>移住者住宅改修支援事業</p> <p>移住者による空き家の改修</p> <p>1件</p> | <p>子育て世帯及び働き手世帯の移住者を対象とした空き家の改修支援事業であり、子育て世帯の利用があった。平成29年度の空き家バンク開設以降、本事業による空き家活用のモデルケースが蓄積されており、空き家利活用の機運醸成につながっている。</p> |
| <p>総合計画後期基本計画進捗管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民討議会 <ul style="list-style-type: none"> 開催日 9月25日 参加人数 69人 ・市民満足度調査 <ul style="list-style-type: none"> 対象者 1,500人 回答数 527人 ・SDGs×DX推進プロジェクト(庁内組織) <ul style="list-style-type: none"> 委員数 20人 開催数 9回 ・事業者向けSDGs連続セミナープロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 開催数(特別回を含む) 6回 | <p>昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となっていた市民討議会を再開、過去最高の人数が参加し、第2次総合計画後期基本計画を踏まえた積極的な討議が行われ、市政参加の機運を高めることができた。</p> <p>8月に市民満足度調査を実施、Webでの回答も可能とし広く市民の意見を聴取する工夫に努め、広報紙やホームページにて結果を公表した。</p> <p>職員で組織するSDGs推進プロジェクトとDX推進プロジェクトが共同で4つの班に分かれ協議を重ね、SDGs及びDXの推進に向けた事業の提案と具現化に向けた取組を推進した。</p> <p>また、事業者向けにSDGs連続セミナーを実施し、SDGsの理念や考え方への意識向上と事業者同士の交流促進を図った。</p> |
| <p>ふるさと納税を推進し、財政基盤の強化及び自主財源の確保を図る。制度を通じて伊予市の魅力を全国に発信するため、寄附者へのお礼として伊予市の逸品を贈る。</p> <p>寄附件数 5,181件</p> <p>寄附金額 84,511千円</p> | <p>昨年度までは利用ポータルサイトがふるさとチョイスの1件のみだったが、楽天ふるさと納税、auPayふるさと納税、セゾンのふるさと納税、さとふるを追加し合計5件となった。また、返礼品についても64件から200件に増えたことが寄附額増加につながった。</p> |
| <p>職員研修会(勉強会) 6回</p> <p>意見交換会 3回</p> <p>アドバイザー助言・支援 19日</p> | <p>全国の自治体職員や地域で活躍する人材とのネットワークのある地域力創造アドバイザーを導入することにより、地域創生を担う中核的な人材を育成するための研修会や意見交換会を開催する中で、一般財団法人地域活性化センターとの連携協定も活かされ、職員の人材育成の推進にもつながった。</p> <p>また、部署横断型業務やオフィス改革など多岐に渡る助言や支援を得ることができ、職員間の連携意識も芽生えるきっかけができた。</p> |
| <p>空調設備改修工事設計業務</p> <p>既存設備 室内機47台</p> <p>室外機8台</p> | <p>下灘コミュニティセンターの空調設備は、平成12年の建築時点から使用している物であり、20年以上経過している。今後も地域コミュニティの重要な施設として長寿命化を図る必要があることから、老朽化の著しい空調機について改修を行うこととなった。改修に当たっては現在使用している空調設備の修繕部品が無いことから、更新工事の実設計業務を委託することで、事務の簡素化及び工事費の適正価格の算出を合理的に実施することができた。</p> |
| <p>防護柵設置等工事</p> <p>市道鳩ヶ岡七反線防護柵補修工事 13.7m</p> <p>交通環境整備事業</p> <p>市道本郡中村線外区画線設置工事ほか2線</p> <p>1,855m</p> <p>道路反射鏡設置</p> <p>新設5件</p> <p>修繕10件</p> <p>撤去4件</p> | <p>防護柵、交通環境整備、道路反射鏡の設置・修繕により交通安全性の向上が図られた。地域からの再設置や新規設置要望に対しては、現地確認と交通安全協会各支部と協議を行い、連携を密にし適切に対応できた。</p> |
| <p>情報化推進に係る主な費用</p> <p>公共ネットワーク専用回線使用料 13,226千円</p> <p>財務会計等内部情報システムクラウド利用料 8,527千円</p> <p>職員業務用パソコンリース料 8,481千円</p> | <p>行政事務の効率化・高度化を支えるための情報基盤の安定した稼働とともに、働き方改革に対応した整備に伴う新たな環境の維持や効率的・効果的な業務プロセスの検証を行い、確実なセキュリティの実施と市民サービスの向上を図った。</p> |
| <p>情報セキュリティ強化サーバ環境構築業務 53,130千円</p> <p>無線LAN環境構築整備業務 13,597千円</p> <p>本庁舎各階ネットワーク機器整備業務 5,522千円</p> | <p>急速なデジタル化の進展と巧妙なサイバー攻撃が増加している状況への対策強化として、新たにサーバを構築し確実なセキュリティ対策を施すとともに、インターネット環境の利用効率化を図り、併せてペーパーレスでの業務が促進される環境の整備を行った。</p> |
| <p>防災行政無線維持管理経費 17,480千円</p> <p>防犯・防災情報配信システム維持経費 751千円</p> <p>防災行政無線個別受信機設置工事 264台</p> | <p>土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)及び防災行政無線難聴区域への戸別受信機の配布・設置が完了し、市内全域での防災情報の円滑かつ確実な伝達に資することができた。</p> |
| <p>自主防災組織活動事業費補助</p> <p>交付件数 10件</p> <p>交付金額 664千円</p> <p>防災士資格取得者 12人</p> | <p>コロナ禍にあっても、各地域へ研修等の案内や啓発を行うことによりオンライン研修に自主防災会役員が積極的に参加したり、防災士養成講座には昨年に引き続き高校生が受講するなど、地域住民の防災意識の向上が図れた。また、避難所開設時における運営訓練や東日本大震災を経験した講師を迎えリモートで講演会を実施するなど、様々な啓発活動を実施することができた。</p> |
| <p>避難所における新型コロナウイルス感染症対策物資購入備品 3,830千円</p> <p>空気洗浄器 41台</p> <p>可搬型給電器 1台</p> <p>簡易ベッド 9台</p> <p>非接触型体温計 92個</p> | <p>避難所における新型コロナウイルス感染拡大防止策として、避難所での感染予防、健康チェックなどに使用するための備品、消耗品を購入し、コロナ禍にあっても、安全で安心な避難所生活が送れるよう物資の整備を図ることができた。</p> |

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|----------------------------|---------|-------------|--|
| 地域ブランド力強化事業(2. 1. 14) | 4,845 | 県市 | 費費 1,995 2,850 |
| 食と食文化のまちづくり事業(2. 1. 14) | 1,373 | 県市 | 費費 591 782 |
| 地域公共交通事業(2. 1. 14) | 57,060 | 市 利 市 | 債 用 料 収 入 費 52,200 3,381 1,479 |
| 防犯灯設置費補助事業(2. 1. 15) | 2,256 | 市 | 費 2,256 |
| 愛媛地方税滞納整理機構移管事務事業(2. 2. 2) | 3,500 | 市 | 費 3,500 |
| 戸籍住民基本台帳費(2. 3. 1) | | | |
| ①マイナンバー事務事業 | 12,160 | 国市 | 費費 11,819 341 |
| ②コンビニ交付事業 | 2,219 | 手 市 | 数 料 費 948 1,271 |
| 基幹統計調査(2. 5. 2) | 1,455 | 県 | 費 1,455 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|---|---|
| <p>ますます、いよし。ブランド認定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド認定審査会 2回 ・ブランド認定数 5品目 ・ブランド認定品周知イベント 11回 ・認定品支援事業費補助金 5事業者 | <p>令和4年度は、新たに5品をブランド認定し、それに合わせてパンフレットをリニューアルした。合わせて、ポスターやチラシ、ショップカードを作成し啓発活動に注力した。</p> <p>9月と10月には、2会場で「ますます、いよし。ふるさと特産品フェア」を開催し、それに合わせてブランド認定証授与式を実施したことで、マスコミにも取り上げられた。その影響もあり、特産品フェアでは売上げが前年比143.2%を記録するなど、大変好評で、伊予市及び伊予市産品の認知度向上に大きく貢献することができた。</p> <p>また、アフターコロナに向けた新しい取組として、ライブコマースを活用したオンラインツアーを実施することで、新規販路開拓と購買に繋げることができた。その他、首都圏でのバイヤーとのマッチングやPOP UP STORE等への出店等、周知イベントを実施した。</p> |
| <p>食と食文化のまちづくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民公学連携事業「iProject!」プロジェクトミーティング 16回 伊予農業高校 3回 松山大学 9回 合同開催 4回 協力事業者との協議 8回 提案・成果発表会 2回 | <p>民公学連携事業「iProject!」について、今年度は伊予農業高校生徒の「地元の特産品を使った人気のバイキングメニューを考えたい」という思いから、伊予市を感じるメニューを開発し、市内施設に6品提案。昼食バイキングメニューとして1品採用され、利用者から好評を得た。</p> <p>また昨年度に続き自転車活用推進の観点から市内製菓店と連携し、サイクリスト向けの開発商品の販路拡大企画を進めた。製菓店舗のアンケート調査だけではなく、中予地方局や大学校内でアンケートを行い多くのデータを集めることに成功し、収集したデータをもとに協力事業者に向けて、年度末に成果報告会を実施した。今後、事業者の販売促進や市のPRなど、伊予市の良好なイメージを学生を巻き込みながら市内外に発信するためのツールとしても期待される。</p> |
| <p>デマンドタクシー運行業務委託等</p> <ul style="list-style-type: none"> 《委託料等》 運行業務委託料 22,453千円 予約・配車業務委託料 4,488千円 デマンド交通システム機器等借上料 1,280千円 《運行実績》 運行日数 243日 利用者数 4,231人 | <p>少子高齢化・過疎化が急速に進行する中山・双海地域の地域内公共交通機関として導入したデマンドタクシーについて、適正かつ円滑な運行を図ることで、地域住民の生活交通手段の確保及び地域内交流の促進につながった。</p> |
| <p>コミュニティバス運行業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> 《委託料》 運行業務委託料 27,987千円 《使用料》 続行車使用料 36千円 《運行実績》 利用者数 11,702人 八倉線 3,022人 三秋線 3,149人 唐川・平岡線 3,620人 上三谷線 565人 下三谷線 661人 稲荷線 685人 | <p>令和2年4月の本格運行開始から3年が経過し、利用者及び沿線市民の認知度が向上したこともあり、コロナ禍による社会的影響を受けつつも利用者数は確実に増加傾向にある。</p> <p>令和4年度は昨年度に続き目標値である年間利用者数1万人を超過し、一定の成果を確認できた。</p> <p>今後も利便性及び効率性の向上に向け、引き続き事業の精査を行っていきたい。</p> |
| <p>防犯灯設置費補助</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請件数 144件 交付件数 144件 交付金額 2,256千円 | <p>地域からの防犯灯整備についての要望を適切に支援することで、犯罪のない安全で安心なまちづくりの推進に資することができた。</p> |
| <p>平成18年4月1日に設立された愛媛地方税滞納整理機構へ徴収困難案件を移管。 移管された案件については、機構において、財産調査・差押え・執行停止判定等の滞納整理を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務事業費内訳 基礎負担割 500,000円 処理件数割 3,000,000円 | <p>徴収困難案件の迅速な滞納整理が図れた。</p> <p>また、移管を予告する催告により、自主納付や納付誓約につなげることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 移管件数及び移管額 移管件数 30件 移管額(本税) 18,839,851円 2. 徴収実績 徴収総額 14,690,185円 徴収額(本税) 11,967,485円 延滞金等 2,722,700円 徴収率 63.52% |
| <p>令和5年3月31日現在 (J-LIS集計値)</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請数(累計) 30,955人 申請率 85.7% 交付数(累計) 24,659人 交付率 71.0% | <p>平成27年10月から番号法が施行、12桁のマイナンバーが割り当てられ、平成28年1月から、マイナンバーカードの申請が始まった。令和4年8、9月には、ワクチン接種会場にて申請サポートを実施した。</p> |
| <p>コンビニ交付件数 3,391件</p> | <p>平成29年2月から、マイナンバーカードを利用したコンビニでの住民票などが取得できるサービスを開始し、市民の利便性の向上に努めた。</p> |
| <p>就業の状態等を把握し、国や地方自治体が行う行政施策の基礎資料として活用するため、基幹統計調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 就業構造基本調査 1,118千円 住宅・土地統計調査(単位区設定) 315千円 学校基本調査 9千円 | <p>基幹統計調査を実施することにより、それぞれの調査対象の実態把握や、各種政策の企画・立案のための統計資料の充実に寄与した。</p> |

(3) 民生費

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|---------------------------------|---------|-------------|-----------------------------------|
| 民生児童委員活動事業(3.1.1) | 19,147 | 県市 | 費費 6,100 13,047 |
| 平和祈念式典事業(3.1.1) | 582 | 市 | 費 582 |
| 生活困窮者自立支援事業(3.1.1) | 15,555 | 国市 | 費費 11,204 4,351 |
| 包括的支援体制構築事業(3.1.1) | 41 | 市 | 費 41 |
| 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金事業(3.1.1) | 6,680 | 国市 | 費費 3,071 3,609 |
| 特別障害者手当等給付事業(3.1.2) | 20,654 | 国市 | 費費 14,983 5,671 |
| 心身障害者扶養共済事業(3.1.3) | 2,464 | 県加入者負担 市 | 費金費 354 1,752 358 |
| 重度心身障害者医療費助成事業(3.1.4) | 142,547 | 県市諸 収 | 費費入 49,149 55,931 37,467 |
| 隣保館運営等事業(3.1.6) | 9,395 | 県市 | 費費 6,136 3,259 |
| 国民年金事業(3.1.7) | 13,682 | 国市 | 費費 7,385 6,297 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|---|--|
| 民生児童委員数(令和5年3月31日現在) 102人 (主任児童委員含む) 相談、支援件数 1,346件 調査、証明等件数 11,107件 | 民生児童委員は、常に地域の中であって住民の最も身近な援助者として活動し、「福祉のまちづくり」「在宅福祉サービス」事業に積極的に参画した。 |
| 対象者 戦没者の遺族等 令和4年11月11日(IYO夢みらい館 参加者48人) | 令和4年度においては、コロナ禍により規模を縮小して開催した。例年戦没者及び公職殉職者に対し、哀悼の意を表し恒久平和を祈念している。 |
| 生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、個々人の状態に応じた包括的かつ継続的な支援等を実施することにより、本市における自立・就労支援・家計改善等の体制を推進し、生活困窮者自立支援制度を円滑に実施する。 伊予市生活困窮者自立支援事業業務委託料 15,297,700円 伊予市社会福祉協議会に委託 ○新規相談受付件数 57件 ○プラン作成件数 11件 ○就労準備支援事業 2件 ○家計改善支援事業 6件 ○プラン作成からの就労支援対象者 3人 ○相談受付からの就労者数 0人 ○住居確保給付金申込件数 2件 | 生活困窮に関する相談があった際には、まるごと相談担当者やケースワーカーが同席するなど、課題整理を行い、状況に応じて委託先の社協へつなぐなど連携を図って実施した。また、毎月定例会を開催することで情報共有を行い、状況の把握に努めた。 |
| 多機関が協働し包括的に相談支援できるよう体制を整備する。 相談対応延べ件数 109件 | 社会福祉協議会を中心とした関係機関と連携しこまめな情報共有を行い、支援の強化を図った。また、福祉ネットワークづくり検討会「ほっとネットいよし」において、市内の様々な機関とつながる体制を整えるとともに、定期的に開催する包括化推進会議において、ケースの支援方法の検討や課題の共有に努めた。 |
| 新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困窮する世帯に対し、就労による自立を図る、またそれが困難な場合は、円滑に生活保護の受給へつなげるために、自立支援金の給付を有期で行う。 申請者件数 15件 | 就労による自立を目指し、給付金の支給される期間の継続した就労活動を安心して行えるよう支援することに努めた。 就労での自立が困難な方の生活保護受給については、ケースワーカーと調整し対応を図った。 |
| 特別障害者手当給付件数 591件(実56人) 障害児福祉手当給付件数 292件(実26人) 福祉手当(経過措置)給付件数 12件(実1人) | 精神又は身体に著しく重度の障がい者有し、常時特別の介護を必要とする重度の障がい者(児)に対して、負担の軽減の一助として手当を支給することにより、在宅福祉の向上を図った。 |
| 心身障害者扶養共済事業加入者 一般世帯加入人口数 延べ218口(実11人) 非課税世帯加入人口数 延べ57口(実3人) | 心身障がい者(児)の保護者が共済制度に加入し継続して掛金を納付することで、保護者が事故(死亡又は重度障がいの状態)になった場合、障がい者(児)に対し終身一定額の年金を支給することができるため、継続して共済の加入を維持し、残された障がい者(児)の生活の安定と福祉の増進を図ることができた。 |
| 医療費助成実績 対象人数 859人 受診延べ件数 26,324件 | 身体障害者手帳1級・2級、療育手帳A、療育手帳Bと身体障害者手帳を持っている方の医療費の一部を助成することによって、保健の向上と福祉の増進に寄与した。 |
| 扶桑会館運営事業 人権教育学習会、地域交流事業等実施 年間参加者数 延べ882人 生活相談事業 生活上の相談 延べ32人 事業費:8,116千円 地域交流促進事業 扶桑会館まつり 中止 休日開館事業等実施 年間参加者数 延べ1,088人 事業費:1,279千円 | 地域住民の文化及び経済発展の拠点として、生活上の各種相談をはじめ各種教室や人権教育講座等を実施し、人権問題の啓蒙に努めたほか、地域社会の福祉を増進し、地域住民の生活向上に資することができた。 |
| 令和5年3月31日現在 国民年金加入者状況 国民年金1号被保険者 3,443人 国民年金3号被保険者 2,037人 国民年金任意加入者 62人 計 5,542人 令和4年度国民年金保険料(月額) 16,610円 | 資格取得等の勧奨、保険料の納付及び口座振替・クレジットカードによる前納の促進を行った。 学生納付特例、保険料免除等の制度を案内したり、国民年金制度について広報紙に掲載したりすることで、広く啓発を行った。 納付義務者の所得情報を年金事務所に提供し、効果的な未納者対策の実施に努めた。 新型コロナウイルス感染症の影響により保険料の納付が困難な方への免除制度について、HPや広報紙を活用し、周知した。 |

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|--------------------------------|---------|------------------------|----------------------|
| 老人福祉費(3.1.9) | | | |
| ①敬老事業 | 8,143 | 市費 | 8,143 |
| ②養護老人ホーム入所措置事業 | 66,771 | 市負担 費金 | 59,231 7,540 |
| ③シルバー人材センター事業 | 8,850 | 市費 | 8,850 |
| ④老人クラブ育成事業 | 3,238 | 県市 費費 | 260 2,978 |
| ⑤緊急通報体制整備事業 | 3,477 | 市負担 費金 | 3,025 452 |
| ⑥高齢者見守り員設置事業 | 9,151 | 基金運用収入 基金預金利子 市費 | 7,559 67 1,525 |
| ⑦疾病予防対策事業 | 2,152 | 国 県市 費費費 | 57 2,093 2 |
| ⑧社会福祉施設等価格高騰重点支援事業 | 10,350 | 国費 | 10,350 |
| 老人福祉施設費(3.1.10) | | | |
| ①下灘老人憩の家施設管理運営事業 | 1,140 | 市費 | 1,140 |
| ②上吾川ふれあい館施設管理運営事業 (三世代交流施設) | 1,178 | 市費 | 1,178 |
| ③みたにふれあい館施設管理運営事業 (三世代交流施設) | 2,199 | 国市 費費 | 786 1,413 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---------------|----------------------|--------|--|--------|---|--------|--------|----------|--------|--------|--|--------|--------|---|
| <p>伊予市内の88歳(米寿)の方に対して記念品の贈呈、100歳の方に対し表彰及び祝金を贈呈する。 ※令和4年度は敬老会開催を自粛し、敬老会に替わる取組に対して補助</p> <p>(祝賀対象者)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">100歳顕彰</td> <td style="text-align: right;">22人</td> </tr> <tr> <td>米寿(88歳)顕彰</td> <td style="text-align: right;">291人</td> </tr> </table> <p>(敬老会に替わる取組)</p> <p>実施箇所数 62箇所</p> | 100歳顕彰 | 22人 | 米寿(88歳)顕彰 | 291人 | <p>多年にわたり地域社会の進展に寄与され、また、豊富な知識と経験を有する高齢者を敬愛し、長寿を祝うことで高齢者自身の生活意欲の向上に努めるとともに市民の高齢者福祉に対する関心と理解を深めた。</p> | | | | | | | | | | | |
| 100歳顕彰 | 22人 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 米寿(88歳)顕彰 | 291人 | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>養護老人ホーム措置人数(令和5年3月31日現在) 16人(江南荘:6人、和楽園:10人)</p> | <p>老人福祉法に基づく該当老人を施設に入所措置し、福祉の向上に努めた。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>高齢者が意欲と能力に応じて社会参加するとともに短期的な就業を希望する高齢者に対し就労の機会を提供するために必要な活動に対し補助する。</p> <p>会員数:186人 件数:1,109件 契約金額:74,857千円</p> | <p>伊予市シルバー人材センターにおける高齢者の就業機会確保と福祉の増進を図るため、事業推進に要する経費に対し補助金を交付した。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 40%;">単位老人クラブ数</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 40%;">会員数</td> </tr> <tr> <td>伊予地区</td> <td>22 クラブ</td> <td>1,046人</td> </tr> <tr> <td>中山地区</td> <td>11 クラブ</td> <td>321人</td> </tr> <tr> <td>双海地区</td> <td>19 クラブ</td> <td>907人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>52 クラブ</td> <td>2,274人</td> </tr> </table> | 単位老人クラブ数 | | 会員数 | 伊予地区 | 22 クラブ | 1,046人 | 中山地区 | 11 クラブ | 321人 | 双海地区 | 19 クラブ | 907人 | 合計 | 52 クラブ | 2,274人 | <p>高齢者の仲間づくりや健康づくり、生きがいづくりのため、老人クラブ会員を主体とした介護予防活動、相互支援活動、奉仕活動を推進することにより、クラブ活動の活性化を図り、地域を基盤とする自主的な組織の育成に努めた。</p> |
| 単位老人クラブ数 | | 会員数 | | | | | | | | | | | | | | |
| 伊予地区 | 22 クラブ | 1,046人 | | | | | | | | | | | | | | |
| 中山地区 | 11 クラブ | 321人 | | | | | | | | | | | | | | |
| 双海地区 | 19 クラブ | 907人 | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 52 クラブ | 2,274人 | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 40%;">管理台数</td> <td style="width: 20%;">(令和5年3月31日現在)</td> <td style="width: 40%;">63台</td> </tr> <tr> <td>受信対応件数</td> <td></td> <td>26回</td> </tr> <tr> <td>うち現場出動</td> <td></td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>安否確認回数</td> <td></td> <td>1,496回</td> </tr> </table> | 管理台数 | (令和5年3月31日現在) | 63台 | 受信対応件数 | | 26回 | うち現場出動 | | 8回 | 安否確認回数 | | 1,496回 | <p>在宅の一人暮らし高齢者等に対し緊急通報装置を貸与し、緊急連絡の手段の確保を図るとともに、孤独感の解消を図った。</p> | | | |
| 管理台数 | (令和5年3月31日現在) | 63台 | | | | | | | | | | | | | | |
| 受信対応件数 | | 26回 | | | | | | | | | | | | | | |
| うち現場出動 | | 8回 | | | | | | | | | | | | | | |
| 安否確認回数 | | 1,496回 | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 40%;">見守り員訪問対象者数</td> <td style="width: 60%;">488人</td> </tr> <tr> <td>見守り員数</td> <td>92人</td> </tr> </table> | 見守り員訪問対象者数 | 488人 | 見守り員数 | 92人 | <p>市内に住む65歳以上の一人暮らし高齢者等に対し、安心して住み慣れた地域、家庭で暮らすことができるように定期的に訪問し、安否確認を行うことにより不測の事故を防止し、高齢者福祉の増進に寄与した。</p> | | | | | | | | | | | |
| 見守り員訪問対象者数 | 488人 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 見守り員数 | 92人 | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>伊予市内の高齢者施設に新規入所する高齢者及び施設職員に対し、新型コロナウイルス感染症検査費用を補助する。</p> <p>(検査対象者)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">新規入所者(PCR1人・抗原0人)</td> <td style="text-align: right;">1人</td> </tr> <tr> <td>施設職員(PCR3人・抗原1,332人)</td> <td style="text-align: right;">1,335人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">1,336人</td> </tr> </table> | 新規入所者(PCR1人・抗原0人) | 1人 | 施設職員(PCR3人・抗原1,332人) | 1,335人 | 合計 | 1,336人 | <p>市内の高齢者施設新規入所者及び施設職員の検査に対し、費用を助成し、新型コロナウイルス拡大防止に寄与した。</p> | | | | | | | | | |
| 新規入所者(PCR1人・抗原0人) | 1人 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設職員(PCR3人・抗原1,332人) | 1,335人 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 1,336人 | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>コロナ禍における物価高騰の影響を受ける高齢者福祉施設等に対し、支援金を給付する。</p> <p>(給付実績)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 40%;">入所系施設等</td> <td style="width: 20%;">35か所</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>通所系施設等</td> <td>21か所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>訪問系施設等</td> <td>25か所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>81か所</td> <td></td> </tr> </table> | 入所系施設等 | 35か所 | | 通所系施設等 | 21か所 | | 訪問系施設等 | 25か所 | | 合計 | 81か所 | | <p>支援金を給付することにより、安定的な福祉サービスの提供を図った。</p> | | | |
| 入所系施設等 | 35か所 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 通所系施設等 | 21か所 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 訪問系施設等 | 25か所 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 81か所 | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>健康の増進、教養の向上及び各種レクリエーションと機能訓練等</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 40%;">指定管理者</td> <td style="width: 20%;">伊予市社会福祉協議会</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>開館日数</td> <td></td> <td>145日</td> </tr> <tr> <td>利用延べ人数</td> <td></td> <td>1,414人</td> </tr> <tr> <td>1日平均利用人数</td> <td></td> <td>9.8人</td> </tr> </table> | 指定管理者 | 伊予市社会福祉協議会 | | 開館日数 | | 145日 | 利用延べ人数 | | 1,414人 | 1日平均利用人数 | | 9.8人 | <p>高齢者の健康の増進と教養の向上を図った。</p> | | | |
| 指定管理者 | 伊予市社会福祉協議会 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開館日数 | | 145日 | | | | | | | | | | | | | | |
| 利用延べ人数 | | 1,414人 | | | | | | | | | | | | | | |
| 1日平均利用人数 | | 9.8人 | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>健康の増進、教養の向上及び各種レクリエーションと機能訓練等</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 40%;">指定管理者</td> <td style="width: 20%;">上吾川ふれあい館運営協議会</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>開館日数</td> <td></td> <td>257日</td> </tr> <tr> <td>利用延べ人数</td> <td></td> <td>3,699人</td> </tr> <tr> <td>1日平均利用人数</td> <td></td> <td>14.4人</td> </tr> </table> | 指定管理者 | 上吾川ふれあい館運営協議会 | | 開館日数 | | 257日 | 利用延べ人数 | | 3,699人 | 1日平均利用人数 | | 14.4人 | <p>市内の青少年、壮年、高齢者の三世代の交流を図り、健康増進及び介護予防を支援するとともに地域コミュニティの進展に努めた。</p> | | | |
| 指定管理者 | 上吾川ふれあい館運営協議会 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開館日数 | | 257日 | | | | | | | | | | | | | | |
| 利用延べ人数 | | 3,699人 | | | | | | | | | | | | | | |
| 1日平均利用人数 | | 14.4人 | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>健康の増進、教養の向上及び各種レクリエーションと機能訓練等</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 40%;">指定管理者</td> <td style="width: 20%;">みたにふれあい館運営協議会</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>開館日数</td> <td></td> <td>241日</td> </tr> <tr> <td>利用延べ人数</td> <td></td> <td>3,945人</td> </tr> <tr> <td>1日平均利用人数</td> <td></td> <td>16.4人</td> </tr> </table> | 指定管理者 | みたにふれあい館運営協議会 | | 開館日数 | | 241日 | 利用延べ人数 | | 3,945人 | 1日平均利用人数 | | 16.4人 | <p>市内の青少年、壮年、高齢者の三世代の交流を図り、健康増進及び介護予防を支援するとともに地域コミュニティの進展に努めた。</p> | | | |
| 指定管理者 | みたにふれあい館運営協議会 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開館日数 | | 241日 | | | | | | | | | | | | | | |
| 利用延べ人数 | | 3,945人 | | | | | | | | | | | | | | |
| 1日平均利用人数 | | 16.4人 | | | | | | | | | | | | | | |

| 種目及び事業名 | | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|------------------|---------------------------------------|---------|-------------|--|
| | ④唐川ふれあい館施設管理運営事業 (三世代交流施設) | 2,014 | 国 市 | 費 費 825 1,189 |
| | ⑤双海生きがい活動センター施設管理運営事業 (生きがい活動センター) | 2,147 | 市 | 費 2,147 |
| | ⑥中山生きがい活動センター施設管理運営事業 (生きがい活動センター) | 3,746 | 市 使 用 | 費 料 3,739 7 |
| 障害者福祉事業(3.1.12) | | | | |
| | ①障害者(児)タクシー利用助成事業 | 3,966 | 市 | 費 3,966 |
| | ②障がい者等疾病予防対策事業 | 172 | 国 県 | 費 費 15 157 |
| | ③社会福祉施設等価格高騰重点支援事業 | 1,950 | 国 | 費 1,950 |
| 自立支援給付事業(3.1.13) | | | | |
| | ①介護給付費等支給事業 | 968,321 | 国 県 市 | 費 費 費 511,800 242,080 214,441 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--------|--------|------|--------|-----|------|------|---|-----|------|-----|------|-----|------|-------|--------|-------|--------|-------|---|--------|------------|---|------------|---|--------|----|----------|-----|----------|-------|--------|----|-----------------|-----|--|
| <p>健康の増進、教養の向上及び各種レクリエーションと機能訓練等を実施。</p> <p>指定管理者 唐川ふれあい館運営協議会 開館日数 195日 利用延べ人数 1,492人 1日平均利用人数 7.7人</p> | <p>市内の青少年、壮年、高齢者の三世代の交流を図り、健康増進及び介護予防を支援するとともに地域コミュニティの進展に努めた。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>健康の増進、教養の向上及び各種レクリエーションと機能訓練等を実施。</p> <p>指定管理者 伊予市社会福祉協議会 開館日数 241日 利用延べ人数 2,635人 1日平均利用人数 10.9人</p> | <p>介護予防の普及啓発、地域活動の支援や趣味・生きがいづくりに関する事業を行い高齢者福祉及び地域福祉の増進に努めた。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>健康の増進、教養の向上及び各種レクリエーションと機能訓練等を実施。</p> <p>指定管理者 中山梅寿会 開館日数 244日 利用延べ人数 2,187人 1日平均利用人数 9.0人</p> | <p>介護予防の普及啓発、地域活動の支援や趣味・生きがいづくりに関する事業を行い高齢者福祉及び地域福祉の増進に努めた。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>障がい別</th> <th>対象者数</th> <th>発行者数</th> <th>利用枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体</td> <td>950</td> <td>493</td> <td></td> </tr> <tr> <td>知的</td> <td>258</td> <td>98</td> <td></td> </tr> <tr> <td>精神</td> <td>179</td> <td>92</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,387</td> <td>683</td> <td>7,023</td> </tr> </tbody> </table> <p>対象者 身体障害者手帳1・2・3級 療育手帳A・B、精神障害者手帳1・2級</p> <p>助成内容 1枚500～580円の初乗り割引券を 年間24枚(透析者は48枚)支給</p> | 障がい別 | 対象者数 | 発行者数 | 利用枚数 | 身体 | 950 | 493 | | 知的 | 258 | 98 | | 精神 | 179 | 92 | | 計 | 1,387 | 683 | 7,023 | <p>障がい者(児)の対象者に、タクシー券の利用助成を行うことで、交通手段の確保と付添い介護に伴う負担の軽減を図り、障がい者(児)の受診継続や社会参加を支援し、在宅福祉の増進を図ることができた。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 障がい別 | 対象者数 | 発行者数 | 利用枚数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 身体 | 950 | 493 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 知的 | 258 | 98 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 精神 | 179 | 92 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 1,387 | 683 | 7,023 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>障がい者入所施設等に新規入所する障がい者及び施設職員に対し、新型コロナウイルス感染症検査費用を補助する。</p> <p>(検査対象者) 新規入所者(PCR1人) 施設職員(抗原検査108人) 合計 109人</p> | <p>障がい者入所施設等新規入所者及び施設職員の検査に対し、費用を助成することで新型コロナウイルス拡大防止に寄与した。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>コロナ禍における物価高騰の影響を受ける高齢者福祉施設等に対し、支援金を給付する。</p> <p>(給付実績)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>入所系施設等</td> <td>4か所</td> </tr> <tr> <td>通所系施設等</td> <td>9か所</td> </tr> <tr> <td>訪問系施設等</td> <td>5か所</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>18か所</td> </tr> </tbody> </table> | 入所系施設等 | 4か所 | 通所系施設等 | 9か所 | 訪問系施設等 | 5か所 | 合計 | 18か所 | <p>支援金を給付することにより、安定的な福祉サービスの提供を図った。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 入所系施設等 | 4か所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 通所系施設等 | 9か所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 訪問系施設等 | 5か所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 18か所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>介護給付費支給実績(R4.3～R5.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス体系</th> <th>利用延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居宅介護</td> <td>763</td> </tr> <tr> <td>重度訪問介護</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>同行援護</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>行動援護</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>短期入所</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td>療養介護</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>生活介護</td> <td>1,363</td> </tr> <tr> <td>施設入所支援</td> <td>765</td> </tr> <tr> <td>計画相談支援</td> <td>1,349</td> </tr> </tbody> </table> <p>訓練等給付費支給実績(R4.3～R5.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス体系</th> <th>利用延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自立訓練(機能訓練)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>自立訓練(生活訓練)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>就労移行支援</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>就労継続支援A型</td> <td>539</td> </tr> <tr> <td>就労継続支援B型</td> <td>1,646</td> </tr> <tr> <td>就労定着支援</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>共同生活援助(グループホーム)</td> <td>705</td> </tr> </tbody> </table> | サービス体系 | 利用延べ人数 | 居宅介護 | 763 | 重度訪問介護 | 24 | 同行援護 | 88 | 行動援護 | 0 | 短期入所 | 136 | 療養介護 | 24 | 生活介護 | 1,363 | 施設入所支援 | 765 | 計画相談支援 | 1,349 | サービス体系 | 利用延べ人数 | 自立訓練(機能訓練) | 1 | 自立訓練(生活訓練) | 0 | 就労移行支援 | 99 | 就労継続支援A型 | 539 | 就労継続支援B型 | 1,646 | 就労定着支援 | 13 | 共同生活援助(グループホーム) | 705 | <p>障がいの種別にかかわらず、個々の障がい程度や社会活動・介護者及び住居の状況等を勘案し、障がいのある者が必要とするサービスが利用できるように適切なサービスの支給に努め、障がい者の自立支援を図った。</p> |
| サービス体系 | 利用延べ人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 居宅介護 | 763 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 重度訪問介護 | 24 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 同行援護 | 88 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 行動援護 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 短期入所 | 136 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 療養介護 | 24 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生活介護 | 1,363 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設入所支援 | 765 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計画相談支援 | 1,349 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| サービス体系 | 利用延べ人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自立訓練(機能訓練) | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自立訓練(生活訓練) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 就労移行支援 | 99 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 就労継続支援A型 | 539 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 就労継続支援B型 | 1,646 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 就労定着支援 | 13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 共同生活援助(グループホーム) | 705 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 種目及び事業名 | | 事業費(千円) | 左財源(千円) | | |
|--------------------|--|---------|---------|---|--------|
| ②自立支援医療費支給事業 | | 21,674 | 国 | 費 | 11,396 |
| | | | 県 | 費 | 4,926 |
| | | | 市 | 費 | 5,352 |
| ③補装具費支給事業 | | 3,854 | 国 | 費 | 1,927 |
| | | | 県 | 費 | 963 |
| | | | 市 | 費 | 964 |
| 地域生活支援事業(3. 1. 14) | | | | | |
| ①障害支援区分認定等事業 | | 6,043 | 市 | 費 | 6,043 |
| | | | | | |
| ②相談支援事業 | | 14,737 | 国 | 費 | 2,836 |
| | | | 県 | 費 | 1,418 |
| | | | 市 | 費 | 10,483 |
| ③障害者自立支援協議会運営事業 | | 21 | 市 | 費 | 21 |
| ④意思疎通支援事業 | | 3,095 | 国 | 費 | 961 |
| | | | 県 | 費 | 481 |
| | | | 市 | 費 | 1,653 |
| ⑤地域活動支援センター運営事業 | | 7,112 | 国 | 費 | 457 |
| | | | 県 | 費 | 229 |
| | | | 市 | 費 | 6,426 |
| ⑥移動支援事業 | | 2,988 | 国 | 費 | 911 |
| | | | 県 | 費 | 455 |
| | | | 市 | 費 | 1,622 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----|-----|---|-----|---|-------|---|-------|---|--------|---|--------|---|-----------|---|-------|----|-----|---|-----|---|-----------|---|---|
| 更生医療 医科 756件 調剤489件 実人数108人 育成医療 医科 14件 調剤 0件 実人数 5人 | 身体障がい者の障がいを取り除いたり軽くするために、更生に必要な医療費の一部を負担し、確実な治療効果を上げることで、障がい者の職業能力を高め日常生活を容易にし、自立支援の推進を図ることができた。 また、障がいのある児童に対し、治療によって障がいを取り除いたり、軽くしたりする医療について、その費用の一部を負担し、児童の健全な育成を図ることができた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 障がい者 支給件数13件 <table border="1" data-bbox="197 327 692 591"> <thead> <tr> <th>補装具種目</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補聴器</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>車椅子</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>電動車椅子</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>杖・歩行器</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>眼鏡・義眼等</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>義手・義足等</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>座位保持いす・装置</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> 障がい児 支給件数2件 <table border="1" data-bbox="197 645 692 779"> <thead> <tr> <th>補装具種目</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補聴器</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>車椅子</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>座位保持いす・装置</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> | 補装具種目 | 件数 | 補聴器 | 6 | 車椅子 | 1 | 電動車椅子 | 0 | 杖・歩行器 | 1 | 眼鏡・義眼等 | 1 | 義手・義足等 | 4 | 座位保持いす・装置 | 0 | 補装具種目 | 件数 | 補聴器 | 0 | 車椅子 | 1 | 座位保持いす・装置 | 1 | 障がい者(児)に対し、補聴器、車椅子等の補装具の購入や修理に要した費用を助成することにより、障がい者(児)の身体機能を獲得し又は補うことができようになり、日常生活の効率向上や社会生活をしやすくし、障がい者(児)の自立や社会参加を図ることができた。 |
| 補装具種目 | 件数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 補聴器 | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車椅子 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電動車椅子 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 杖・歩行器 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 眼鏡・義眼等 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 義手・義足等 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 座位保持いす・装置 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 補装具種目 | 件数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 補聴器 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車椅子 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 座位保持いす・装置 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 障害福祉サービスの利用申請に基づき認定審査会を開催。障害支援区分の決定とサービスの支給決定を行う。 認定調査 介護給付申請者(施設含む) 75件 訓練等給付申請者 38件 認定審査会 12回 審査判定件数 113件(施設入所者22件) | 医師・精神保健福祉士・社会福祉士・相談支援専門員等で構成される審査会にて、訪問調査・医師意見書、パソコンソフトによる一次判定及び審査会での二次判定で、利用申請者に適正な障害支援区分を判定し、サービスの支給決定を行うことができた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般相談支援事業所 3事業所 ・伊予市社会福祉協議会 ・中山梅寿会 ・朝風会 一般相談件数 1,620件(273人) 障害者相談支援センター(相談支援機能強化事業) 相談件数 690件(148人) 成年後見制度利用支援事業 市長申立 0件 | 市内相談支援事業所に事業を委託し、障がい者本人や障がい者(児)の保護者又は介護者からの相談に応じ、必要な情報の提供や権利擁護のために必要な援助を行うなど相談業務を充実させ、障がい者(児)が自立した日常生活や社会生活を営むための支援を行うことができた。 また、相談支援機能強化事業を社会福祉協議会に委託し、困難ケース等への対応、市内事業者への指導・助言・人材育成業務、市内事業者への連携強化業務、地域移行・定着促進業務等を実施し、障がい者(児)の自立と社会参加の促進を図ることができた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 障害者自立支援協議会委員 16人 福祉・保健・教育・就労関係者で組織する協議会 R5.2 全体会開催 | 協議会を設置し、実務担当者による専門部会を定期的に開催し、障がい者が抱える問題や課題解決に向けて支援する関係機関のネットワークの構築を図り、障がい者が暮らしやすい支援体制の整備を図ることができた。また、全体会で障がい者計画等についての実績報告、困難事例検討を行った。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 手話通訳者派遣事業 愛媛県聴覚障害者協会に委託(市主催) 2件 " (個人) 利用者3人 19件 要約筆記者派遣事業 愛媛県要約筆記者サークル連絡協議会に委託 利用者2人 5件 手話通訳者設置事業 常勤(福祉課) 延べ281人/年 手話奉仕員養成事業 手話奉仕員養成講座(全40回) 修了者16人 フォローアップ研修(全10回) 受講者9人 伊予市手話奉仕員 登録者7人 | 市内在住の聴覚障がい者に手話通訳者や要約筆記者を派遣することで、障がい者と他者の意思疎通の円滑化を図り、聴覚障がい者の社会参加や自立を図ることができた。また、市役所内に手話通訳者を設置し、聴覚障がい者の意思疎通を支援することができた。 手話奉仕員養成事業について、これまでの手話奉仕員養成講座に加え、令和4年度より講座修了生を対象としたフォローアップ研修を開講し、伊予市手話奉仕員の登録を開始した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地域活動支援センターくりのみ 運営 社会福祉法人中山梅寿会 利用者 延べ2,486人/年 (実21人) | 介護者の送迎負担の軽減と障がい者の利用促進のため、送迎サービスを実施。身体・精神・知的障がい者を対象に、地域の実情に応じた創作的活動又は生産活動の機会を提供し、社会との交流促進を促し、障がい者の日中活動の場の確保や地域で生活するための支援を行うことができた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 移動支援 身体障がい者 実4人 延べ 524.5 時間 33件 知的障がい者 実8人 延べ 749.0 時間 83件 精神障がい者 実4人 延べ 258.0 時間 48件 児童 実1人 延べ 61.0 時間 3件 | 屋外での移動が困難な障がい者(児)に、外出時の支援サービスを提供することで、障がい者(児)が円滑に外出し、社会活動への参加促進等を図ることができた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 種 目 及 び 事 業 名 | | 事業費(千円) | 左 財 源 (千 円) | | | |
|--|--|---------|---------------|---|---------|-------|
| ⑦日常生活用具費支給事業 | | 9,427 | 国 | 費 | 2,854 | |
| | | | 県 | 費 | 1,427 | |
| | | | 市 | 費 | 5,146 | |
| | | | | | | |
| ⑧日中一時支援事業 | | 704 | 国 | 費 | 214 | |
| | | | 県 | 費 | 107 | |
| | | | 市 | 費 | 383 | |
| ⑨声の広報発行事業 | | 100 | 国 | 費 | 30 | |
| | | | 県 | 費 | 15 | |
| | | | 市 | 費 | 55 | |
| ⑩障害者地域づくり推進事業 | | 30 | 国 | 費 | 9 | |
| | | | 県 | 費 | 5 | |
| | | | 市 | 費 | 16 | |
| 後期高齢者医療の被保険者に対する健康診査及びはり又はきゅう施術料助成事業(3. 1. 15) | | 7,979 | 諸 | 収 | 入 | 7,979 |
| 障害児通所給付事業(3. 1. 16) | | 227,577 | 国 | 費 | 124,500 | |
| | | | 県 | 費 | 56,894 | |
| | | | 市 | 費 | 46,183 | |

| 事業内容 | | 事業効果の概要 |
|---|--------|---|
| 支給実績 | | 重度の障がい者(児)に対し、自立生活支援用具等の日常生活用具を支給することにより、障がい者(児)の自立支援や社会参加を促進することができた。 |
| 支給用具 | 件数 | |
| 特殊寝台 | 2 | |
| 特殊マット | 1 | |
| 入浴担架 | 0 | |
| 体位変換器 | 0 | |
| 移動用リフト | 0 | |
| 訓練用ベット | 0 | |
| 入浴補助用具 | 1 | |
| T字状・棒状つえ | 0 | |
| 頭部保護帽子 | 1 | |
| 特殊便器 | 1 | |
| 火災警報器 | 0 | |
| 移動・移乗支援用具 | 1 | |
| 聴覚障害者用屋内信号装置 | 0 | |
| 透析液加温器 | 0 | |
| ネブライザー(吸入器) | 0 | |
| 電気式たん吸引器 | 0 | |
| 人工呼吸器用充電器 | 0 | |
| 人工呼吸器用バッテリー | 0 | |
| 視覚障害者用体温計 | 0 | |
| 視覚障害者用体重計 | 0 | |
| 音声式血圧計 | 0 | |
| 情報・通信支援用具 | 1 | |
| 視覚障害者用ポータブルレコーダー | 0 | |
| 視覚障害者用拡大読書器 | 3 | |
| 視覚障害者用時計 | 0 | |
| 聴覚障害者用通信装置 | 0 | |
| 人工喉頭 | 1 | |
| 人工内耳用電池 | 7 | |
| 人工内耳体外機 | 1 | |
| 人工内耳体外機修理 | 0 | |
| ストーマ | 779 | |
| 紙おむつ | 106 | |
| 居宅生活動作補助用具(住宅改修) | 1 | |
| 計 | 906 | |
| 障がい者862件(実95人) 障がい児44件(実5人) | | |
| 利用実績 日中一時委託事業所 5事業所 利用実人数 8人 延べ93.25日 | | 障がい児(者)に日中活動の場を提供し、適切な遊びや生活指導を実施することにより、障がい児(者)の健全な育成を図るとともに、介護者の就労支援や休息等介護負担の軽減を図ることができた。 |
| 活動内容 声の広報等発行事業音訳業務 委託先:伊予市音読グループ 広報いよしその他付随する刊行物の音訳 | | 文字による情報収集が困難な障がい者等のために、社会生活上必要な地域の情報を取得できるように、定期的に音訳された広報等を提供し、障がい者等の福祉の向上及び社会参加の促進を図ることができた。 |
| 伊予市手をつなぐ育成会学習会 (2回開催 54人) | | 障がい者当事者及び保護者等を対象とし、「口腔ケア」をテーマにした学習会を実施した。また、なんでも懇談会を開催し、お互いに交流しながら情報交換を行うことができた。 |
| 健康診査実績 受診対象者数(長期入院者等を除く) 5,775人 健康診査受診者数 756人 健康診査受診率 13.10% 歯科口腔健康診査受診者数 33人 歯科口腔健康診査受診率 0.57% はり・きゅう受診実績 667件 | | 健康診査を受診した場合は、その費用を助成し、指定施術所でははり・きゅうの施術を受けた場合は、その費用の一部を助成することにより、後期高齢者医療被保険者の健康の保持増進に寄与した。 |
| 通所給付費支給実績(R3.3~R4.2) | | 障がい児に対して、施設に通っての日常生活における基本的な動作の指導や集団生活への適応訓練を行うことで、適切な療育支援を行うことができた。 |
| サービス体系 | 利用延べ人数 | |
| 児童発達支援 | 597 | |
| 放課後等デイサービス | 1,749 | |
| 保育所等訪問支援 | 32 | |
| 障害児相談支援 | 462 | |

| 種 目 及 び 事 業 名 | 事 業 費 (千 円) | 左 財 源 (千 円) | |
|-------------------------------------|---------------|--|--|
| 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業(3. 1. 19) | 120,293 | 国 | 費 120,293 |
| 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業(3. 1. 20) | 219,578 | 国 | 費 219,578 |
| 子ども総合センター事業(3. 2. 1) | 14,479 | 国 県 市 諸 | 費 費 費 入 7,245 726 6,495 13 |
| 児童扶養手当給付事業(3. 2. 1) | 130,593 | 国 市 | 費 費 43,713 86,880 |
| 放課後児童健全育成事業(3. 2. 1) | 94,000 | 国 県 市 諸 | 費 費 費 入 31,955 31,543 28,229 2,273 |
| 病児・病後児保育事業(3. 2. 1) | 5,680 | 国 県 市 分 担 金 及 び 負 担 金 諸 | 費 費 費 入 1,838 1,746 1,831 172 93 |
| 児童手当給付事業(3. 2. 2) | 504,953 | 国 県 市 | 費 費 費 347,960 77,857 79,136 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|---|---|
| <p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、住民税非課税世帯等に対して1世帯あたり10万円を「プッシュ型」で給付する。</p> <p>給付件数 1,152件 (うち家計急変世帯10件)</p> | <p>申請受付から支給決定まで、迅速適正な処理に努めた。令和3年度、令和4年度と対象者の要件が変わることから、給付金の支給要件等丁寧な対応に努めた。</p> |
| <p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、住民税非課税世帯等に対して1世帯あたり5万円を「プッシュ型」で給付する。</p> <p>給付件数 4,280件 (うち家計急変世帯12件)</p> | <p>申請受付から支給決定まで、迅速適正な処理に努めた。被扶養者からなる世帯は今回の給付対象外となることから、給付金の支給要件等丁寧な対応に努めた。</p> |
| <p>相談総件数 2,198人</p> <p>養護相談(児童虐待・その他) 1,026人</p> <p>保健相談(虚弱児・内部疾患等その他) 31人</p> <p>障がい相談(発達障がい等) 646人</p> <p>非行相談(問題行動等) 6人</p> <p>育成相談(性格行動・育児・しつけ等) 252人</p> <p>その他(上記以外の相談) 237人</p> <p>適応指導教室(在籍者数) 17人</p> <p>ひとり親家庭学習支援事業 498人</p> | <p>子ども総合センターでは市内に居住する0歳から18歳までの子どもとその保護者を対象に、子どもに関わるさまざまな問題に対応するため、保健・福祉・教育などの分野から総合的・専門的な相談・支援の実施と不登校児童の社会的自立や学校復帰を支援した。</p> <p>適応指導教室については、(10.1.2)に同事業あり</p> |
| <p>受給者(令和5年3月31日現在)</p> <p>母子世帯 260 世帯</p> <p>父子世帯 17 世帯</p> <p>その他 1 世帯</p> | <p>ひとり親家庭等に対し、児童の健やかな成長を願い離婚等による生活の激変を一定期間で緩和し、一日も早い家庭の生活の安定と自立の促進に寄与した。</p> |
| <p>登録児童数(令和5年3月31日現在) 428人</p> <p>1 郡中放課後児童クラブA 38人</p> <p>2 郡中放課後児童クラブB 40人</p> <p>3 郡中放課後児童クラブC 39人</p> <p>4 北山崎児童クラブ 30人</p> <p>5 南伊予児童クラブA 35人</p> <p>6 南伊予児童クラブB 29人</p> <p>7 南山崎児童クラブ 23人</p> <p>8 ねりむ児童クラブさくらんぼ 42人</p> <p>9 なかやま学童広場 15人</p> <p>10 されだに学童クラブ 10人</p> <p>11 上灘学童クラブ 10人</p> <p>12 下灘学童クラブ 12人</p> <p>13 みかんキッズクラブ 31人</p> <p>14 伊予くじら児童クラブ 18人</p> <p>15 スポキッズ児童クラブ郡中校 37人</p> <p>16 児童クラブそらうみ 19人</p> <p>17 南伊予児童クラブ 夏季長期休校期間限定 (6人)</p> <p>開設時間(基本)</p> <p>13時30分 ~ 18時00分</p> <p>8時00分 ~ 18時00分</p> <p>ただし、日曜・祝日・年末年始を除く</p> <p>伊予市放課後児童クラブ支援(障がい児受入)補助金 2人</p> | <p>平成27年度から1年から6年生までの全学年を対象児童とし、働きやすい子育て支援の充実を図った。また、民間への業務委託を実施することで、開設時間の延長や利用者ニーズに対応した児童クラブ運営を提供することができた。</p> <p>利用者が増加している郡中校区内に、平成30年度に1クラブを民設民営で設置し、子育て支援の充実を図った。</p> <p>令和4年度は、南伊予児童クラブの夏季長期休校期間の利用希望者が少なかったため、既存のクラスへ振り分けし、新型コロナウイルス感染症対策として公民館を利用するなどして受入体制を整えた。</p> <p>障がい児を受入れた児童クラブに対し、補助金を支給することで、障がいを持つ児童の受入れ促進に寄与した。</p> |
| <p>登録者(令和5年3月31日現在) 247人</p> <p>開所日数 293日</p> <p>延べ利用者数 113人(病児:86人 病後児:27人)</p> <p>※松山圏域広域利用数 55人</p> | <p>平成28年4月から市直営で開設。病児又はけがを有する児童の保護者が勤務等により当該児童を保育することが困難である場合に、その児童を一時的に保育することで安心して子育てができる環境の整備を図った。また、松山圏域連携事業により、松山市と病児・病後児保育の広域受入れに関する協定書を締結し、広域利用を開始し、利用者が増えている。</p> <p>令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響で受入可能な病気を制限したり登録者の利用控えがあったりしたため、利用者が減少している。</p> |
| <p>受給者(令和5年3月31日現在) 2,060人</p> <p>支給対象子ども数 3歳未満 3歳~小学校 中学生</p> <p>被用者 424人 1,886人 666人</p> <p>非被用者 57人 333人 151人</p> <p>特例給付被用者 3人 20人 20人</p> <p>特例給付非被用者 0人 10人 5人</p> | <p>児童を養育している方に手当を支給することにより、家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に努めた。</p> |

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | | |
|----------------------------------|---------|---------|----------|---------|
| 保育事業(3.2.3)(3.2.4) | 現年 | 国 | 費 | 388,261 |
| | 921,629 | 県 | 費 | 191,403 |
| | | 市 | 費 | 278,640 |
| | | | 分担金及び負担金 | 24,378 |
| | | | 使用料及び手数料 | 21,485 |
| | | | 諸収入 | 14,647 |
| | | | 財産収入 | 2,815 |
| ファミリー・サポート・センター事業(3.2.3) | 3,160 | 国 | 費 | 1,053 |
| | | 県 | 費 | 1,053 |
| | | 市 | 費 | 1,054 |
| 社会福祉施設等価格高騰重点支援事業(3.2.4) | 2,600 | 国 | 費 | 2,600 |
| ひとり親家庭医療費助成事業(3.2.6) | 26,053 | 県 | 費 | 11,870 |
| | | 市 | 費 | 11,929 |
| | | 諸 | 収入 | 2,254 |
| 子ども医療費助成事業(3.2.7) | 129,454 | 県 | 費 | 22,245 |
| | | 市 | 債 | 33,400 |
| | | 市 | 費 | 64,147 |
| | | 諸 | 収入 | 9,662 |
| 児童館運営事業(3.2.8) | 32,996 | 市 | 費 | 32,996 |
| 未熟児養育医療費助成事業(3.2.9) | 568 | 国 | 費 | 401 |
| | | 県 | 費 | 115 |
| | | 負 | 担 | 52 |
| 保育士等処遇改善臨時特例交付金交付事業費(3.2.10) | 14,495 | 国 | 費 | 14,495 |
| 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費(3.2.11) | 現年 | 国 | 費 | 7,516 |
| | 7,516 | | | |
| | 繰越 | 国 | 費 | 2,800 |
| | 2,800 | | | |
| 令和4年度子育て世帯生活支援特別給付金支給事業費(3.2.12) | 57,386 | 国 | 費 | 57,386 |
| 児童福祉施設感染症拡大防止費(3.2.13) | 現年 | 国 | 費 | 3,400 |
| | 6,339 | 市 | 費 | 2,939 |
| 被保護者就労支援事業(3.3.1) | 2,088 | 国 | 費 | 2,088 |

| 事業内容 | | 事業効果の概要 | | | | | | | | | | |
|---|--------------|--|--------|---------|------|---------|------------|------|---------|--|--|--|
| 公立保育所 | 6か所 | 家庭において、保育の必要な児童を保護者に代わって保護し、児童福祉の増進を図った。また、無償化に伴う保育の需要の増加に対する受け皿確保に努めるとともに、保育環境の向上を図った。 | | | | | | | | | | |
| 公立認定こども園 | 1か所 | | | | | | | | | | | |
| 私立保育所 | 2か所 | | | | | | | | | | | |
| 私立認定こども園 | 4か所 | | | | | | | | | | | |
| 私立小規模保育園 | 2か所 | | | | | | | | | | | |
| 公立保育所延べ人数 | 3,821人 | | | | | | | | | | | |
| 公立認定こども園延べ人数 | 226人 | | | | | | | | | | | |
| 私立保育所延べ人数 | 2,410人 | | | | | | | | | | | |
| 私立認定こども園延べ人数 | 2,785人 | | | | | | | | | | | |
| 私立小規模保育園延べ人数 | 303人 | | | | | | | | | | | |
| 登録者(令和5年3月31日現在) | 391人 | 育児にかかる相互援助活動を行うとともに、子育て支援センター事業や病児病後児保育室、医療機関等と連携して、子育てに関する情報提供、相談指導及び子育てサークルへの参加の勧奨を行い、地域全体で健全な子育てを推進した。令和元年度より補助事業者が運営しており、講習会の日程等の工夫を行うことで、コロナ禍においても会員の登録者は維持できた。 | | | | | | | | | | |
| おねがい会員 | 297人 | | | | | | | | | | | |
| まかせて会員 | 75人 | | | | | | | | | | | |
| どっちも会員 | 19人 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| コロナ禍における物価高騰の影響を受ける児童福祉施設に対し、支援金を給付する。 (給付実績) 通所系施設等 | 26か所 | 支援金を給付することにより、安定的な福祉サービスの提供を図った。 | | | | | | | | | | |
| 医療費助成実績 対象世帯数・対象人数・受診延べ件数 母子家庭 251世帯 663人 8,505件 父子家庭 6世帯 13人 198件 | | ひとり親家庭の父又は母と児童、準ひとり親家庭の祖父もしくは祖母と孫、又は兄もしくは姉と弟妹に医療費の自己負担分を助成することで、保健の向上と福祉の増進に寄与した。 | | | | | | | | | | |
| 医療費助成実績 対象人数・受診延べ件数 乳幼児 1,600人 28,153件 児童 2,628人 28,753件 | | 0歳から中学生までの子どもの医療費の自己負担分を助成することで、子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、疾病の早期発見、治療につなげ、子どもの健康増進に寄与した。 | | | | | | | | | | |
| 指定管理者(株)縁遊 開館時間 9時～18時 各施設利用状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>開館日数</th> <th>年間利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童館あすなろ</td> <td>297日</td> <td>13,098人</td> </tr> <tr> <td>児童センターみんくる</td> <td>297日</td> <td>51,372人</td> </tr> </tbody> </table> | 区分 | 開館日数 | 年間利用者数 | 児童館あすなろ | 297日 | 13,098人 | 児童センターみんくる | 297日 | 51,372人 | | 次代を担う児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにするための活動を推進した。 前年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的に休館を要請したため、開館日数及び利用者数ともに減少したが、令和4年度は利用制限を設けて開館したため、利用者が増加した。 | |
| 区分 | 開館日数 | 年間利用者数 | | | | | | | | | | |
| 児童館あすなろ | 297日 | 13,098人 | | | | | | | | | | |
| 児童センターみんくる | 297日 | 51,372人 | | | | | | | | | | |
| 医療費助成実績 対象人数 3人 受診延べ件数 6件 | | 身体の発育が未熟なまま生まれ、入院をする乳児が、指定養育医療機関において入院治療を受ける場合にその治療に要する医療費を公費負担することで、当該乳児の健康の保持及び増進を図ることができた。 | | | | | | | | | | |
| 私立保育園等 児童クラブ数 | 8園 16クラブ | 新型コロナウイルス感染症への対応と、少子高齢化への対応が重なる最前線で働く保育士、放課後児童支援員等の処遇改善のため、賃上げ効果が継続される取組みを行うこととした。 | | | | | | | | | | |
| 受給者(令和5年3月31日現在) ひとり親世帯児童数 ひとり親世帯以外児童数 | 458人 324人 | 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、所得の低いひとり親世帯等に対し子育て世帯生活支援特別給付金を支給した。 | | | | | | | | | | |
| 受給者(令和5年3月31日現在) ひとり親世帯児童数 ひとり親世帯以外児童数 | 411人 321人 | 子育て世帯へ臨時・特別の一時金を支給することにより、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援することを目的に支給した。 | | | | | | | | | | |
| 直接事業を利用した施設数(公立) 間接事業を利用した施設数(私立) | 7施設 7施設 | 市内の保育所、認定こども園(幼稚園型を除く。)及び地域型保育事業所における新型コロナウイルス感染症対策に係る経費を補助することで、施設の経費の負担軽減を図り、施設内でのクラスター発生による休業を防いだ。 | | | | | | | | | | |
| 生活保護受給者就労支援 稼働年齢就労支援者20人(支援員とCWの連携) | | 就労支援員を設置し、生活保護受給者稼働年齢層に対し、求人情報からの就職斡旋、職業安定所の同行訪問を行い、経済的自立促進を図った。 | | | | | | | | | | |

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|----------------|---------|----------------------------|-----------------------------|
| 生活保護扶助費(3.3.2) | 491,414 | 国 県 市 諸 収 入 | 費 費 費 入 5,607 |
| | | | 358,337 5,610 121,860 |

(4) 衛生費

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|--------------------------|---------|------------------|---------------------------|
| 健康づくり計画事業(4.1.1) | 49 | 市 | 費 49 |
| 救急体制推進事業(4.1.1) | 24,735 | 市 諸 収 入 | 費 入 2,200 22,535 |
| 社会福祉施設等価格高騰重点支援事業(4.1.1) | 10,840 | 国 | 費 10,840 |
| 保健推進費(4.1.2) | | | |
| ①精神保健事業 | 60 | 市 | 費 60 |
| ②自殺対策事業 | 338 | 県 市 | 費 費 172 166 |

| 事業内容 | | | 事業効果の概要 |
|---------|-------|---------|--|
| | | | <p>本市の生活保護の動向を見ると、前年度より保護世帯・人員ともに横ばい傾向にあり、保護率は7.03%である。相談件数は、令和2年度62件、令和3年度50件、令和4年度68件であり、生活に不安を感じている世帯が多数見受けられる。その内、保護開始に至った割合は、令和2年度27.4%、令和3年度56.0%、令和4年度41.2%となっている。令和4年度の開始ケース28世帯・31人、廃止ケースは31世帯・33人となっている。</p> <p>被保護世帯に対しては、ケースワーカーの定期的訪問を実施し、実態把握に努め多様な問題を解消するとともに、関係機関と連携を取り不正受給の防止・他法の活用を行い、保護の適正実施を図った。</p> |
| 扶助別 | 延人数 | 支出額(千円) | |
| 生活扶助 | 2,400 | 91,354 | |
| 住宅扶助 | 1,946 | 39,464 | |
| 教育扶助 | 23 | 219 | |
| 介護扶助 | 822 | 18,748 | |
| 医療扶助 | 2,584 | 293,958 | |
| 出産扶助 | 0 | 0 | |
| 生業扶助 | 131 | 1,204 | |
| 葬祭扶助 | 12 | 2,224 | |
| 保護施設事務費 | 78 | 12,509 | |
| 進学準備給付金 | 1 | 300 | |
| 合計 | | 459,980 | |

| 事業内容 | | | 事業効果の概要 | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-----------|------|---|--------------|-------|------|--------------|------|------|-----------------|--------|------|-------|----|---|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 伊予市健康づくり・食育推進協議会開催回数 1回 委員 13名 | | | <p>平成30年3月「伊予市健康づくり・食育推進計画」を策定後、健康寿命の延伸と食育推進を目標に、市民や地域、関係団体、行政が一体となって取り組むことができるよう、協議会を開催し、市の取り組みや関係機関や団体の活動を報告し、計画の推進について意見を伺った。また、国の計画の延長に伴い、本計画の期間延長について報告した。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>一次救急医療体制確保</p> <ul style="list-style-type: none"> *伊予地区在宅当番医制運営事業(休日の在宅当番医制) <ul style="list-style-type: none"> ・休日(日・祝祭日)9:00～15:00 延べ66日 ・伊予医師会33医療機関(うち市内13医療機関) *松山市急患医療センター運営事業(夜間診療) <ul style="list-style-type: none"> ・内科(月～土)21:00～24:00(元日除く) ・小児科(毎日)21:00～翌朝8:00(元日除く) <p>二次救急医療体制確保</p> <ul style="list-style-type: none"> *病院群輪番制病院運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・毎日午前8:30～翌朝8:30 ・14病院輪番制 ・松山医療圏(3市3町)負担運営 *小児救急医療支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・毎日18:00～翌朝8:30 ・3病院輪番制 ・松山医療圏(3市3町)負担運営 | | | <p>第一次救急医療体制、第二次救急医療体制を確保し、地域住民の急病患者の医療の確保や入院治療を必要とする成人、小児の重症救急患者の医療の確保を松山医療圏域で連携して対応に当たった。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>コロナ禍における物価高騰の影響を受ける医療関係施設等に対し、支援金を給付する。</p> <p>(給付実績)</p> <table border="1"> <tr><td>病院</td><td>1か所</td></tr> <tr><td>有床診療所</td><td>2か所</td></tr> <tr><td>無床診療所</td><td>31か所</td></tr> <tr><td>施術所</td><td>14か所</td></tr> <tr><td>薬局</td><td>12か所</td></tr> <tr><td>合計</td><td>60か所</td></tr> </table> | 病院 | 1か所 | 有床診療所 | 2か所 | 無床診療所 | 31か所 | 施術所 | 14か所 | 薬局 | 12か所 | 合計 | 60か所 | | | <p>支援金を給付することにより、安定的な医療関係サービスの提供を図った。</p> | | | |
| 病院 | 1か所 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 有床診療所 | 2か所 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 無床診療所 | 31か所 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施術所 | 14か所 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 薬局 | 12か所 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 60か所 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr><td>①デイケア</td><td>34人</td><td>12回</td></tr> <tr><td>②家族懇談会</td><td>15人</td><td>3回</td></tr> <tr><td>③健康相談</td><td>延べ</td><td>137人</td></tr> <tr><td>④訪問指導</td><td>延べ</td><td>89人</td></tr> <tr><td>⑤電話相談</td><td>延べ</td><td>345人</td></tr> </table> | ①デイケア | 34人 | 12回 | ②家族懇談会 | 15人 | 3回 | ③健康相談 | 延べ | 137人 | ④訪問指導 | 延べ | 89人 | ⑤電話相談 | 延べ | 345人 | | | <p>心の問題も多種多様で処遇困難事例も多く、個々の問題に応じ医療機関をはじめ、関係機関等と連携をもち対応していくことに努め、個別の相談、訪問により悩み等の軽減を図った。</p> |
| ①デイケア | 34人 | 12回 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②家族懇談会 | 15人 | 3回 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③健康相談 | 延べ | 137人 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④訪問指導 | 延べ | 89人 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤電話相談 | 延べ | 345人 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr><td>①こころの健康相談</td><td>22人</td><td>11回</td></tr> <tr><td>②ゲートキーパー養成講座</td><td>292人</td><td>4回</td></tr> <tr><td>③自殺対策に関する研修会</td><td>28人</td><td>1回</td></tr> <tr><td>④こころの体温計(アクセス数)</td><td>4,682件</td><td></td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策計画策定審議会 1回 委員 13名 | ①こころの健康相談 | 22人 | 11回 | ②ゲートキーパー養成講座 | 292人 | 4回 | ③自殺対策に関する研修会 | 28人 | 1回 | ④こころの体温計(アクセス数) | 4,682件 | | | | <p>こころの健康相談では、本人や家族からの心身の不調やストレスへの対応など様々な悩みに個別で相談に応じ、医療機関等と連携をもち、悩みや不安の軽減を図った。</p> <p>平成31年3月に「伊予市自殺対策計画」を策定し、「誰も自殺に追い込まれることのない伊予市の実現」を目指すため、各事業の推進を図った。審議会を開催し計画期間の見直しと伊予市の現状について協議した。</p> | | | |
| ①こころの健康相談 | 22人 | 11回 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②ゲートキーパー養成講座 | 292人 | 4回 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③自殺対策に関する研修会 | 28人 | 1回 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④こころの体温計(アクセス数) | 4,682件 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | | |
|----------------|---------|-------------|-------------|--------------------------|
| ③健康増進事業 | 32,789 | 国 県 市 | 費 費 費 | 118 1,077 31,594 |
| ④母子保健事業 | 24,340 | 国 県 市 | 費 費 費 | 7,590 1,519 15,231 |
| ⑤出産・子育て応援交付金事業 | 21,353 | 国 県 市 | 費 費 費 | 15,807 3,379 2,167 |
| ⑥食育推進事業 | 294 | 市 | 費 | 294 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|---|---|
| ①健康手帳の交付 6人 ②健康教育 41人/5回 ③健康相談 延べ485人 ④栄養相談 80人/27回 ⑤訪問指導 延べ92人 ⑥健康診査 *基本健診 104人/37回 *がん検診 ・肺がん(CR) 1,511人/37回 ・肺がん(CT) 565人/21回 ・胃がん 1276人/37回 ・大腸がん 2,118人/37回 ・乳がん(マンモグラフィ) 集団 736人/23回 個別 10人 ・乳がん(エコー) 72人/7回 ・子宮頸がん 集団 635人/22回 個別 9人 ・前立腺がん 683人/31回 *腹部超音波検診 1,311人/35回 *骨粗鬆症検診 258人/21回 *肝炎検査 ・B,C型肝炎セット 244人/37回 ・B型肝炎 19人/37回 ・C型肝炎 2人/37回 ⑦健康ポイント事業 ・アプリ登録者数 727人 ・カード発行者数 22人 ・達成券発行件数 279人 ⑧結核予防事業 *結核検診 1,172人 ⑨献血事業 移動採血車巡回(20ヶ所) ・献血者 400ml 579人 | <p>「伊予市健康づくり・食育推進計画」の推進を図り、健康増進法の趣旨に基づく各事業を実施し、健康づくり活動が、市民の日常生活に定着し継続できるよう、生活習慣病の予防・健康の保持増進の推進を図った。</p> <p>今年度も、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ実施し、昨年度中止していた乳がんエコー検診、腹部超音波検診を再開し、受診者数も回復してきた。40～74歳の国保の方対象の、施設での人間ドックの受診者も伸びた。健康教育も徐々に再開し、市民への健康啓発を行った。</p> <p>感染症法に基づき、結核検診を実施し、結核予防と保健指導の徹底を図った。</p> <p>愛媛県赤十字血液センターと連携を図りながら、安定的な血液の供給を行い、総合的かつ計画的に血液推進事業に寄与した。</p> |
| ①妊産婦健康診査事業 *妊婦一般健康診査 延べ 1,938人 *産婦健康診査(R4年10月～) 延べ 106人 ②乳幼児健康診査事業 *新生児聴覚検査 延べ 143人 *乳児一般健康診査 延べ 343人 *1歳6か月児健康診査 190人/6回 *3歳児健康診査 218人/6回 *3歳児視聴覚精密検査 33人 ③母子保健指導事業 *妊産婦乳幼児等訪問指導 延べ 411人 *妊産婦乳幼児等健康相談 延べ 2,898人 ④育児等健康支援事業 *心理相談 149人/12回 ⑤特定不妊治療費、不育治療費助成事業 *特定不妊治療費助成 11件 *不育治療費助成 0件 ⑥母子健康包括支援センター *母子健康手帳交付 147件 *個別支援計画作成 20件 *マタニティヨガ教室(交流) 28人/24回 *子育て支援ヘルパー派遣 延べ 2回 *産後ケア 延べ 15回 | <p>感染対策を講じつつ、妊婦及び乳幼児の個別健診・集団健診を実施し、異常の早期発見・健康管理の向上を図った。乳幼児の集団健診では、節目の月齢ごとに発達を確認し、内科健診・歯科健診だけでなく保健師・栄養士・歯科衛生士による個別相談や指導を行い、健康管理の向上と育児不安等の軽減を図った。</p> <p>また安心して子どもを産み健やかに育てるため妊産婦・乳幼児の訪問・相談等を実施し、支援の必要な母子に対しては、関係機関と連携し多職種で関わりをもち必要な支援を行った。特に、母子健康包括支援センターにおいては、母子保健コーディネーターが個別支援プランを作成する際、利用者といっしょに今後の見通しを立てるなど寄り添った支援に注力している。</p> <p>コロナ禍において育児不安を抱える方やハイリスク妊婦等、少なくない状況に、妊娠届け出時から把握する活動や訪問事業、乳幼児健康診査等、親子に出会う機会を捉え、信頼関係の構築、再構築をしながら、妊娠期から出産・子育て期にわたり切れ目ない支援に努めている。</p> |
| 受給者(令和4年4月1日に遡り支給) 出産応援給付金 253人 子育て応援給付金 151人 | <p>妊娠届出時より妊婦や特に低年齢期の子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面接や継続的な情報発信等を行うことで必要な支援につながる伴走型相談支援の充実を図るとともに、出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図るため給付金の支給を行い経済的支援を一体的に実施した。(事業開始 令和5年2月15日～)</p> |
| ①離乳食相談 60人/6回 ②栄養改善事業 *親子ふれあい健康教室 31人 | <p>食に関する知識や意識を高め、心身の健康を増進する健全な食生活を実践できるように、感染対策を講じながら、離乳食相談や来所・電話による随時の栄養相談を実施した。</p> |

| 種目及び事業名 | | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|-----------------------|------------------------|---------|------------------|---|
| | ⑥食育推進事業 | | | |
| 予防接種事業(4.1.3) | | | | |
| | ①予防接種事業 | 101,337 | 国 市 | 費 費 1,528 99,809 |
| | ②新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 | 243,980 | 国 市 諸 | 費 費 収 入 201,456 41,914 610 |
| 保健センター施設管理運営事業(4.1.4) | | 13,471 | 市 使 財 諸 | 費 用 産 収 入 料 入 入 12,936 445 66 24 |
| 狂犬病予防等事業(4.1.5) | | | | |
| | ①犬の登録及び狂犬病予防事業 | 542 | 手 数 | 料 542 |
| | ②犬・猫不妊去勢手術費補助事業 | 400 | 県 手 数 | 費 料 87 313 |
| 生活環境保全事業(4.1.5) | | 2,009 | 市 | 費 2,009 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|--|---|
| ＊栄養相談(電話・来所) 24人 ③保健栄養地区組織活動(食育推進リーダー27人) ＊食育推進リーダー研修会 141人／6回 ＊協議会総会及び理事会等 240人／11回 ＊日本食生活協会事業(生涯骨太クッキング他) 43人／2回 | 地区組織活動支援のための食育推進リーダー研修会を開催し、食習慣の知識の習得を含めた生活習慣の見直しを図った。さらに食育推進リーダーは、地区で伝達講習を開催し、研修内容を広く市民に伝達した。 |
| ①予防接種事業 (A類) ＊ヒブワクチン接種 延べ 702人 ＊小児用肺炎球菌ワクチン接種 延べ 702人 ＊4種混合ワクチン接種 延べ 732人 ＊3種混合ワクチン接種 延べ 1人 ＊2種混合ワクチン接種 259人 ＊不活化ポリオワクチン接種 1人 ＊BCGワクチン接種 181人 ＊麻しん風しん混合ワクチン接種 延べ 437人 ＊水痘ワクチン接種 延べ 340人 ＊日本脳炎ワクチン接種 延べ 1,021人 ＊子宮頸がん予防ワクチン接種 延べ 659人 ＊B型肝炎ワクチン接種 延べ 517人 ＊ロタウイルスワクチン接種 延べ 345人 ＊接種不適合者 13人 (B類) ＊高齢者インフルエンザ予防接種 7,873人 ＊高齢者肺炎球菌感染症予防接種 420人 ＊接種不適合者 0人 ②風しん抗体検査等事業 ＊風しん抗体検査 206人 ＊第5期風しん定期接種(MRワクチン) 44人 ③小学生・中学生・高校生インフルエンザ 延べ1,097人 | 予防接種法に基づき、各種予防接種を実施し、伝染の可能性がある疾病について、その発生とまん延の防止を図ると同時に、日頃の感染症予防の保健意識の向上に努めた。 ヒトパピローマウイルスワクチン(子宮頸がん予防ワクチン)の積極的勧奨を再開し、接種を検討・判断するための情報提供を、定期接種対象者およびキャッチアップ接種(接種を控えていた時期の対象者)へ個別に行い、接種者数の増加につながった。 風しんの追加的対策として、風しん抗体保有率の低い年代の男性を対象とした抗体検査及び予防接種が延長され、個別勧奨を行い受検率の向上を図った。 小・中・高校生を対象としたインフルエンザ接種費用の一部助成を行い、インフルエンザの感染予防と経済的負担の軽減を図った。 |
| ＊新型コロナウイルスワクチン集団接種 延べ 87日 延べ 16,342人 ※再掲(5歳未満) 延べ 194人 予診のみ 延べ 12人 ＊新型コロナウイルスワクチン個別接種 延べ 28,104人 ※再掲(5歳未満) 延べ 34人 予診のみ 延べ 15人 | 予防接種法に基づき新型コロナウイルスを臨時接種として、接種を希望する市民全員が接種できるよう医療機関と調整し、接種体制やスケジュールを構築した。従来株のワクチンに加え、小児接種・オミクロン株対応ワクチン接種等ワクチンの種類が複雑化したため、市民に対し速やかに新しい情報提供を行い理解に努めた。 |
| 自主的活動による貸館利用 ・利用回数 延べ 237回 ・利用人数 延べ 4,613人 | 市民の健康づくりの拠点施設として、健康相談・健康教育・健康診査など多面的かつ体系的な保健サービスの提供により、市民の自主的な保健活動の場としてふさわしい施設運営に心がけた。 新型コロナウイルス感染症対策を講じ、利用人数を制限し、貸館を行い、利用者には、感染予防の注意喚起を行った。 新型コロナウイルスワクチン集団接種会場となり、多くの市民が来所されたが、混雑しないよう受付時間の調整を図った。 |
| 狂犬病の発生予防、まん延を防止し、狂犬病を撲滅することを目的に狂犬病予防接種を実施した。 ・畜犬登録数 1,789頭 ・予防接種数 1,347頭 | 犬の登録受付及び狂犬病予防接種の集合注射を市内各地域に出向き巡回実施することにより、畜犬登録・予防接種率が向上し公衆衛生の維持が図られた。 |
| 犬猫不妊去勢手術費補助金 補助限度額 飼い犬・猫2千円 飼い主のいない猫4千円 1世帯1年間で2頭 ・不妊去勢手術数 150頭 | 犬・猫を所有・飼養している者に対して手術費の補助金を交付し、不必要な繁殖の防止と周囲への迷惑を未然に防止することができた。 |
| 「地域一斉清掃」及び「双海地域清掃活動」の実施に伴うごみ処理、不法投棄ごみ処分及び環境美化の啓発等を実施した。 ・参加者数 2,423人 | 一斉清掃活動を通じて、地域の環境美化推進に努めるとともに、地域コミュニティ活動の活性化が図られた。 |

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | | |
|------------------------|---------|-------------|-----------------------|----------------------------|
| 温暖化対策事業(4.1.5) | 17,883 | 国 諸 市 | 収 入 費 | 9,922 12 7,949 |
| 住宅用新エネルギー機器設置事業(4.1.5) | 2,400 | 県 市 | 費 費 | 480 1,920 |
| 環境保全対策事業(4.1.6) | 1,549 | 市 | 費 | 1,549 |
| 浄化槽設置整備事業(4.1.9) | 10,694 | 国 県 市 | 費 費 費 | 3,564 827 6,303 |
| 歯科保健センター運営費(4.1.10) | 1,512 | 国 市 諸 | 費 費 収 入 | 526 933 53 |
| ごみ処理事業(4.2.1) | 351,499 | 手 諸 市 | 数 収 料 入 費 | 42,665 8,172 300,662 |
| ごみ減量推進事業(4.2.1) | | | | |
| ①家庭用生ごみ処理機等購入費補助事業 | 244 | 市 | 費 | 244 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|--|--|
| <p>令和3年度の市有施設等のエネルギー使用量を調査し、温室効果ガス排出量を算定した。 また、環境啓発のため環境教室を開催した。</p> <p>・令和3年度CO2排出量 5,746t-CO2 ・環境教室 2回</p> | <p>市民・事業者・行政が一体となって2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする取組を進めるため、環境基本計画、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)、再生可能エネルギー導入戦略を策定した。 また、近年問題化している海洋性プラスチックごみに関する環境学習を実施し、地球規模の環境問題について市民の理解を深めることができた。</p> |
| <p>個人(住宅用)設置費用の1/10か6万円のいずれか低い額</p> <p>申請件数 40件 支給総額 2,400千円 蓄電容量及び発電出力 280.9kw</p> | <p>伊予市内で家庭用リチウムイオン蓄電池、家庭用燃料電池及びV2Hを設置する者に対し補助金を交付し、CO2削減に寄与するとともに防災意識の喚起に努めた。</p> |
| <p>市内の主要な河川、沿岸海域の水質調査等を実施した。</p> <p>・海水調査 2地点 ・河川水質調査 8地点 ・糞便性大腸菌群数調査 5地点 ・環境保全調査 2地点</p> | <p>水質汚濁防止法に基づき、環境基準の維持達成状況を把握するために公共用水域の汚濁の状況調査を実施し、水質等の環境保全に努めた。</p> |
| <p>浄化槽設置整備事業</p> <p>5人槽 32基 7人槽 4基 10人槽 3基 計 39基</p> | <p>公共下水道や農業集落排水など集処理事業計画区域以外の区域において、公共用水域の水質保全及び生活環境の改善を図るために、浄化槽の適正な設置を促進し、生活雑排水等による水質汚濁の防止及び公衆衛生の向上が図られた。</p> |
| <p>①歯科相談 延べ 101人/20回 ②節目歯周疾患検診 (150人/年) *個別 123人/年 *集団 27人/5回 ③成人歯科健康診査 (46人/年) *個別 20人/年 *集団 26人/5回 ④妊婦歯科健康診査 (90人/年) *個別 84人/年 *集団(マタニティ歯科) 6人/年 ⑤乳幼児健康診査事業 *歯科健康診査 66人/12回 *フッ化物・サホライド塗布(むし歯予防) 66人/12回 ⑥1歳6か月児健康診査事業 *歯科健康診査 190人/6回 *フッ化物・サホライド塗布(むし歯予防) 147人/6回 ⑦3歳児健康診査事業 *歯科健康診査 218人/6回 *フッ化物・サホライド塗布(むし歯予防) 148人/6回 ⑧予防教室 *むし歯予防教室 28人/5回 *ハハハ教室 延べ110人/4回</p> | <p>各保健事業実施時に、乳幼児期から高齢者において、相談を受け、個別に指導を行うことにより口腔に関する意識を高めることができた。成人歯科健康診査においては、節目歯周疾患検診を新たに実施し、節目対象者にはクーポン券と受診券を送付し受診しやすい体制を整えた。また、モデル事業にも参加し受診勧奨を実施した。引き続き個別健診に加え、伊予市保健センターでの集団健診日に同時に歯科健診を行った。歯科保健指導も実施し、受診者の口腔に対する意識付けを行った。妊婦歯科健康診査については、医療機関やマタニティ歯科での実施を継続して行うことにより、妊娠中の口腔と健康の意識付けを行った。</p> |
| <p>一般廃棄物のうち、可燃ごみについて民間委託で5,362t、直接搬入で3,251t、合計8,613tを伊予地区清掃センターで処理し、不燃ごみ453t、粗大ごみ155tを民間委託処理を行った。また、資源ごみについて、ペットボトル114t、ガラスびん191t、容器包装プラスチック278tの再商品化業務を指定法人に委託するとともに、紙類321t、かん類117t、布類59t、有害ごみ7t、小型家電72tを回収・処理した。</p> <p>・ごみ収集等委託料 294,948千円 ・最終処分委託料 38,254千円</p> | <p>伊予地区清掃センターの老朽化に伴い、市域から発生する可燃ごみについて、令和5年度から暫定的に松山市へ焼却処分を委託することとなった。 また、松山ブロック3市3町での協議により、ごみ処理広域化に関する基本的事項について合意書の締結を行った。</p> |
| <p>市内に住居を有する個人が購入する電気式生ごみ処理機及び生ごみ処理容器の設置に対する補助。</p> <p><電気式生ごみ処理機> 補助率 1/2 限度額 2万円 1世帯 5年間で1基 設置基数 10基 補助金額 217,100円</p> <p><生ごみ処理容器> 補助率 1/2 限度額 3千円 1世帯 3年間で2基 設置基数 10基 補助金額 26,900円</p> | <p>生ごみを堆肥として有効利用するため、家庭でのごみ資源化を実践することにより、ごみの減量化、生活環境の保全が図られた。</p> |

| 種目及び事業名 | | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|-----------------|-----------------------------|---------|---------|-------|
| | ②資源ごみ回収活動事業 (回収団体に対する補助) | 728 | 市 | 費 728 |
| 雨水利用促進事業(4.3.3) | | 49 | 市 | 費 49 |

(5)労働費

| 種目及び事業名 | | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|---------------------|--|---------|---------|-----------|
| 勤労者教育資金貸付事業費(5.1.1) | | 5,000 | 諸 | 収 入 5,000 |

(6)農林水産業費

| 種目及び事業名 | | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|-----------------------|--|---------|---------|----------|
| 経営継承・発展等支援事業(6.1.3) | | 2,000 | 国 | 費 1,000 |
| | | | 市 | 費 1,000 |
| 農業振興助成事業(6.1.3) | | 1,051 | 県 | 費 60 |
| | | | 市 | 費 991 |
| 農業近代化資金利子補給事業費(6.1.3) | | 66 | 県 | 費 10 |
| | | | 市 | 費 56 |
| 農業活性化緊急対策事業費(6.1.3) | | 3,746 | 市 | 費 3,746 |
| 環境保全型農業直接支援事業費(6.1.3) | | 1,998 | 県 | 費 1,498 |
| | | | 市 | 費 500 |
| 新規就農総合支援事業費(6.1.3) | | 26,716 | 県 | 費 26,716 |
| 担い手総合支援事業費(6.1.3) | | 11,709 | 県 | 費 8,178 |
| | | | 市 | 費 3,531 |
| 農業振興団体補助事業(6.1.3) | | 2,011 | 市 | 費 2,011 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|---|--|
| 資源ごみ回収活動登録団体が実施する資源ごみ(紙類)の回収に対する補助。(3円/kg) ・登録団体 48団体 ・活動参加世帯 4,887世帯 ・回収総量 242,784kg ・回収手数料 728,352円 | 町内会や愛護班、老人クラブ等が行う資源ごみ回収活動に手数料を交付し、ごみに対する意識変革と紙類の再資源化により、ごみ減量化に努めた。 |
| 雨水の有効利用の促進のため、雨水タンクを購入した者に対して補助金を交付した。 <雨水貯留施設購入費補助金> 補助率 1/2 限度額 30,000円 件数 2件 補助金額 49,000円 | 補助金を交付することにより、雨水の有効利用を促進し、節水意識の高揚が図られた。 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|------------------------|--|
| 勤労者教育資金貸付制度預託金 5,000千円 | 勤労者の福祉の増進のため、四国労働金庫に資金を預託し、勤労者またはその家族の教育に必要な資金を融資できる仕組みを整えた。利用実績はなかった。 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|--|---|
| 経営継承・発展支援事業 対象者 2戸 事業費 2,636,156円 補助金額 2,000,000円 (国費1/2 市費1/2) 補助上限額 1件あたり 1,000,000円 | 地域の中心経営体である先代事業者からその経営の主宰権の移譲を受けた後継者が経営を継承し、発展させることを目的として取り組む費用(研修費、旅費、機械装置等費、広報費、開発費等)を支援することにより、将来にわたり地域の農地利用等を担う経営体の確保が図られた。 |
| 農業廃棄物処理事業 事業費 2,300,090円 補助金額 920,036円 (補助率4/10以内) 回収処理実績 409件 58.8t 管内協議会費 10,000円 次代を担う若い農林漁業就業促進事業 補助金額 120,000円 (国費1/2 市費1/2) | 環境汚染物質の発生が懸念される農業廃棄物の適正処理について、JAえひめ中央が実施する同事業に対し支援するとともに、関係機関と連携し農家に対し啓発を行うことで、農山村における環境の保全と施設園芸の健全な発展が図られた。 |
| 農業近代化資金利子補給事業 利子補給件数金額 5件 45,119円(年利1%以内) 農業経営基盤強化資金利子補給事業 利子補給件数金額 2件 20,418円 (県・市費1/2以内) | 農業経営の近代化と合理化を図り、その振興に資するため、農業者等に対し、農業近代化資金の融資を円滑にするための利子補給により、農業者等の生産施設等の整備拡充が図られた。また、農業経営基盤強化資金の融資を円滑にするための利子補給により、農業経営の改善に必要な施設等の取得・整備の拡充が図られた。 |
| 特産果樹優良品種導入事業(優良苗木導入) 事業費 5,638,600円 (292戸 2,071.1a) 補助金額 1,419,750円 (150円/本) 特産果樹高品質生産体制整備事業(栗剪定作業委託) 事業費 2,224,068円 (46戸 2,890a) 補助金額 1,112,023円 (補助率1/2以内) 土づくり体制整備事業(パーク堆肥購入) 事業費 5,416,510円 (127戸 3,034a) 補助金額 1,213,600円 (4,000円/10a) | 特産果樹優良品種の導入や生産技術の向上による産地化の推進、消費者が求める安全・安心な農産物の生産振興を図るための土づくりの推進等について、JAえひめ中央が実施する同事業に対し支援することにより、消費者や市場のニーズに応じた産地化や高品質化が図られ、本市農業の活性化に貢献した。 |
| 環境保全型直接支援事業 補助金額 1,998,000円 (県費3/4 市費1/4) 補助単価 12,000円/10a 取組団体数面積 3団体 1,665a | 化学肥料等を使用しない環境保全効果の高い営農活動を行う農業者団体に対し支援することにより、地球温暖化防止や生物多様性保全が図られた。 |
| 農業次世代人材投資事業(H30～R3年度)※16経営体 補助金額 23,880,003円(県費10/10) 新規就農者育成総合対策(R4年度以降)※2経営体 補助金額 2,250,000円(県費10/10) 経営発展支援事業(自走式ラジコン動噴1台) 事業費 780,000円 補助金額 585,000円 (県費3/4以内) | 就農初期の新規就農者(50歳未満)等に対して、就農意欲の喚起と就農後の定着を目的として、令和3年度までは5年以内、令和4年度からは3年以内の期間で経営開始資金を交付することで、新規就農者の定着・確保が図られた。 また、次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入支援が図られた。(補助対象事業費上限額1,000万円(経営開始資金交付対象者は500万円)) |
| 担い手総合支援事業(研修支援) 事業費 3,585,334円 補助金額 1,195,000円 (県費1/3以内) 担い手総合支援事業(機械施設整備) 事業費 21,205,700円 (APハウス、枝豆コンバイン等) 補助額 10,514,000円 (県費1/3以内 市費1/6以内) | 農業生産の確保と集落における農地の維持管理が困難になりつつある中、多様な担い手の確保・育成のため、新規就農者の募集から研修、就農、経営発展、経営継承まで一貫した担い手育成が図られた。 |
| 各農業振興団体支援事業 ①認定農業者協議会 240,000円 ②青年農業者協議会 200,000円 ③中山町農業者協議会 160,000円 | ①②③地域の中心経営体として活動する農業者等が、同一目的のもと実施する研修、意見交換等の活動について支援することにより、地域農業の振興に貢献した。 |

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|--------------------------|---------|---------|-----------------------------|
| 農業振興団体補助事業(6.1.3) | | | |
| 農業女性グループ育成事業(6.1.3) | 620 | 市 | 費 620 |
| 果樹振興対策事業費(6.1.3) | 26,114 | 県市 | 費費 17,410 8,704 |
| 鳥獣被害防止対策事業(6.1.3) | | | |
| ①鳥獣被害防止総合対策事業 | 9,416 | 県市 | 費費 8,909 507 |
| ②鳥獣害防止施設整備事業 | 3,300 | 県市 | 費費 2,060 1,240 |
| ③有害鳥獣捕獲隊等育成事業 | 1,133 | 県市 | 費費 366 767 |
| ④鳥獣被害防止対策推進事業 | 30 | 市 | 費 30 |
| ⑤有害鳥獣総合捕獲事業 | 19,039 | 県市 | 費費 3,703 15,336 |
| 柑橘放任園害虫対策事業費(6.1.3) | 448 | 市 | 費 448 |
| 経営所得安定対策直接支払推進事業費(6.1.3) | 2,214 | 県 | 費 2,214 |
| 農業資材等価格高騰対策支援事業(6.1.3) | 3,272 | 国 | 費 3,272 |
| 水田農業構造改革対策事業費(6.1.4) | 12,244 | 国 | 費 12,244 |
| 中山間地域等直接支払交付金事業費(6.1.5) | 76,374 | 県市諸 | 費費入 55,552 20,635 187 |
| 中山農産加工場等管理運営費(6.1.6) | 1,146 | 市使 | 費用料 1,111 35 |
| なかやまフラワーハウス管理運営費(6.1.6) | 11,470 | 市 | 費 11,470 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|---|---|
| ④伊予農業高等学校農業教育振興協議会 900,000円 ⑤伊予市農業共済組合 511,000円 | ④農業教育充実事業、人材育成事業または地域貢献事業について支援することにより社会生活や農業従事に必要な知識・技能等の修得が図られた。⑤愛媛県農業共済組合が実施する共済事業について支援することにより、農業者の経営安定に貢献した。 |
| 各農業女性グループ支援事業 ①農山漁村男女共同参画社会づくり推進協議会 300,000円 ②生活研究協議会 320,000円 | ①自己啓発・啓蒙活動を支援することにより男女共同参画社会の発展に努めた。 ②研修・視察、各種イベント等へ参加することでグループ活動の促進に努めた。 |
| 未来型果樹産地強化支援事業 事業費 52,536,000円 補助金額 26,114,000円（県1/3以内 市1/6以内） 雨よけハウス(7戸 4,137㎡) かん水設備(8戸 6,266㎡) キウイ果樹棚(3戸 6,308㎡) 暖房機(1戸 1,300㎡) 栗燻蒸施設設置(1施設) | 愛媛県果樹農業振興計画等に基づく未来型果樹園の創造とブランド果実の安定供給による儲かる果樹農業の確立のため、生産基盤の強化、商品力の向上等を推進し、未来型果樹園を核とした産地の強化が図られた。 |
| 鳥獣被害防止対策の総合的な取組みへの支援事業 補助金額 9,415,652円（①②県1/2以内 市残額③県定額） ①箱わな 1,006,852円(大9基、小7基、センサー7台) ②講習 6,000円(新規1人) ③捕獲 8,402,800円(2,118頭) | 拡大する野生鳥獣類による農作物被害防止を図るため、伊予市鳥獣被害防止総合対策協議会がソフト面から実施する同事業について支援することにより、農業の振興と農家所得の安定が図られた。 |
| 鳥獣被害自己防衛策への支援事業 事業費 7,437,420円 補助金額 3,299,570円(県1/3以内 市1/6以内) 電気柵(15戸 20台) ワイヤメッシュ柵(36戸 4,632枚) | 拡大するイノシシ等野生鳥獣類による農作物被害防止を図るため、JAえひめ中央が実施する同事業について支援することにより、農業の振興と農家所得の安定が図られた。 |
| 有害鳥獣捕獲従事者の資格維持支援事業 補助金額 1,132,500円（県費1/2以内 市費1/2以内） 対象者数 105人 | 猟友会等の組織力強化・促進を図るため、伊予市鳥獣被害防止総合対策協議会が実施する取組みを支援することにより、捕獲効果が高まり農作物等被害の軽減が図られた。 |
| 鳥獣害防止対策に要する経費補助 補助金額 30,000円（県費10/10） | 伊予市鳥獣被害防止計画に基づく各種対策事業事務の円滑な実施が図られた。 |
| 有害鳥獣捕獲に係る活動経費支援事業 補助金額 19,038,500円(県費 定額 市費 残額) 捕獲数 2,119頭 ※ウサギ含む | 有害鳥獣による農林産物の被害が著しい地域等において、銃器又は箱わな等により有害鳥獣を捕獲することで、有害鳥獣による農作物等被害を軽減し、農林業の振興と農家等所得の安定が図られた。 |
| 補助金額 447,485円 薬剤害虫防除事業 1,300,410円(109戸 22.74ha) 補助額 433,445円（市費1/3以内） 放任園伐採事業 93,600円(2戸 0.4ha) 補助額 14,040円（市費15%以内） | 柑橘生産農家の高齢化や後継者不足等に起因し、増加している放任園や耕作放棄地から発生する害虫による被害を防ぐため、JAえひめ中央が実施する同事業について支援することにより、栽培管理園地の薬剤防除の徹底、放任園の伐採促進が図られた。 |
| 経営所得安定対策事業の取組への支援事業 事業費 2,214,000円（県費10/10） | 伊予市農業再生協議会が実施する農業経営の安定と国内生産力の確保を図るための取組みを支援することにより、同事業の適正な運営が図られた。 |
| 施設園芸燃料価格高騰対策支援事業 補助金額 1,352,000円(5円/1リットル) 対象者・対象面積 49戸 648a 土壤改良資材導入対策支援事業 補助金額 1,919,200円(購入費の1/2以内) 対象者 67戸 | 燃料価格高騰による農業経営への影響緩和のため、加温を要する施設園芸農家に対して燃料費の一部を補助することで継続的な農業経営の支援が図られた。また、土壤改良資材価格も高騰していることから土壤改良資材購入費の一部を支援することで農業経営に及ぼす影響の緩和及び脱化学肥料への取組み支援が図られた。 |
| 水田農業経営継続支援事業 補助金額 12,243,600円（4,000円/10a） 対象者・対象面積 377戸 306ha | 新型コロナウイルス感染症の影響により、水田農業の経営に深刻な影響を及ぼしていることから農業者の農業経営が継続されることを目的に水田農業への前向きな取組み支援が図られた。 |
| 中山間地域等直接支払交付金事業 交付額 73,376,413円(県費3/4以内 市費1/4) 協定数 77集落 対象面積 711.3ha 交付金返還金 140,373円(10,172㎡) 中山間地域等直接支払推進交付金事業 事業費 2,856,972円 | 耕作放棄地の増加等により多面的機能の低下が特に懸念される中山間地域において、第5期対策(令和2年度～令和6年度)として、生産条件の不利を補正するための直接支払いによる交付金支援を行うことにより、地域農業者等による自律的で継続的な農業生産活動等の体制整備に向けた前向きな取組みの推進が図られた。 |
| 中山農産加工施設等管理運営費等 加工場指定管理料等 741,300円 加工場施設・設備修繕料 115,500円 そば組合活動事業費補助金 288,263円 | 地域資源を活用した特産品開発と加工事業について支援することにより安定した加工場運営と多面的な地域経済の活性化、併せて地域コミュニティの醸成が図られた。 |
| ○指定管理料 9,173千円 ○天窓等修繕工事 外2件 1,342千円 ○サークルテーブル購入費等 955千円 | 新型コロナウイルス感染防止対策を継続しながら、中止していたイベントを再開したことや、主力商品を多肉植物に切り替えたことで収集家・愛好家の集客効果が生まれ来館者が増加した。 また、休憩スペースにテーブル等を整備し密にならない空間の創設を図り3密回避対策を実施したことで来館者が増加し、前年度を上回る来場者数となりサービスの提供を維持することができた。 |

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | | |
|---------------------------|--------------|---------|----|--------|
| 中山農林施設管理費(6.1.6) | 7,998 | 市 | 債費 | 7,900 |
| | | 市 | 費 | 98 |
| ふたみトレーニングセンター管理運営費(6.1.6) | 1,394 | 使 | 料 | 290 |
| | | 財 | 入 | 24 |
| | | 市 | 費 | 1,080 |
| 畜産業費(6.1.7) | 10,286 | 県 | 費 | 10,216 |
| | | 市 | 費 | 70 |
| 市単独土地改良事業(6.1.8) | 現年 19,279 | 分 | 担 | 金 |
| | | 使 | 用 | 料 |
| | | 市 | | 債 |
| | | 助 | 成 | 金 |
| | | 市 | | 費 |
| | | | | 15,020 |
| | 繰越 1,567 | 分 | 担 | 金 |
| | | 市 | | 費 |
| | | | | 521 |
| | 合計 20,846 | 分 | 担 | 金 |
| | | 使 | 用 | 料 |
| | | 市 | | 債 |
| | | 助 | 成 | 金 |
| | | 市 | | 費 |
| | | | | 16,066 |
| 団体営土地改良事業(6.1.8) | 繰越 18,383 | 県 | 費 | 18,380 |
| | | 市 | 費 | 3 |
| 小規模土地改良整備事業(6.1.8) | 3,279 | 市 | 費 | 3,279 |
| 道後平野農業水利事業(6.1.9) | 13,532 | 県 | 費 | 1,146 |
| | | 繰 | 入 | 金 |
| | | 入 | 収 | 入 |
| | | 諸 | 入 | 費 |
| | | 市 | 費 | 496 |
| | | | | 10,303 |
| グリーン・ツーリズム対策事業(6.1.11) | 320 | 市 | 費 | 320 |
| 農村環境保全向上活動支援事業費(6.1.12) | 58,059 | 県 | 費 | 43,544 |
| | | 諸 | 入 | 80 |
| | | 市 | 費 | 14,435 |
| 県営地すべり対策事業(6.1.13) | 256 | 市 | 費 | 256 |
| 県営ため池等整備事業(6.1.14) | 10,932 | 市 | 債 | 7,100 |
| | | 分 | 担 | 金 |
| | | 市 | | 費 |
| | | | | 993 |
| | | | | 2,839 |
| 林業振興費(6.2.2) | | | | |
| ①緑の少年隊活動事業 | 320 | 市 | 費 | 320 |
| ②森林環境保全整備事業 | 17,000 | 市 | 費 | 17,000 |
| ③除間伐材出荷促進対策事業 | 10,303 | 市 | 費 | 10,303 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|--|---|
| ○ななかやま穀類等乾燥調製施設屋根改修工事設計業務 498千円 ○ななかやま穀類等乾燥調製施設屋根改修工事 7,500千円 | 老朽化による天井からの雨漏りに対処するため、屋根を全面改修し穀類乾燥の品質確保を図った。 |
| ○浄化槽維持管理業務 外4件 613千円 ○軒天修繕工事 外5件 608千円 ○バレーボールネット購入費等 173千円 | 施設内の器具や屋根の修繕を行い、利用者の利便性及び安全確保を図った。 |
| 畜産配合飼料価格高騰対策支援事業 補助金額 10,215,996円 (1トン/3,700円) 対象者 5経営体 県協会年会費等 70,000円 | 配合飼料価格高騰の影響を受ける市内畜産農家の飼料コスト低減や収益確保の取組を支援することで、畜産農家の自助努力を引き出し、配合飼料価格高騰の影響を受けにくい経営体質へ転換し、畜産物の安定供給体制の維持が図られた。 |
| (現年分) ○上三谷橋外5橋点検業務 外4件 7,860千円 ○大平白木谷農道土砂撤去業務 外1件 533千円 ○上吾川鎌倉池取水施設改修工事 外5件 6,706千円 ○ため池ハザードマップ印刷製本 4,180千円 (繰越分) ○下三谷岩崎池堤体補修工事 1,567千円 | 国や県の補助事業として採択基準に合わない小規模事業及び緊急整備を要する地区に対し土地改良事業を実施し、農業の生産性向上と農業経営の合理化に努めた。 |
| (繰越分) ○ため池ハザードマップ作成業務 18,383千円 | 防災・減災対策のため、地震などによりため池が決壊した場合のため池下流のはん濫解析を行うとともに、非常時の地域住民の適正な避難誘導を目的とした、ため池浸水想定区域図を作成し防災や避難に関する取組みに努めた。 |
| ○農道(コンクリート舗装) 8ヶ所 ○水路(ポリエチレン管布設) 6ヶ所 | 小規模土地改良事業として、原材料費相当額を補助することにより、農業生産や流通の効率を上げるとともに、農村環境の整備を図った。 |
| ○道後平野土地改良区経常賦課金等 10,149千円 ○大谷池調整池使用料等 1,742千円 ○県営土地改良事業等負担金(かんがい排水) 112千円 ○国営造成施設管理体制整備促進事業補助金 1,529千円 | 農業生産面の役割だけでなく、水資源の涵養、洪水防止や水辺環境の形成など多面的機能を有している国営農業水利施設並びに関連する県営農業水利施設を管理する道後平野土地改良区の管理体制の整備・強化が図れた。 |
| グリーン・ツーリズム推進協議会補助事業 団体補助 300,000円 体験者数 15,929人 県協議会費 20,000円 | 相互連携を図りながら多様な農林漁業の体験や地域の情報発信等を組織的に行う伊予市グリーン・ツーリズム推進協議会に支援することにより、農山漁村地域の活性化が図られた。 |
| ○多面的機能支払交付金 ・市内20活動組織(長寿命化については、14活動組織) ・対象農用地 801ha ・農地維持支払交付金外 (県3/4、市1/4) 33,175千円 ・資源向上支払交付金(長寿命化) (県3/4、市1/4) 23,148千円 ・多面的機能支払推進交付金(推進組織推進事業) 1,736千円 | 過疎化・高齢化・混住化等の進行に伴う農業集落機能の低下により、農地・農業用施設等の資源の適切な保安全管理が困難となってきた現在の状況に対応するため、農業者と地域住民が一体となって、資源の良好な保全と質的向上を図る取り組みと農業用施設の長寿命化を図る取り組みができた。 |
| ○福住平村地区 外1件 賦課金 一式 | 地すべり対策事業により、地すべりを未然に防止するため、事業計画に基づき継続して実施された。 |
| ○県営地域ため池総合整備事業負担金 10,728千円 (吾川地区、土段地区、宮下新池地区) ○県営地域ため池総合整備事業賦課金 204千円 (吾川地区、土段地区、宮下新池地区) | 豪雨や地震時におけるため池の決壊等による災害を未然に防止するため、県営事業として実施している、ため池等整備事業(3地区)へ負担金を支出し、農業生産基盤の整備を推進した。 |
| ○活動事業費補助金 320千円 ・結成団体 小学校 5校、中学校 3校(団員数671人) ・団体活動費 640千円(1校当たり80千円) ※別途県連盟補助金 320千円 | 市内小中学校の児童、生徒で構成された緑の少年隊が森林、緑を守り育てるという目的で、植樹活動や育樹活動を実施し地域の緑化を図った。 |
| ○整備事業費補助金 17,000千円 ・間伐 117ha ・森林作業道整備 15,018m | 水資源の涵養、国土の保全等、森林の持つ多面的機能の高度発揮及び森林資源の充実並びに山村地域の振興を図るため、間伐及び森林作業道整備を実施し、機能に応じた森林の整備を図った。 |
| ○対策事業費補助金 10,303千円 ・補助率 1㎡当たり 1,500円以内 ・樹種 スギ ヒノキ ・出荷又は出荷取継量 6,244㎡ | 水資源の涵養、国土の保全等、森林の持つ多面的機能が十分に発揮されるように、森林の保全と健全な育成を図るため、除間伐材の出荷又は出荷の取継に対し支援を行い、森林の除間伐の促進を図った。 |

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|----------------------|--------------|------------------|-------------------------------|
| ④木造新築住宅建築支援事業 | 981 | 市 | 費 981 |
| ⑤原木しいたけ優良品種導入事業 | 389 | 市 | 費 389 |
| ⑥林業関係団体等燃料代高騰対策事業 | 248 | 県 | 費 248 |
| ⑦松くい虫枯損木伐倒駆除事業 | 7,926 | 県 市 | 費 費 5,536 2,390 |
| ⑧森林・山村多面的機能発揮対策支援事業 | 213 | 県 市 | 費 費 107 106 |
| ⑨森林環境整備事業 | 58,726 | 繰入金 基金預金 市 | 利子 費 28,992 6 29,728 |
| ⑩木材産業国際競争力強化対策事業 | 繰越 54,300 | 県 | 費 54,300 |
| 林道管理事業(6.2.3) | 現年 9,498 | 市 | 費 9,498 |
| | 繰越 1,555 | 市 | 費 1,555 |
| | 合計 11,053 | 市 | 費 11,053 |
| 県営林道整備事業費(6.2.3) | 4,000 | 分 市 | 担 金 費 400 3,600 |
| 小規模林道整備事業費(6.2.3) | 1,169 | 市 | 費 1,169 |
| 森林整備地域活動支援事業費(6.2.4) | 1,520 | 県 市 | 費 費 1,140 380 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|--|---|
| ○支援事業費補助金 981千円 ・補助単価 県産材使用1㎡当たり15,000円 ・補助件数 6件 | 林業の活性化、建築関係産業の振興及び定住促進を図るため、民間住宅を対象にした地域材の購入費用の支援を行った。 |
| ○導入事業費補助金 389千円 ・全体事業費 1,517千円 ・補助率 種菌1駒当たり 0.8円以内 ・受益戸数 10戸 ・受益ほだ木 22,086本 ・優良品種導入 441,720駒 | 原木しいたけの生産振興及び生産者の安定経営を図るため、くぬぎ等地域森林資源を活用した高品質原木しいたけの栽培に要する経費の一部を補助することにより、原木乾しいたけの生産量の確保及び優良しいたけの育成を図った。 |
| ○対策事業費補助金 248千円(24件) ・補助単価 1kg当たり44.5円(乾しいたけ) 1kg当たり63円(乾たけのこ) | コロナ禍において灯油価格高騰により影響を受けた事業者の負担を軽減し、伊予市の乾しいたけ及び乾たけのこ産業の維持に寄与した。 |
| ○枯損木伐倒駆除・薬剤樹幹注入 ・事業費 7,599千円 ・補助率 県費1/2以内(枯損木伐倒駆除) 県費3/4以内(薬剤樹幹注入) ・伐倒駆除材積 30㎡ 薬剤樹幹注入本数 1,817本 ○被害木調査 ・事業費 327千円 | 谷上山公園周辺を中心とした松林等健全化促進事業により、松くい虫被害木の駆除を実施し、被害の拡大防止に努めた。五色浜公園では松林保全体制整備強化事業により、松枯れ防止薬剤の樹幹注入を実施し、景観の保全を図った。 |
| ○明神山森林古道再生活用推進隊 補助金45千円 ・森林資源利用タイプ 対象面積 1.2ha 補助単価 1ha当たり37,000円 ○伊予竹林再生活動組織 補助金 82千円 ・地球環境保全タイプ(侵入竹除去・竹林整備) 対象面積 1.0ha 補助単価 1ha当たり82,000円 ○藤の会活動組織 補助金 87千円 ・地球環境保全タイプ(侵入竹除去・竹林整備) 対象面積 0.6ha 補助単価 1ha当たり95,000円 ・活動推進費 20千円 ・森林機能強化タイプ 作業道 50m 補助単価 1m当たり200円 | 森林の有する多面的機能の発揮には、適切な森林整備や計画的な森林資源の利用が不可欠であるが、林業の不振、山村地域の過疎化・高齢化により手入れを行う地域住民が減少し、地域全体で竹の侵入による山林の荒廃が進んでいる箇所が多く、侵入竹の除去・竹林整備が急務となっている。このことから、地域住民等による竹林整備等の森林の手入れの共同活動への支援を行った。 |
| ○森林保険料 896千円 ○新たな森林管理システム関連業務 2,574千円 ○森林整備業務 18,743千円 ○林道維持管理業務 495千円 ○木育活動推進木製品購入費 1,525千円 ○中予森林管理推進センター運営負担金 4,759千円 ○森林環境譲与税基金積立金 29,734千円 | 森林経営管理事業の本格的な実施に向け、林業経営の効率化と適正な森林管理の推進を図るため、近隣4市町3森林組合共同にて開設した中予森林管理推進センターの運営に係る経費の負担や森林所有者への意向確認、木育活動の一環として木製品を購入し公共施設等へ配布、経営管理権設定森林の森林保険加入、保育間伐による森林整備の実施、後年度の実施事業に備え基金への積立等を行った。 |
| (繰越分) ○対策事業費補助金 54,300千円 ・耳摺り装置 31,123千円 ・基準2面挽き装置 20,567千円 ・集じん装置 2,610千円 | ウッドショックの影響により、外国産材から地域材への代替需要が求められている中、市内製材所の施設整備を行い、製造効率を上げることで、地域産材の更なる活用を図った。 |
| (現年) ○林道小中村線維持管理業務 外5件 2,299千円 ○林道松森城線水路改修工事 外1件 7,199千円 (繰越分) ○林道大谷第1線排水路改修工事 1,555千円 | 林業経営の安定化と地域林業の活性化、並びに健全な森林を拡大し公益的機能の向上を図り、生産コストの縮減、利便性、安全性の向上、円滑な交通の促進に寄与した。 |
| ○県営林道(万年鶴崎線)整備事業 ・事業費 40,000千円 ・負担額 4,000千円 ・負担率 市90% 分担金10% | 林道万年鶴崎線の開設を促進し、森林の公益的機能の回復及び機能の向上、また森林管理のための路網整備を行った。 |
| ○林道(コンクリート舗装) 4ヶ所 ○水路(ポリエチレン管布設) 1ヶ所 | 小規模林道整備事業として原材料費相当額を補助し、路網整備や排水施設の改修により林業経営の維持増進が図れた。 |
| ○森林経営計画作成促進 ・事業費 1,520千円 ・事業面積 40ha 交付単価 1ha当たり38,000円 ・補助率 県3/4以内 | 国土の保全や水源の涵養、地球温暖化防止や木材生産などの森林が持つ多面的機能を十分に発揮するためには、森林計画制度に基づいた計画的かつ適切な森林整備を進める必要があることから、森林経営計画を作成するために必要な活動、森林施業を集約化するために必要な活動を支援した。 |

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|-------------------------|--------------|---------|----------------------------|
| 漁業近代化資金利子補給事業(6.3.2) | 116 | 市 | 費 116 |
| 漁業団体育成事業費(6.3.2) | | | |
| ①漁業経費支援事業 | 6,570 | 国 | 費 6,570 |
| ②水産業関係団体等燃料代高騰対策事業 | 2,440 | 国 | 費 2,440 |
| ③漁業団体育成事業 | 530 | 市 | 費 530 |
| ④魚食普及活動事業 | 170 | 市 | 費 170 |
| ⑤水産漁業振興事業 | 2,300 | 市 | 費 2,300 |
| ⑥新規漁業就業者育成強化事業 | 4,792 | 県市 | 費費 2,396 2,396 |
| 漁業振興助成事業費(6.3.2) | | | |
| ①漁港施設改修事業 | 640 | 市 | 費 640 |
| ②漁業廃棄物処理事業 | 384 | 市 | 費 384 |
| ③水産業強化支援事業 | 2,250 | 県市 | 費費 1,500 750 |
| ④伊予漁業協同組合水産業振興施設解体事業 | 256 | 市 | 費 256 |
| 伊予地域漁業管理事業(6.3.3) | 10,964 | 使市市 | 用料債費 897 6,700 3,367 |
| 双海地域漁業管理事業(6.3.3) | 3,561 | 使市 | 用料債費 1,952 1,609 |
| 水産業競争力強化漁港機能増進事業(6.3.3) | 繰越 10,403 | 県市市 | 費債費 5,000 5,000 403 |
| 水産物供給基盤機能保全事業(6.3.3) | 4,510 | 県市市 | 費債費 2,255 2,200 55 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|---|--|
| ○漁業近代化資金利子補給事業 ・上半期 利子補給件数・金額 9件 9,600円 ・下半期 利子補給件数・金額 8件 7,753円 ○伊予市農林漁業セーフティネット資金利子補給事業 ・伊予市上灘漁港漁船火災に係る利子補給 ・利子補給件数・金額 20件 98,670円 | 漁業者及び漁業協同組合に対し、低利資金の融資を円滑にする措置を講じることにより、漁業経営の近代化と合理化を図り、漁業振興に努めた。 また、上灘漁港の漁船火災により損失を被った漁業者に対し、農林漁業セーフティネット資金の利用を円滑にする措置を講じることにより、当該漁業者の復興を支援することに努めた。 |
| ○資機材導入支援事業 ・事業費 1,653千円 ○漁具等購入支援事業 ・事業費 4,917千円 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、水産需要が低迷しているため、漁業者や関係団体が機材や漁具等を購入する経費に対し補助することにより漁業収入の向上や作業の効率化に努めた。 |
| ○対策事業費補助金 2,440千円(59件) ・漁業経営セーフティネット加入者 補助単価 積立金取崩し額の3分の1以内 ・漁業経営セーフティネット未加入者 補助単価 市が定める補填単価に燃油使用数量を乗じた額 | コロナ禍において漁業燃油の価格高騰により、厳しい経営状況にある漁業者の経営のコスト削減や収益確保の取り組みを支援することで、セーフティネット構築事業未加入者の加入を促進するとともに、燃油の価格高騰の影響を受けにくい経営体質への転換に寄与した。 |
| ○双海町若い漁業者自主研修活動事業 225千円 ○双海町漁業後継者対策事業等 305千円 | 伊予市双海地域において、漁業技術の向上及び漁家経営の強化についての研修や情報交換等積極的な活動を行うことにより、地域水産業の健全な発展を図ることを目的とし、各団体が自主研修及び積極的な地域活動等を行うことにより、団体の育成に努めた。 |
| ○伊予市シーフード協議会 135千円 ・シーフード料理教室 9回 ○双海町シーフード協議会 35千円 ・産業まつりへの参加 | 水産物の食生活における重要性を見直し、地域における魚の消費拡大を目的として、魚料理講習会を実施することにより、魚食普及活動の推進に努めた。 |
| ○補助金 2,300千円(補助率1/2以内) ・全体事業費 5,406千円 漁村開発奨励事業 1,412千円 漁業技術導入事業 1,155千円 漁場整備事業等 2,839千円 | 漁業後継者の育成と活動の活性化、先進的な技術の導入、漁場環境の整備、魚食普及活動の推進、海岸灯の維持管理、栽培技術の研修など、地域水産業の推進に係る活動を支援し、水産業振興に努めた。 |
| ○補助金 4,792千円(補助率2/3以内) ・全体事業費 7,198千円 ・対象者4名 | 新規漁業就業者に対し、漁船燃料代、種苗購入費その他漁業に必要な消耗品購入費を支援するのに必要な経費を補助することにより、漁獲物の品質向上を図り、安定した漁家経営の実現及び育成強化に努めた。 |
| ○補助金 640千円(補助率4/10以内) ・上灘漁港漁具倉庫解体工事 1,760千円 | 上灘漁業協同組合が行う漁具倉庫解体工事に要する経費について支援を行うことにより、水産振興の向上を図った。 |
| ○漁業生産に伴うプラスチック系廃棄物の回収処理 ・補助金 384千円(補助率4/10以内) ・全体事業費 1,056千円 ・漁業廃棄物処理量 138m ³ | 廃棄物処理法に基づき、焼却等によってダイオキシン等の漁業生産環境汚染物質の発生が懸念される漁業廃棄物について、漁業協同組合が事業実施主体となり、マニフェスト制度導入による適正処理を行うとともに、行政・漁協が一体となって関係漁業者に対し、啓発を行い漁村における環境の保全に努めた。 |
| ○補助金 2,250千円(補助率3/4以内) ・伊予漁協製氷施設新築工事設計業務 3,300千円 | 事業実施主体である伊予漁業協同組合が、漁獲量の向上や品質の向上を図るために、新たに鮮度保持施設を導入するため、鮮度保持施設の建築工事に伴う実施設計に要する経費について支援を行うことにより、水産振興の向上を図った。 |
| ○補助金 256千円(補助率4/10以内) ・伊予漁協水産業振興施設解体実施設計業務 704千円 | 魚介類鮮度保持施設を整備するため、旧水産業振興施設を円滑に解体実施できる様に漁業協同組合が事業実施主体となり行う解体設計業務に要する経費について支援を行うことにより、水産振興の向上を図った。 |
| ○森漁港管理業務等 944千円 ○森漁港沈没船引き揚げ手数料 231千円 ○森漁港区域内浚渫工事等 9,789千円 | 森漁港区域の浚渫や臨港道路の集水桝蓋修繕工事を行い漁港の安全性の向上や環境の保全に努めた。 |
| ○豊田漁港管理業務 700千円 ○上灘漁港管理業務 396千円 ○豊田漁港樹木剪定業務等 1,212千円 ○豊田漁港東防波堤標識灯修繕工事 694千円 ○上灘漁港区域内防護柵修繕工事等 559千円 | 上灘漁港の電気設備の修繕や安全施設の修繕工事、豊田漁港の照明灯の修繕工事を行い漁港の安全性の向上に努めた。 |
| (繰越分) ○豊田漁港物揚場機能増進工事 10,403千円 | 豊田漁港の物揚場について、老朽化により腐食が発生したグレーチングを耐食性の高いステンレス製へ更新し、水産物の荷さばき及び運搬に要する作業時間の短縮や水産物の衛生管理体制を強化し、漁業者の就労環境の改善と流通機能の強化を図るための整備を行った。 |
| ○上灘漁港物揚場機能保全工事 4,510千円 | 上灘漁港の物揚場について、沈下・ひび割れ・空洞化が発生しており、要求性能を下回っている可能性があることから、適切な漁港管理を図るため、エプロンの打ち替え等整備を行った。 |

(7) 商工費

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|------------------------|---------|---------|---------------------|
| 商工総務費(7.1.1) | | | |
| 消費者相談事業 | 2,460 | 市 | 費 2,460 |
| 商工振興費(7.1.2) | | | |
| ①中小企業資金融資事業 | 35,000 | 諸 | 収入 35,000 |
| ②商工振興事業補助金(伊予地域) | 11,236 | 市 | 費 11,236 |
| ③商工振興事業補助金(中山双海地域) | 14,448 | 市 | 費 14,448 |
| ④新型コロナウイルス対策関連商工振興事業 | 89,029 | 国 県 | 費費 60,604 28,425 |
| ⑤感染症対策利子補給事業 | 3,576 | 市 | 費 3,576 |
| ⑥感染症対策(原油・物価高騰)商工振興事業費 | 92,646 | 国 市 | 費費 92,633 13 |

| 事業内容 | | 事業効果の概要 |
|---|------------------|--|
| 消費者行政活性化事業費補助金対象事業 | 2,460千円 | <p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の対策補助を逆手に取った詐欺疑い事案が多発しているほか、巣籠り需要の拡大に便乗したオンライン通販関連の相談件数が大幅に増加した。</p> <p>これらを受けて今年度は、4月1日に地域協議会を設置し、情報共有の場を設けるとともに、民生委員との情報共有を図った。伊予署とも連携し市内の啓発(防災無線の活用)に努めた。</p> |
| ・出前講座 | 7回 | |
| ・消費者相談件数 | 69件 | |
| ・中小企業振興資金預託金(伊予銀行) | 17,500千円 | <p>伊予市内の中小企業の金融難を緩和し、もって企業の育成振興を図るため、指定金融機関に資金を預託し、中小企業者に必要な資金を融資することができた。</p> |
| ・中小企業振興資金預託金(愛媛銀行) | 8,750千円 | |
| ・中小企業振興資金預託金(愛媛信用金庫) | 8,750千円 | |
| 補助金交付先 | | <p>伊予商工会議所が行う商工業の振興事業に対し補助金を交付し、商工業の振興及び改善のための事業、小規模事業者の経営改善のため相談事業及び創業者や第二創業者に対する関係機関との連携による総合支援の実施等、地域経済の発展対策に寄与した。</p> |
| 伊予商工会議所 | 7,010千円 | |
| ・商工会議所重点事業 | | <p>伊予市商業協同組合による共通商品券の拡販及び各種販売促進事業の強化に対する補助を行い、市内中小商業の振興と商店街の活性化に寄与した。</p> |
| ・小規模事業推進対策事業 | | |
| ・商工振興対策事業 | | |
| ・青色申告指導対策事業 | | |
| ・景気動向調査事業 | | |
| 伊予市商業協同組合 | 4,226千円 | |
| ・商店街等近代化特別事業 | | <p>双海中山商工会における経営指導員による巡回指導、経営改善普及事業を中心とした商工会活動事業の実施、商品券発行事業のほか、青年部・女性部・商店連盟等の育成及び商工会活動の諸事業への補助を行い、経営改善等の発展に寄与した。</p> |
| ・年末大売出し事業 | | |
| 双海中山商工会 | 14,448千円 | |
| ・商工会運営事業 | | |
| ・青年部活動 | | |
| ・女性部活動 | | <p>新型コロナウイルス感染症の拡大により深刻な影響を受けた市内経済の活性化に向け、地方創生臨時交付金を活用した様々な経済活性化事業を展開した。</p> <p>消費活性化を目的としたキャッシュレス決済プレミアム還元事業や、市内の中小企業の経営強化、広告PR及び起業・創業に係る活動を支援する中小企業・小規模企業等振興補助金交付事業を行った。</p> <p>緊急地域雇用維持助成事業では、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、従業員を休業させ、雇用の維持を図った事業者を支援することで、市内事業者の事業継続の下支えを行うことができた。</p> <p>特にキャッシュレス決済プレミアム還元事業については、非接触による料金収受が進むなど、事業者と住民の双方から高い評価を得た。</p> <p>また、外出や旅行の自粛が要請される中、特に打撃が大きかった宿泊・交通といった事業者を支援する事業のほか、市内事業者が感染症の拡大を予防しながら事業継続するための支援などを行い、市内経済の下支えとなった。</p> |
| ・青色申告会事業 | | |
| ・商品券発行事業 | | |
| キャッシュレス決済プレミアム還元事業 | 19,782千円 | |
| ボーナス原資 | 17,376千円 | |
| 市内宿泊施設利用促進事業 | 39,294千円 | |
| 参加宿泊施設数 | 10件 | |
| 延べ利用回数 | 9,900人 | |
| 緊急地域雇用維持助成事業 | 2,122千円 | |
| 支援件数 | 32件 | |
| バス・タクシー事業者雇用維持等支援事業 | 3,550千円 | |
| 支援件数 | 6件 | |
| 感染症防止取組件数 | 35件 | |
| 中小企業・小規模企業等振興補助金交付事業 | 24,281千円 | |
| 交付件数 | 98件 | |
| 新型コロナウイルス感染症特別貸付等利子補給金 | 2事業者 197千円 | <p>新型コロナウイルス感染症の影響により事業活動に支障が生じている中小企業者等の経営安定化を図るため、日本政策金融公庫が行う、新型コロナウイルス感染症特別貸付、新型コロナウイルス感染症対策マル経融資、生活衛生新型コロナウイルス感染症特別貸付、新型コロナウイルス対策衛生経融資の融資を受けた事業者に上限金利内で利子補給を行った。国が委託する(独)中小企業基盤整備機構の特別利子補給制度との重複は不可のため、今年度については国の特別利子補給制度の対象外部分について該当する2事業者のみ利子補給を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により事業活動に支障が生じている中小企業者等の経営安定化を図るため、愛媛県、金融機関と連携し、新型コロナウイルス感染症対策資金(県独自枠)の融資を受ける事業者の当初3年間の実質無利子化を図った。年利1.0%のうち、県と市町が0.5%相当ずつを金融機関へ利子補給することで、事業者は当初3年間金利0%で金融機関から融資を受けることができた。</p> |
| 新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給金 (伊予銀行、愛媛銀行、愛媛信用金庫、百十四銀行) | 40事業者 3,379千円 | |
| 市内宿泊施設燃料物価高騰対策事業 | 31,095千円 | <p>新型コロナ感染症により影響を受けた事業者が、原油・物価高騰で二重苦にあえぐ中、一定の支援をすることで経営の継続と雇用維持の下支えを行った。</p> <p>また、燃料等の物価高騰により経営に影響を受けている市内の宿泊事業者を支援し、経営の安定化を図り、事業の継続を支援した。</p> |
| 支援事業者数 | 13事業者 | |
| 市内事業者支援事業 | 61,551千円 | |
| 法人 | 170件 | |
| 個人 | 341件 | |

| 種目及び事業名 | | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|--------------|--------------------|---------|-------------|---------------------------------------|
| 商工開発費(7.1.3) | | | | |
| | 企業誘致促進事業 | 45,695 | 市 | 費 45,695 |
| 観光費(7.1.4) | | | | |
| | ①観光イベント事業 | 11,161 | 市 諸 | 費 収 入 5,641 5,520 |
| | ②観光振興事業費 | 15,879 | 市 諸 | 費 収 入 15,290 589 |
| | ③地域おこし協力隊事業 | 7,205 | 国 | 費 7,205 |
| | ④新型コロナウイルス対策関連観光事業 | 61,608 | 国 県 市 | 費 費 費 43,150 18,434 24 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|--|--|
| 企業誘致促進奨励金 2件 45,695千円 | 企業誘致促進条例の規定に則り市内で操業を開始した事業者に対し、奨励金を交付し、市内における経済効果と雇用の増進に繋げた。 |
| 補助金交付先 ・伊予市観光協会 11,141千円 (本部) 70千円 ・伊予市観光物産フェア (伊予支部) 4,855千円 ・谷上山さくらまつり(コロナの影響で中止) ・伊予彩まつり (中山支部) 3,246千円 ・伊予中山ホテルまつり(コロナの影響で中止) ・なかやま夏まつり ・なかやま栗まつり (双海支部) 2,970千円 ・「ほたるの里ふたみ」ほたる祭り ・双海の夏祭り ・夕焼けプラットホームコンサート&しもなだ鱧まつり プラットホームコンサートはオンライン公開 (しもなだ鱧まつりはコロナの影響で中止) ・しおかぜウォークなのはな大会(コロナの影響で中止) ・伊予市トライアスロン大会inふたみ実行委員会 ・伊予市トライアスロン大会inふたみ (コロナの影響で中止) 0千円 ・いよし花まつり推進委員会 ・いよし花まつり 20千円 (コロナの影響で中止) | 伊予市観光協会が行う各種イベントに補助を行うことにより観光施策を推進していたものの、コロナ禍により活動の一部が影響を受けた。 伊予市観光物産フェアについては、DCMダイキ美沢店と重信店で合計4日間にわたり実施した。伊予市の特産品フェアを行った。ますます、いよし。ブランド認定品等の展示販売や、伊予市観光ポスターの掲示、焼き栗の実演販売等を行い、来場者から好評を得た。 伊予支部については、谷上山さくらまつりが新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。 伊予彩まつりは新型コロナウイルス感染症拡大により、2年間の中止を余儀なくされていたが、開催を希望する声が市民から多数寄せられ、感染防止対策に留意しながら可能な範囲で開催し、夏まつりとして市民に憩いと楽しみの場を提供し、市民生活に潤いをもたらし、地域の活性化に成果があった。伊予おどりパレードは新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。 中山支部の中山ホテルまつりについては、代替事業として中山地域のホテルの見どころを紹介したパンフレットの印刷・配布を行った。 なかやま夏まつりは、事業内容を花火に限定し「なかやま夏まつり花火大会」として開催し、住民同士の交流を深める絶好の機会となった。 なかやま栗まつりは、例年に準じた形で開催した。感染症対策やボランティア人員対策を塾考し、シャトルバス運行の中止、イベントステージの一本化等に取り組み将来を見据えた持続可能なイベントスタイルを追求した。目玉である中山栗を買い求める来場者が多く、中山栗の認知度向上に努めることができた。 双海支部では、しおかぜウォークなのはな大会は中止となったものの、「ほたるの里ふたみ」ほたる祭りは双海地域限定で3年ぶりに実施したほか、夕焼けプラットホームコンサートは無観客で実施し、YouTube等でライブ配信を行うなど、コロナ禍に対応したイベント手法を確立することができた。双海の夏祭りは、しもなだ運動公園を主会場として受付ゲートでの検温等感染対策を万全に行い開催し、好評を得た。 「伊予市トライアスロン大会inふたみ」については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。 いよし花まつりも、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。 |
| 観光団体助成事業 伊予市観光協会事業費補助金 11,546千円 伊予市ボランティアガイド活動事業費補助金 216千円 伊予市ほたる保護活動費助成金 140千円 JR下灘駅来客用臨時駐車場草刈等業務 231千円 ふたみ翠地区ほたる水車小屋草刈業務 44千円 観光DMO運営支援業務 3,702千円 | 各地域の特色や地域性、これまでの歴史を生かした観光振興を推進するため、各観光関連団体の活動を支援した。 JR下灘駅の来客者が増加していることから、周辺を含む草刈業務を年4回実施し、臨時来客用駐車場の適切な管理に努めた。 また、1月に設立した一般社団法人観光物産協会ソレイヨにおける、組織目標設定、組織管理機能の策定、組織体制・事務分掌の策定など、次年度以降の着実な運営に向けた事業計画書を作成することができた。 |
| 地域おこし協力隊関連事業費 7,205千円 | 伊予市全般の観光情報等の収集、発信及び観光物産協会の設立支援を任務とする協力隊員並びに中山地域の観光及び地域の特産品を活用した地域振興を任務とする協力隊員を任命している。 伊予市全般を担当している協力隊員は、観光物産協会設立への取組に携わり、1月の観光物産協会の法人化に貢献した。また、中山地域の協力隊員は、地域の余剰食材を活用した商品の開発による地域産品の普及拡大を目指して活動した。 |
| 県・市町連携事業！新! Go To Iyoキャンペーン事業 19,269千円 クーポン発行枚数 22,786枚 キャンペーン参加総人数 9,312人 直接的経済効果推定値 150,196千円 クロスメディアによる自転車活用推進啓発事業 15,400千円 ラジオ放送27回、テレビ放送7回、ワークショップ1回 ラジオ及びテレビCM100回以上、ライブコマース2回 地域情報誌掲載1回、サイクルロゲイニング1回 Youtubeインストリーム広告及びビジョン広告の実施 新たな視点からの観光誘客及び消費拡大業務 17,050千円 電子雑誌を活用した情報発信 短編動画作成(計3本) パンフレット印刷 日本語版10,000部 英語版5,000部 | 「県・市町連携事業！新! Go To Iyoキャンペーン事業」では、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ市内観光施設・店舗の利用・消費喚起を図るため、NEXCO西日本と協働し、高速道路を活用して市外からの誘客を促進した。好評だった第1弾(令和3年度実施)の実績を踏まえ、第2弾として、中山SICの利用を積極的に促す仕組みを展開することで中山地域への誘客を加速させ、地域の経済振興に効果をもたらした。 「クロスメディアによる自転車活用推進啓発事業」では、新型コロナウイルス感染症により打撃を受けた市内経済の立て直しを図るとともに、アフターコロナを見据えた新しい伊予市の観光を確立するため、日常・観光における自転車利用について、各メディアを複合的に組み合わせて発信することで、市内経済の活性化に繋げることができた。また、消費喚起を目的として、ライブコマース実施、ECサイト導入に係る説明会の開催、市産品PR動画の制作を行い、市内商品の積極的なアピールを行った。 「新たな視点からの観光誘客及び消費拡大業務」では、全国の20～40代の女性をメインターゲットに、電子雑誌に伊予市の特色を生かした内容の記事を掲載し、ウィズコロナ、アフターコロナの新しい生活様式に対応した伊予市の新たな楽しみ方を発信することができた。 電子雑誌に加え、動画を複合的に制作・展開することで相乗効果を高め、全国的に伊予市の知名度を上げるとともに、伊予市に関心を持つ人を増加させることができた。 |

| 種目及び事業名 | | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|--------------------|-------------------------|--------------|----------------------------|-----------------------|
| | ④新型コロナウイルス対策関連観光事業 | | | |
| 商工観光施設管理運営費(7.1.5) | | | | |
| | ①秦皇山施設管理運営費 | 7,546 | 市 使 用 費 料 | 6,413 1,133 |
| | ②交流促進センター管理運営事業(花の森ホテル) | 現年 20,418 | 国 市 使 用 費 料 | 1,017 19,387 14 |
| | | 繰越 2,242 | 市 費 | 2,242 |
| | ③クラフトの里管理運営事業 | 11,369 | 市 使 用 費 料 | 11,219 150 |
| | ④ふたみシーサイド公園管理運営事業 | 13,756 | 市 使 用 費 料 | 13,496 260 |
| | ⑤栗の里公園等管理費 | 6,876 | 市 使 用 費 料 | 6,848 28 |
| | ⑥彩浜館管理運営費 | 5,816 | 市 使 用 費 料 | 5,716 100 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|--|--|
| 地域商社の立上げに係る伴走支援業務 9,889千円 事業設計支援(ワーキンググループ支援等) 92回 法人化への移行支援 13回 設立支援(法人組織設計等) 100回 事業運営準備支援(交付金関係) 5回 | 「地域商社の立上げに係る伴走支援業務」では、新型コロナウイルス感染拡大の影響で落ち込んだ市内経済の早期復興を目指して、市内の観光と物産を総合的にマネジメントし、アフターコロナ社会を見越した観光振興、市産品の消費拡大・販路開拓を推し進めるため、ワーキンググループ等で協議を進め、一般社団法人観光物産協会ソレイヨの設立に至った。 |
| 利用件数・利用人数 ログハウス 延利用件数80件 延利用人数565人 キャンプ場 延利用件数7件 延利用人数17人 バーベキューハウス 延利用件数98件 グラススキー 延利用件数32件 延利用人数107人 修繕料 1,158千円 公園ターザンロープ修繕工事等 1,158千円 委託料 3,544千円 森林公園管理業務委託料 2,402千円 森林公園展望台構造簡易診断業務委託料 1,142千円 工事請負費 1,205千円 森林公園ログハウス屋根塗替え塗装工事 1,078千円 道路案内板設置工事等 127千円 | 公園内のターザンロープ修繕など、安心して利用できる環境整備に取り組んだ。 公園内にある展望台で壁の剥落等がある。修繕を検討していく中で、耐震性の問題が起こったため、構造の簡易診断及び地盤調査を行った。展望台の施設の具体的な方針については、翌年度検討することとした。 |
| 指定管理料 6,310千円 空調設備及び小型貫流温水ボイラ賃借料他2件 5,587千円 厨房排水溝改修工事 440千円 2階・3階フロアカーペット張替工事 622千円 トロンサウナ機器取替工事 3,311千円 防火設備定期点検委託料 121千円 外壁調査及び特定建築物定期調査業務 858千円 羽毛布団等寝具更新 2,068千円 液晶テレビ更新 85千円 シャッター付き物置設置工事 726千円 業務用冷凍庫(備品購入) 291千円 | かねてからの懸案であった厨房排水口の修繕など、計画的に修繕・改修を行うことができた。 寝具や液晶テレビを更新することで、宿泊客がより快適に施設を利用することができるようになった。 また、大容量の冷凍庫を増設することで、飲食提供における市内産品の利用率を向上させ、積極的な使用食材のアピール、オフシーズンの有効活用による食品ロス軽減に寄与することができた。 |
| 非常用照明器具取替工事 2,242千円 | 世界的な半導体入荷不足の影響により、使用部材の調達時期が予定より遅れたものの、取り換えることができた。 |
| 指定管理料 10,000千円 駐車場修繕工事 363千円 そばゆで釜及びシンク更新 869千円 旧特産品センター設置看板撤去及び処分業務 93千円 そば打ち体験道場蟻害調査業務 44千円 | 駐車場が陥没をしていると施設管理者から連絡があったため、速やかに修繕を行い、適切な施設の維持管理に努めた。 また、厨房機器の経年劣化により効率的に調理ができないことから、設備の更新を行うことで、施設管理者が効率的に調理できるようになった。 |
| 指定管理料 6,694千円 サメ防護ネット設置業務 4,928千円 砂浜清掃及び施設安全確認業務 660千円 流木運搬及び最終処分手数料 215千円 芙蓉剪定業務 247千円 イートインコーナー雨水排水工事 1,012千円 | 全面リニューアルから1年が経過し、指定管理者はオープン当初から試行錯誤を繰り返しながら運営し、週末も積極的にイベントを行うなど、客数や売り上げの増加に努めている。市担当者や地域関係者とも良好な関係を築くなど、適切かつ良好な運営が行われている。今後も伊予市の重要な観光拠点として、ますますの改善と活用を目指す。 イートインコーナーに雨水が溜まり、利用者に影響があったため、排水工事を実施し、負担軽減に努めた。 |
| 修繕料 273千円 滑り台修繕工事 99千円 給水管漏水修繕工事 55千円 トイレ横街路灯撤去工事等 119千円 委託料 栗の里公園管理業務委託料 2,036千円 福元農村公園等管理業務委託料 854千円 なかやま野外音楽広場指定管理料 396千円 工事請負費 複合遊具撤去、ローラー滑り台修繕工事 770千円 トイレ照明器具取替工事 418千円 旧遊栗館看板文字撤去及び目隠工事 300千円 | 老朽化していた滑り台登り口の撤去等の整備を行い、安全管理に努めた。また、漏水のあった2か所の給水管の修繕を行うなど、公園管理を行った。 民間に貸付を行っている旧遊栗館の文字看板が利用者に誤認を与えるため、文字の撤去、目隠工事を行った。 |
| 利用件数・人数 第1号和室(65畳) 利用件数15件 利用人数806人 第2号和室(12畳) 利用件数25件 利用人数327人 第3号和室(10畳) 利用件数29件 利用人数353人 エントランスホール 利用件数1件 利用人数100人 修繕料 162千円 吸収式冷温水機冷却機塔修繕工事 30千円 屋内タンク貯蔵所標識等修繕工事 33千円 | コロナ禍において、利用制限はあったものの、年度後半から徐々に利用が増えた。 日頃から管理人と密に連絡を取り、修繕が必要な箇所については、適宜対応した。彩浜館入り口付近の石組数カ所について、亀裂や損傷が見られたため、地震等の災害が発生した場合の二次被害防止に備えて急遽工事を実施した。 |

| 種目及び事業名 | | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|-----------------------|-------------------------------|---------|-----------------------|----------------|
| | ⑥彩浜館管理運営費 | | | |
| | ⑦伊予市生涯研修センター「さざなみ館」管理運営費 | 8,600 | 市 使 用 費 料 | 7,213 1,387 |
| 中心市街地活性化推進事業(7. 1. 6) | | | | |
| | ①お年寄りに優しいまちづくりモデル事業 | 1,600 | 市 費 | 1,600 |
| | ②新規創業等経営安定化支援事業 | 409 | 市 費 | 409 |
| | ③施設運営事業費(JR伊予市駅前街の交流拠点施設「町家」) | 6,947 | 市 使 用 費 料 | 6,919 28 |

(8) 土木費

| 種目及び事業名 | | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|---------------------|----|---------|---|--------------------------------|
| 土木総務事業(8. 1. 1) | 現年 | 39,844 | 使 用 料 数 市 費 | 33 702 39,109 |
| | 繰越 | 2,319 | 市 費 | 2,319 |
| | 合計 | 42,163 | 使 用 料 数 市 費 | 33 702 41,428 |
| 急傾斜地崩壊対策事業(8. 1. 2) | | 20,500 | 市 市 債 費 | 18,500 2,000 |
| がけ崩れ防災対策事業(8. 1. 3) | 現年 | 8,546 | 県 市 分 市 担 費 債 金 費 | 5,094 2,000 1,358 94 |
| | 繰越 | 5,226 | 県 分 市 担 費 金 費 | 3,795 1,364 67 |
| | 合計 | 13,772 | 県 市 分 市 担 費 債 金 費 | 8,889 2,000 2,722 161 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|---|---|
| 各所石組修繕工事 99千円 委託料 1,322千円 警備業務 396千円 庭木剪定業務 270千円 松枝木伐採業務等 656千円 | |
| 利用件数・人数 第1研修室 利用件数164件 利用人数5,120人 第2研修室 利用件数113件 利用人数956人 第3研修室 利用件数18件 利用人数155人 ビデオライブラリー 利用件数46件 利用人数349人 調理実習室 利用件数69件 利用人数553人 修繕料 962千円 空調用吸収式冷温水機修繕工事 660千円 非常用照明修繕工事 99千円 1階調理実習室排煙窓修繕工事等 203千円 委託料 3,359千円 空気調和設備改修工事設計業務 1,925千円 特定建築物定期報告書作成業務 484千円 警備業務等 950千円 | コロナ禍において、利用制限はあったものの、年度後半から徐々に利用が増えた。 来年度実施予定である電気エアコンへの改修工事に向けた設計業務を実施した。都市整備課へ事務委任し、業務を行った。その他、毎年行っている委託業務や10年に1回実施しなければならない「特定建築物定期報告書作成業務」を行った。 修繕については、適宜管理人と情報共有を行い必要に応じて工事を実施した。エアコンが定期的に故障するため、応急処置として「空調用吸収式冷温水機修繕工事」を行った。 |
| 補助金交付先 ・伊予市商業協同組合 1,600千円 | 伊予市商業協同組合に補助することで、高齢者をはじめ、街を訪れる人みんなが気軽に利用できる交流施設「郡中いっぶく亭」の適正な管理・運営や、郡中の様々な魅力や個人商店の頑張る姿を紹介する冊子「がんばる小さな商店と郡中まち歩き」の発行など、個人商店の情報発信につながった。 |
| 補助金交付先 ・伊予商工会議所 409千円 | 伊予商工会議所に補助することで、経営に不安を感じる市内事業者に対する、中小企業診断士・弁護士・税理士・社会労務士の専門家による相談指導の実施、事業者の経営の安定化に寄与することができた。 |
| 指定管理料 6,096千円 備品購入(オープンショーケース) 603千円 オーニング撤去工事 248千円 | 新型コロナウイルス感染症拡大により飲食店が苦境に立たされる状況の中、必要な備品を計画的に更新し、特産品販売等について安定した経営に寄与した。 また、雨よけ、日除けで設置されていたオーニングが破損したため、外観及び安全性の観点から撤去工事を実施した。 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|--|---|
| (現年) ○地籍情報管理事業費 地籍管理システム道路網図データ取込業務 182千円 ○法定外公共物管理費 維持管理・清掃業務 15件 2,354千円 米湊西野地区水路付替工事外5件 22,513千円 ○備品購入 トータルステーション(測量機器) 2,486千円 (繰越) ○法定外公共物管理費 四ツ松地区水路改修工事 2,319千円 | 地籍情報の適正管理、法定外水路、道路の適切な維持管理に努め、生活環境等の向上に寄与するとともに、トータルステーション(測量機器)を更新し、測量業務の業務効率向上に寄与した。 |
| ○工事請負費 泉町地区雨水排水路整備工事 18,584千円 ○県営事業負担金 急傾斜地崩壊対策事業寄付金 1,916千円 | 県営事業で実施している中山泉町地区の急傾斜地崩壊対策事業において、人家に隣接する斜面にコンクリート擁壁等を施工し斜面の崩壊を未然に防ぐと共に、下流水路の整備を行い、住民の生命、財産、安全確保に寄与した。 |
| (現年) ○工事請負費 中山B地区保全斜面地震対策工事 8,490千円 (繰越) ○工事請負費 小迫A地区保全斜面地震対策工事 5,226千円 | 集中豪雨等による家屋裏の斜面の崩壊を未然に防ぐため、土留め工事による対策を行い、住民の安全確保及び土砂災害の防止に寄与した。 |

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | | |
|-----------------|---------------|---------------------------------|-----------------------|--|
| 道路橋梁総務事業(8.2.1) | 7,784 | 市 | 費 | 7,784 |
| 道路維持事業(8.2.2) | 現年 124,977 | 国 市 占 用 市 | 費 債 料 費 | 10,272 33,800 3,410 77,495 |
| | 繰越 17,243 | 市 市 | 債 費 | 11,700 5,543 |
| | 合計 142,220 | 国 市 占 用 市 | 費 債 料 費 | 10,272 45,500 3,410 83,038 |
| 橋梁維持事業(8.2.3) | 現年 61,328 | 国 市 市 | 費 債 費 | 34,737 15,800 10,791 |
| | 繰越 16,387 | 国 市 市 | 費 債 費 | 9,281 6,700 406 |
| | 事故繰越 4,200 | 国 市 市 | 費 債 費 | 2,379 1,800 21 |
| | 合計 81,915 | 国 市 市 | 費 債 費 | 46,397 24,300 11,218 |
| 道路新設改良事業(8.2.4) | | | | |
| ①県営事業負担金 | 9,847 | 市 | 費 | 9,847 |
| ②市単独道路改良費 | 2,963 | 市 | 費 | 2,963 |
| 橋梁新設改良事業(8.2.5) | 繰越 11,634 | 国 市 市 | 費 債 費 | 5,925 4,500 1,209 |
| 河川総務事業(8.3.1) | 3,979 | 県 市 | 費 費 | 247 3,732 |
| 河川維持事業(8.3.2) | 1,856 | 河 川 占 用 料 費 市 | | 1 1,855 |
| 港湾管理事業(8.4.1) | 30,288 | 県 市 使 用 諸 市 | 費 債 料 入 費 | 4,174 19,500 2,982 168 3,464 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|--|---|
| ○道路台帳費 伊予市道路台帳整理業務(伊予地域) 4,203千円 伊予市道路台帳整理業務(中山・双海地域) 2,585千円 | 道路台帳は市道名や道路幅員を含む道路行政の基礎的資料であるため、常に最新の状態を維持し、業務の効率化及び閲覧者の利便性の向上に寄与した。 |
| (現年) ○市道維持管理 市道維持管理業務 88件 16,432千円 市道維持補修工事 55件 95,684千円 ○街路樹管理 市道街路樹管理業務 4件 1,334千円 (繰越) ○工事請負費 市道内港稲荷線外舗装補修工事外1件 17,243千円 | 市道の維持管理、維持補修をすることにより未然に交通事故の防止及び通行の安全性向上に努めた。 |
| (現年) ○委託料 水口橋外定期点検業務 外1件 41,152千円 ○工事請負費 天神橋補修工事(その2) 外1件 20,176千円 (繰越) ○工事請負費 下灘小学校橋補修工事 外1件 16,387千円 (事故繰越) ○工事請負費 天神橋補修工事 4,200千円 | 橋梁長寿命化へ向けた取り組みとして、橋梁の定期点検を行い、損傷が確認された橋梁について、補修設計・補修工事を実施し、道路網の安全確保に努めた。 |
| ○県営事業負担金費 愛媛県土木建設事業等負担金 9,847千円 | 地域の生活に密着した幹線道路の拡幅改良を実施したことにより、日常生活における利便性・安全性の向上に努め、円滑な交通の促進に寄与した。 |
| ○工事請負費 市道新川団地1号線道路改良工事 1,760千円 ○補償金 配電設備支障移転補償金 1,203千円 | 地域の生活に密着した市道の拡幅改良を実施したことにより、日常生活における利便性・安全性の向上に努め、円滑な交通の促進に寄与した。 |
| (繰越) ○借地料 橋梁架替工事に伴う借地料 104千円 ○工事請負費 川崎橋上部工架替工事 11,190千円 ○補償金 電気通信設備支障移転補償金 340千円 | 定期点検の結果、腐食等損傷が著しく架け替えが必要と判断された川崎橋について、架替工事を実施し、通行の安全確保に努めた。 |
| ○ポンプ場管理費 森浜ポンプ場照明修繕工事 外2件 386千円 各ポンプ場点検業務・管理業務委託7件 910千円 ○樋門管理費 各樋門・堰・排水機場管理業務委託5件 474千円 | 市管理河川、水路について、適切な維持管理を行うことにより豪雨・台風等による浸水被害を未然に防ぎ、地域住民の安全・安心な住環境の確保に努めた。 |
| ○河川維持費 殿田川支流雑木伐採業務 外1件 199千円 殿田川支流河床掘削工事 1,657千円 | 市管理河川、水路について、適切な維持管理を行うことにより豪雨・台風等による浸水被害を未然に防ぎ、地域住民の安全・安心な住環境の確保に努めた。 |
| ○港湾施設管理費 伊予港港湾施設管理清掃業務 392千円 プレジャーボート係留施設使用料徴収業務 1,241千円 伊予港警告看板修繕工事外1件 90千円 ○県営事業負担金費 港湾及び海岸事業負担金 24,917千円 | 伊予港港湾施設の補修・清掃等維持管理を適切に行い、安心安全に施設が利用できるよう努めるとともに、環境美化の向上を図った。 |

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | | |
|-------------------|--------------|------------------|-----------------------|---------------------------------|
| 公園管理事業(8.5.2) | | | | |
| ①公園管理費 | 118,500 | 国 使 諸 市 | 用 料 入 費 | 35,851 1,545 97 81,007 |
| ②双海公園管理費 | 25,551 | 使 諸 市 市 | 用 料 入 債 費 | 1,203 117 3,400 20,831 |
| ③県施設公園管理費 | 13,077 | 県 諸 市 | 収 入 費 | 60 337 12,680 |
| 都市再生整備計画事業(8.5.4) | | | | |
| | 現年 33,128 | 国 市 市 | 費 債 費 | 16,047 10,400 6,681 |
| | 繰越 44,670 | 国 市 市 | 費 債 費 | 21,504 16,600 6,566 |
| | 合計 77,798 | 国 市 市 | 費 債 費 | 37,551 27,000 13,247 |
| 住宅管理費(8.7.1) | | | | |
| 市営住宅費 | 40,346 | 使 | 用 料 | 40,346 |
| 一般住宅費 | 18,171 | 国 県 市 | 費 費 費 | 5,239 2,612 10,320 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---------|----|----------|-----|-------|----------|-------|-------|---------|-----|--------|--------|-------|--------|----------|-------|--------|-----------|-----|--------|-----------|-----|-------|------|-------|--------|--|-------|---------|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ しおさい公園指定管理 54,956千円 ○ 伊予市民体育館トイレ改修工事(その2) 26,558千円 ○ 南新川児童公園トイレ等改築工事 10,191千円 <p>[各施設利用状況]</p> <table border="1" data-bbox="197 367 692 696"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>五色浜グラウンド</td><td>91</td><td>3,656</td></tr> <tr><td>五色浜プール</td><td>3,604</td><td>3,604</td></tr> <tr><td>野球場</td><td>244</td><td>12,242</td></tr> <tr><td>テニスコート</td><td>1,901</td><td>12,655</td></tr> <tr><td>体育館</td><td>2,895</td><td>51,678</td></tr> <tr><td>競技場</td><td>535</td><td>31,847</td></tr> <tr><td>グラウンドゴルフ場</td><td>139</td><td>3,437</td></tr> <tr><td>サブ球場</td><td>541</td><td>2,016</td></tr> <tr><td>計</td><td>9,950</td><td>121,135</td></tr> </tbody> </table> | 区分 | 件数 | 人数 | 五色浜グラウンド | 91 | 3,656 | 五色浜プール | 3,604 | 3,604 | 野球場 | 244 | 12,242 | テニスコート | 1,901 | 12,655 | 体育館 | 2,895 | 51,678 | 競技場 | 535 | 31,847 | グラウンドゴルフ場 | 139 | 3,437 | サブ球場 | 541 | 2,016 | 計 | 9,950 | 121,135 | <p>各公園が、広く市民に親しまれ、スポーツの場及び憩いの場などとして、安心・安全に利用できるよう維持管理に努めた。 しおさい公園は指定管理者制度の活用により、経費の削減に努めている。 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、伊予市民体育館2階のトイレ改修を行い同施設のトイレの洋式化を完了したほか、南新川児童公園のトイレの改築などを実施した。</p> |
| 区分 | 件数 | 人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 五色浜グラウンド | 91 | 3,656 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 五色浜プール | 3,604 | 3,604 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 野球場 | 244 | 12,242 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| テニスコート | 1,901 | 12,655 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 体育館 | 2,895 | 51,678 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 競技場 | 535 | 31,847 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| グラウンドゴルフ場 | 139 | 3,437 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| サブ球場 | 541 | 2,016 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 9,950 | 121,135 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ ふたみ潮風ふれあい公園指定管理 15,962千円 ○ しもなだ運動公園施設清掃等管理業務 1,232千円 ○ しもなだ体育館アリーナ照明設備改修工事代金 3,432千円 <p>[各施設利用状況]</p> <table border="1" data-bbox="197 920 692 1216"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>潮風ふれあいの館</td><td>203</td><td>2,364</td></tr> <tr><td>潮風テニスコート</td><td>455</td><td>3,367</td></tr> <tr><td>潮風キャンプ場</td><td>139</td><td>622</td></tr> <tr><td>潮風ロッジ</td><td>31</td><td>204</td></tr> <tr><td>潮風みどりの広場</td><td>147</td><td>4,872</td></tr> <tr><td>しもなだグラウンド</td><td>154</td><td>6,788</td></tr> <tr><td>しもなだ体育館</td><td>286</td><td>5,908</td></tr> <tr><td>計</td><td>1,415</td><td>24,125</td></tr> </tbody> </table> | 区分 | 件数 | 人数 | 潮風ふれあいの館 | 203 | 2,364 | 潮風テニスコート | 455 | 3,367 | 潮風キャンプ場 | 139 | 622 | 潮風ロッジ | 31 | 204 | 潮風みどりの広場 | 147 | 4,872 | しもなだグラウンド | 154 | 6,788 | しもなだ体育館 | 286 | 5,908 | 計 | 1,415 | 24,125 | <p>施設の整備及び維持管理を行い、身近にスポーツに親しむ環境づくりの推進及び住民の体力づくりに寄与した。 ふたみ潮風ふれあい公園は、指定管理者制度の導入により経費の削減に努めている。 令和4年度はしもなだ体育館アリーナ照明設備をLEDに改修工事を行った。</p> | | | |
| 区分 | 件数 | 人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 潮風ふれあいの館 | 203 | 2,364 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 潮風テニスコート | 455 | 3,367 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 潮風キャンプ場 | 139 | 622 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 潮風ロッジ | 31 | 204 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 潮風みどりの広場 | 147 | 4,872 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| しもなだグラウンド | 154 | 6,788 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| しもなだ体育館 | 286 | 5,908 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 1,415 | 24,125 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 五色姫海浜公園防犯カメラ設置工事 2,772千円 ○ 五色姫海浜公園夜間警備業務 2,497千円 ○ 五色姫海浜公園サメ防護ネット設置業務 1,617千円 | <p>県から受託管理している五色姫海浜公園の維持管理を行い、利用者の安心・安全に努め、レクリエーションの場として活用を図った。 令和4年度は、五色姫海浜公園防犯カメラ設置工事を実施した。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 小林池防災広場整備工事(その2)(清算) 33,492千円 ○ 市道神武屋敷線道路整備工事 18,558千円 ○ 伊予市駅周辺公共空間活用社会実験等支援業務(その3) 6,631千円 ○ JR伊予市駅周辺整備基本計画策定業務 6,326千円 | <p>商店街を中心とした道路のネットワーク化による地域内外の交流促進を図るとともに、文化交流施設を拠点とした地域コミュニティの醸成を通して、住む人と訪れる人が安全で快適に行き交うまちづくりの推進に努めた。 令和4年度は、小林池防災広場の整備が完了して供用を開始したほか、市道神武屋敷線整備工事を実施した。 また、3回目の公共空間活用社会実験及びJR伊予市駅周辺整備基本計画策定に係る1年目の業務を実施した。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 一般修繕工事及び退去時修繕工事 21,609千円 ○ 市営住宅設備等維持管理委託料 7,686千円 | <p>一般修繕108件、退去時修繕15件を行い市営住宅を良好な状態に保ち、入居者の安全及び利便性の向上に努めた。 市営住宅に設置している設備の保守点検や草刈り、樹木剪定を実施することにより、入居者の安全性の確保や環境保全に努めた。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 老朽危険空家除却事業補助金 8,731千円 ○ 空家等対策計画策定支援業務委託料 3,157千円 | <p>倒壊すれば沿道との境界を越え、避難に支障をきたす恐れのある老朽空き家除却について12件補助を行い地域の安全性の向上に努めた。 平成30年3月に策定した「伊予市空家等対策計画」について、令和4年4月に空き家対策室の設置、11月に伊予市を含む5団体で「伊予市における空家等対策の推進に関する協定」を締結し、令和5年3月に本市における空家の現状と対策方針を定める「伊予市空家等対策計画」の見直しを行った。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(9) 消防費

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|-------------------|---------|---------|-------------------------|
| 消防団設備等整備事業(9.1.2) | 467 | 諸 市 | 収 入 費 2 |
| 消防団施設等整備事業(9.1.3) | | | |
| ①消防団詰所整備事業 | 50,126 | 市 市 | 債 費 50,000 126 |
| ②消防水利等整備事業 | 2,769 | 市 | 費 2,769 |

(10) 教育費

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|-----------------------|---------|---------|--------------------------------|
| 教育委員会運営事業(10.1.1) | 2,405 | 市 | 費 2,405 |
| 通学バス・タクシー運行事業(10.1.2) | 41,565 | 市 | 費 41,565 |
| 適応指導教室事業(10.1.2) | 6,450 | 市 | 費 6,450 |
| 特別支援教育事業(10.1.2) | 12,004 | 市 | 費 12,004 |
| ALT派遣事業(10.1.3) | 24,506 | 諸 市 | 収 入 費 1,109 23,397 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|--|---|
| 消防団防火服・防火帽更新 467千円 | 消防団員が安全に活動できるよう、装備の安全性及び機能性の向上を図った。 |
| 第10分団第2部(石の久保)詰所整備 新築工事費 21,201千円 | 消防詰所を計画的に整備するとともに維持管理に努め、災害時の活動拠点の整備が図られた。 |
| 第1分団第4部(下大平)詰所整備 解体工事費 2,079千円 新築工事費 25,630千円 | |
| 第4分団第4部(上三谷)詰所整備 新築工事設計 1,139千円 アスベスト含有調査 77千円 | |
| 消火栓修繕等 8箇所 2,769千円 | 既存消防水利を修繕することで、消防水利の充足が図られ、災害に強い地域づくりができています。 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|---|---|
| 教育委員4名の報酬 2,251千円 委員会議事録反訳料等 106千円 愛媛県市町教育委員会連合会等負担金 48千円 | 月1回の定例委員会の開催、各種幼稚園・学校行事・社会教育行事への参加により、伊予市教育行政の課題解決に取り組むことができた。 |
| 中山・南山崎・下灘小学校児童及び中山・双海中学校生徒に対し、遠距離通学の軽減を図るため運行する。 翠小学校の校区外通学児童に対し、JR上灘駅からの通学の負担を軽減するために運行する。 港南中学校の旧唐川小学校校区から通学する生徒に対し、通学の負担を軽減するために運行する。 対象児童・生徒 ・中山小学校15人(野中3人・永木6人・長沢6人) ・南山崎小学校23人 ・翠小学校8人 ・下灘小学校3人 ・中山中学校16人(野中2人、永木3人、長沢・佐礼谷11人) ・双海中学校27人 ・港南中学校 1人 | 統廃合及び定期バス路線の廃止により発生した遠距離通学について、その利便性と安全性向上が図られた。 翠小学校からJR上灘駅までタクシー通学を実施することで、校区外通学者の利便性と安全性を確保することができた。 |
| 学校不応の状態にある児童・生徒に集団生活への適応を促し、自立と学生生活への復帰を支援する。 在籍者数 17人 相談者数 延べ329人 | 入級児童・生徒に対する学習指導、交流活動、体験活動を通して学校復帰に向けた充実した取り組みがなされている。 在籍者のうち、学校への完全復帰は2人、定期的に学校に通うことができるようになった部分復帰は14人である。 なお、適応指導教室は子ども総合センター内にあり、子ども総合センター事業については、(3.2.1)に記載あり。 |
| 【教育相談員等設置】 教育相談員 3人 特別支援教育相談員 2人 ことばの教室指導員 2人 | 巡回教育相談の実施により、悩み、不安、ストレス等様々な“心の悩み”を持つ児童・生徒が気軽に相談できる環境が構築され、その解消に貢献した。 併せて、教育相談専門機関と連携のうえ、保護者、学校担当者等に対し教育相談を実施、児童・生徒の心や体の発達状況を踏まえた能力や適性を十分伸ばせる指導への援助を行い、不安軽減等に貢献した。 |
| 【会議・研修等】 教育支援委員会の開催 2回 特別支援連携協議会の開催 3回 教育相談会の開催 2回 特別支援学級交流会の開催 2回 相談員連絡会の開催 3回 | 支援を必要とする幼児、児童及び生徒の必要に応じた教育的支援の構築に貢献した。 本人や保護者・学校担任と相談を重ねることで、生き生きとした生活が送れるようになっており、中学校区だけでなく、幼→小→中→高の連携も機能してきた。また、保健センターや子ども総合センターとの連携を図ることで、幼児期からの一環した支援に努めた。 |
| 英語指導助手 6人 指導内容 ・中学校における英語教育の補助 ・英語教育教材の作成補助 ・小学校における英語教育補助、国際理解教育 ・課外活動への参加及び協力 指導学校 市内小学校9校 中学校4校 | 市内の中学校で英語教育の充実を図るため、事前の指導計画に基づき英語教育の補助者として生徒の語学力向上に努めた。 また、市内の小学校も巡回し、外国語活動時間中に英語教育の補助者として児童の語学力向上に努め、国際交流学習を通じて国際理解教育の推進に努めた。 |

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | | |
|----------------------|---------|---------|---|--------|
| 学校安全対策事業(10.1.3) | 803 | 国 | 費 | 151 |
| | | 県 | 費 | 225 |
| | | 市 | 費 | 427 |
| 教職員住宅管理事業(10.1.3) | 400 | 使 | 料 | 355 |
| | | 市 | 費 | 45 |
| 小学校管理事業(10.2.1) | | | | |
| ①学校生活支援員等設置事業 | 54,232 | 市 | 費 | 54,232 |
| ②小学校施設修繕事業 | 6,017 | 市 | 費 | 6,017 |
| ③小学校施設営繕事業 | 31,859 | 繰 | 入 | 6,000 |
| | | 市 | 費 | 25,859 |
| 小学校教育振興事業(10.2.2) | | | | |
| ①パソコン教室運営事業 | 9,279 | 市 | 費 | 9,279 |
| ②要・準要保護・特別支援児童扶助費 | 19,118 | 国 | 費 | 273 |
| | | 市 | 費 | 18,845 |
| ③遠距離通学援助事業 | 148 | 県 | 費 | 28 |
| | | 市 | 費 | 120 |
| ④特色ある学校づくり補助事業 | 1,800 | 市 | 費 | 1,800 |
| ⑤GIGAスクール運営事業 | 23,266 | 国 | 費 | 17,934 |
| | | 諸 | 入 | 66 |
| | | 市 | 費 | 5,266 |
| 小学校空調和設備設置事業(10.2.3) | 9,218 | 市 | 費 | 9,218 |
| 学校施設長寿命化改良事業(10.2.4) | 9,472 | 市 | 債 | 9,300 |
| | | 市 | 費 | 172 |
| 中学校管理事業(10.3.1) | | | | |
| ①学校生活支援員等設置事業 | 13,108 | 県 | 費 | 460 |
| | | 市 | 費 | 12,648 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|---|---|
| <p>地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 234千円 警察OB2人が中心となり、各小中学校の安全管理体制や通学路等の安全性に対する評価・指導、見守り隊員への指導等を行う。</p> <p>伊予市スクールソーシャルワーカー設置事業 569千円 いじめ、不登校、児童虐待、児童生徒の問題行動等の状況やその背景にある心の問題とともに、家族、友人関係、地域、学校等の児童生徒が置かれている環境の問題に対し、各関係機関と連携し様々な環境に働き掛け、ネットワークを活用して問題を抱える児童生徒に支援を行う。</p> | <p>校内・外に関わらず、安全・安心な学校生活に不可欠とされる地域全体での安全管理体制づくりに貢献した。</p> <p>各学校及び家庭を訪問し、児童生徒が置かれている環境の問題に対し、関係機関との連携ネットワークを活用し問題を抱える児童生徒に支援を行うことができた。</p> |
| <p>教員住宅の維持管理</p> <p>中山教職員住宅 6戸</p> <p>双海教職員住宅 2戸</p> | <p>教員等の福利厚生の一環として設置された教員住宅の適切な管理に努めた。</p> |
| <p>学校生活支援員 25人</p> <p>校務員 7人</p> | <p>障がい児教育に理解のある者を支援員として配置し、学校や保護者と連携のうえ適切な支援を行うことで、児童が円滑に学校生活を送ることができた。</p> <p>正規職員のいない学校へ校務員を配置することにより教育環境の維持・整備を行うことができた。</p> |
| <p>郡中小学校21教室棟隣棟取合補修工事代金 674千円</p> <p>郡中共同学校事務室空調室外機修繕工事代金 385千円</p> <p>佐礼谷小学校非常通報装置取替修繕工事代金 286千円</p> <p>他79件</p> | <p>学校施設を適切に維持管理し、児童の利便性や教育環境の改善を図ることで、児童が安全で安心して学校生活を送れる環境が整備された。</p> |
| <p>翠小学校屋内運動場照明器具取替工事代金 3,333千円</p> <p>下灘小学校屋内運動場照明器具取替工事代金 3,147千円</p> <p>伊予小学校放送設備改修工事代金 1,705千円</p> <p>他73件</p> | |
| <p>パソコン教室のパソコンリース料等</p> <p>パソコン本体 294台</p> | <p>リース契約期間まで適切に維持管理し、今後はGIGAスクール構想の1人1台端末で運用できるよう調整したことで、ICTを活用した学力向上のための効果的な授業の実施に貢献できた。</p> |
| <p>経済的理由により、就学困難と認められる児童及び障がいのある児童の保護者に対し、学校教育に必要な費用を援助する。</p> <p>対象児童 281人</p> | <p>保護者の就学費用軽減となり、併せて児童の就学に対する安心感にも貢献することができた。</p> |
| <p>指定された通学方法及びその対象区域の児童に対し、定期券購入に要する費用を補助することによって、通学費の軽減を図る。</p> <p>対象児童</p> <p>由並小学校 4人</p> <p>翠小学校 8人</p> | <p>公共交通機関を利用する児童の保護者に、予算の範囲内で費用を補助することにより、通学費の軽減と均衡を図ることができた。</p> |
| <p>対象小学校 市内小学校 9校</p> <p>補助金 1校当たり 200,000円</p> <p>児童が、自ら考え行動する等「生きる力」を育むための研究・活動費として補助する。</p> | <p>総合的な学習の時間をはじめ教育課程全体において、各校独自の取り組みとして組織的・計画的・総合的な研究や活動を行い、特色ある教育の推進と充実を図ることができた。</p> |
| <p>1人1台端末等の維持管理</p> <p>ICT支援員等による授業支援</p> | <p>GIGAスクール構想に基づき整備されたICT環境を適切に維持管理することにより、ICTを活用した学力向上のための効果的な授業の実施に貢献できた。</p> |
| <p>伊予市立小学校空気調和設備設置事業維持管理業務委託料 9,218千円</p> | <p>熱中症対策としての空気調和設備を適切に維持管理することで、児童の安全と健康を守ることができた</p> |
| <p>中山小学校教室棟長寿命化改良事業設計業務委託料 9,350千円</p> <p>中山小学校教室棟アスベスト調査業務委託料 122千円</p> | <p>伊予市学校等施設長寿命化計画に基づく老朽化対策により、教育環境の質的改善及び施設の維持充実を図ることができた。</p> |
| <p>学校生活支援員 2人</p> <p>校務員 4人</p> | <p>障がい児教育に理解のある者を支援員として配置し、学校や保護者と連携のうえ適切な支援を行うことで、生徒が円滑に学校生活を送ることができた。</p> <p>正規職員のいない学校へ校務員を配置することにより教育環境の維持・整備を行うことができた。</p> |

| 種 目 及 び 事 業 名 | | 事業費(千円) | 左 財 源 (千 円) | |
|------------------------|-------------------|---------|---------------|-------------------------------------|
| | ①学校生活支援員等設置事業 | | | |
| | ②中学校施設修繕事業 | 3,989 | 市 | 費 3,989 |
| | ③中学校施設営繕事業 | 4,594 | 市 | 費 4,594 |
| 中学校教育振興事業(10. 3. 2) | | | | |
| | ①パソコン教室運営事業 | 4,246 | 市 | 費 4,246 |
| | ②要・準要保護・特別支援生徒扶助費 | 18,091 | 国 市 | 費 費 184 17,907 |
| | ③特色ある学校づくり補助事業 | 1,200 | 市 | 費 1,200 |
| | ③GIGAスクール運営事業 | 8,996 | 国 諸 市 | 費 入 費 6,950 2 2,044 |
| 中学校空調和設備設置事業(10. 3. 3) | | 4,096 | 市 | 費 4,096 |
| 幼稚園運営事業(10. 4. 1) | | | | |
| | ①幼稚園教諭等設置事業 | 9,825 | 使 市 | 用 料 費 12 9,813 |
| | ②幼稚園施設修繕事業 | 345 | 市 | 費 345 |
| | ③施設等利用給付事業 | 12,513 | 国 県 市 | 費 費 費 6,649 3,158 2,706 |
| 文化財保護事業(10. 5. 1) | | 1,677 | 市 | 費 1,677 |
| 生涯学習推進事業(10. 5. 1) | | 2,494 | 市 諸 | 費 入 2,415 79 |
| 社会教育関係団体補助事業(10. 5. 1) | | 1,746 | 市 | 費 1,746 |
| 青少年センター運営事業(10. 5. 1) | | 1,134 | 市 | 費 1,134 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|--|---|
| スクールサポートスタッフ 1人 | 教職員が生徒指導や教材研究に専念できる体制を整えるため、スクールサポートスタッフの配置を行い、負担軽減を図ることができた。 |
| 港南中学校各所便所トイレ修繕工事代金 990千円 双海中学校校舎排煙窓修繕工事代金 385千円 双海中学校 非常通報装置取替修繕工事代金 361千円 他52件 | 学校施設を適切に維持管理し、生徒の利便性や教育環境の改善を図ることに より、生徒が安全で安心して学校生活を送れる環境が整備された。 |
| 港南中学校校舎部室棟鳥対策工事代金 1,273千円 他33件 | |
| パソコン教室のパソコンリース料等 パソコン本体 188台 | パソコン教室を適切に維持管理することにより、ITを活用した学力向上のため の効果的な授業の実施に貢献できた。 |
| 経済的理由により、就学困難と認められる生徒及び障がいのある生徒の保護者に対し、学校教育に必要な費用を援助する。 対象生徒 154人 | 保護者の就学費用軽減となり、併せて生徒の就学に対する安心感にも貢献す ることができた。 |
| 対象中学校 市内中学校 4校 補助金 1校当たり 300,000円 生徒が、地域特性を活かしながら、豊かな心や健やかな 体の育成を図るための研究・活動費として補助する。 | 総合的な学習の時間を中心に、人権学習、職場体験や地域との交流活動な ど、地域の特性を生かした活動を通して、思考力・判断力・表現力等の多様な 能力を育み、学習の基礎・基本を身に付けることができた。 |
| 1人1台端末等の維持管理 ICT支援員等による授業支援 | GIGAスクール構想に基づき整備されたICT環境を適切に維持管理すること により、ICTを活用した学力向上のための効果的な授業の実施に貢献できた。 |
| 伊予市立中学校空調和設備設置事業維持管理業務委託料 4,096千円 | 熱中症対策としての空調和設備を適切に維持管理することで、生徒の安全 と健康を守ることができた。 |
| 幼稚園教諭 3人 | 適正な教諭配置を確保することにより幼児教育の充実を図ることができた。 |
| 幼稚園保育支援員 1人 | 障がい児教育に理解のある者を支援員として配置し、園や保護者と連携のう え適切な支援を行うことで、園児が円滑に園生活を送ることができた。 |
| 伊予幼稚園引戸門扉修繕工事代金 117千円 北山崎幼稚園砂場藤棚擬木塗装改修工事代金 99千円 他7件 | 園舎や遊具を適切に維持管理することにより、園児が安全で安心して過ごせ る施設に改善された。 |
| 国の幼児教育及び保育の無償化に伴う事業で、子ども・ 子育て支援新制度未移行の私立幼稚園に通う園児の保護 者に対し、一定額までの施設等利用費等を給付する。 対象園児 施設利用料 49人 11,331 千円 預かり保育料 20人 579 千円 入園料 11人 235 千円 副食費 15人 368 千円 | 子育てを行う保護者の経済的負担の軽減を図ることができ、幼稚園教育の普 及、充実につなげることができた。 |
| ①文化財体験講座 16人/1回 ②郷土文化講演会 375人/1回 ③刊行物の発行 1件 ④文化財説明看板の設置 1件 ⑤広報紙等による周知啓発 16回 | 文化財の周知・活用に向けて、公民館との連携による体験事業や愛媛大学 ミュージアムとの連携による博物館実習を行ったほか、文化協会との共催による 郷土文化講演会を実施した。 指定文化財の現状調査や再評価にも着手し、「苦厭上人開基の地」の調査 と、成果の一般公開を行った。 市が管理する郡中層化石を周知活用することを目的として、『愛媛県伊予市 所蔵郡中層化石目録』を刊行した。 |
| ①二十歳を祝い会 274人 ②生涯学習推進大会 140人 ③ワールドスタディ 11人/22回 | 成年年齢が18歳となったことから、20歳を迎える市民の成長を祝い励ます「成 人式」を「二十歳を祝い会」として開催した。 生涯にわたって学び続けるという学習ニーズに応えるため、生涯学習推進大 会を開催した。 子どもを対象とした国際交流体験講座を開催し、視野を広げる活動を推進し た。 |
| ①伊予郡市PTA連合会助成金 ②社会教育関係団体 5団体 ③伝統文化保存団体 4団体 | 社会教育関係団体や伝統文化保存団体の活動を助成することにより、地域の 社会教育活動の充実及び伝統文化の伝承に寄与した。 |
| ①青少年センター運営協議会 2回 ②青少年補導委員街頭補導巡視活動 1,047人/408回 ③青色バトロール活動(②の内数) 311人/82回 ④青色バトロール車 10台 ⑤相談件数 1件 | 補導委員と学校関係者による街頭補導活動や少年相談など青少年に対する 直接活動、青少年を取りまく有害環境の浄化活動、地域への広報啓発活動等 を実施した。児童生徒に対する校外指導は、見せる補導と声かけ運動を中心に 実施し、心の繋がりを重視した青少年の健全育成に寄与した。 |

| 種 目 及 び 事 業 名 | 事 業 費 (千 円) | 左 財 源 (千 円) | |
|--------------------------|---------------|-------------------|--------------|
| 放課後子ども教室運営事業(10. 5. 1) | 848 | 市 | 費 848 |
| 伊予市内遺跡発掘調査等事業(10. 5. 1) | 2,472 | 市 | 費 2,472 |
| 家庭教育・子育てサポート事業(10. 5. 1) | 432 | 県 | 費 240 |
| | | 市 | 費 192 |
| プロスポーツ地域振興事業(10. 5. 1) | 307 | 市 | 費 220 |
| | | 諸 | 収 入 87 |
| 公民館活動事業(10. 5. 2) | 2,445 | 市 | 費 2,338 |
| | | 諸 | 収 入 107 |
| 公民館管理運営事業(10. 5. 2) | 33,916 | 使 | 用 料 費 2,991 |
| | | 市 | 費 30,651 |
| | | 財 | 産 収 入 207 |
| | | (土 地 建 物 賃 貸 料) | |
| | | 諸 | 収 入 67 |
| 図書館運営事業(10. 5. 3) | 24,963 | 市 | 費 24,861 |
| | | 諸 | 収 入 102 |
| 人権・同和教育事業(10. 5. 4) | 6,077 | 県 | 費 64 |
| | | 市 | 費 6,013 |
| 社会教育施設管理運営事業(10. 5. 5) | 1,825 | 使 | 用 料 費 403 |
| | | 市 | 費 1,421 |
| | | 財 | 産 収 入 1 |
| | | (土 地 建 物 賃 貸 料) | |
| 文化交流センター事業(10. 5. 6) | 4,431 | 国 | 費 600 |
| | | 市 | 費 3,804 |
| | | 諸 | 収 入 27 |
| 文化交流センター管理事業(10. 5. 6) | 58,851 | 使 | 用 料 費 12,536 |
| | | 市 | 費 45,281 |
| | | 諸 | 収 入 1,034 |
| 文化大会補助事業(10. 5. 6) | 270 | 市 | 費 270 |
| 保健体育事業(10. 6. 1) | | | |
| ①児童生徒健康診断事業 | 14,205 | 市 | 費 14,205 |

| 事業内容 | | 事業効果の概要 |
|--|--------------|---|
| 設置箇所数(伊予小校区) | 1か所 | 放課後の安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域住民の参画を得て補助事業を実施することにより、子どもたちの心豊かで健やかな成長に寄与した。 |
| 実施日数 | 59日 | |
| 参加児童数 | 15人 | |
| ①埋蔵文化財試掘及び確認調査、現地踏査 | 7件 | 包蔵調査カードの作成や更新にあたり、市民や有識者の協力を得て、踏査や情報収集を実施した。愛媛大学と連携し、県内最古級の窯跡「市場南組窯跡群」を発掘調査した。 埋蔵文化財の保護のため、開発事業者等への周知啓発の強化を図るとともに、関係課と連携をとりながら確認作業を実施した。 |
| ②包蔵地調査カードの作成及び更新 | 25件 | |
| ③大学との連携調査 | 1カ所 | |
| ④周知の埋蔵文化財包蔵地確認 | 148件 | |
| ⑤住宅建設等に伴う包蔵地確認 | 234件 | |
| ①家庭教育・子育て学習会 | 7回 | 専門的知識を有するスタッフによる学習会や親子参加型学習会・調理実習を通して、家庭教育や子育てに悩みや不安を抱えている保護者の不安解消に寄与した。 |
| ②家庭教育情報誌ほのぼの発行(全戸配布) | 2回 | |
| ①愛媛マダリンバイレーツ関連イベント | 2回 | 愛媛県プロスポーツ地域振興協議会事業の「PRIDE OF 中四国」や、プロスポーツ球団の各種イベントに参加し、来場者への当市のPRを行うとともに、プロスポーツを通じた地域振興に寄与した。 |
| ②愛媛FC関連イベント | 2回 | |
| ③愛媛オレンジバイキングス関連イベント | 1回 | |
| ④今治FC関連イベント | 1回 | |
| ①家庭教育 | 305人/10回 | 各地区公民館・支館・自治公民館を中心に、地域の特性を活かした各種教室・講座・イベントを開催し、コロナ禍による住民同士のつながりや公民館活動の停滞に歯止めをかけることに努めるとともに、地域住民の健康増進・教養の向上・地域コミュニティの維持に寄与した。 |
| ②高齢者教室 | 501人/24回 | |
| ③青少年教室 | 711人/36回 | |
| ④成人学級 | 502人/43回 | |
| ⑤婦人教育 | 20人/1回 | |
| ⑥コミュニティ事業 | 1,275人/17回 | |
| ⑦各地区公民館運営委員会活動補助金交付 | 352,742円/6館 | |
| 公民館施設の維持管理及び運営 | | 公民館事業としての各種教室・講座・イベントは、新型コロナウイルス感染症防止を徹底しながら、適切な開催に努めた。 公民館施設の老朽化により修繕箇所も増加してきており、緊急性も鑑みながら施設利便性を維持するための修繕(9件)に努めた。 利用者の安全確保のため、上野地区公民館1階駐車場に防犯灯を設置した。 |
| ①大平地区公民館利用 | 819人/80回 | |
| ②中村地区公民館利用 | 3,236人/280回 | |
| ③郡中地区公民館利用 | 9,489人/927回 | |
| ④上野地区公民館利用 | 11,677人/851回 | |
| ⑤中山地区公民館利用 | 8,141人/687回 | |
| ①貸出人数 | 延べ46,066人 | 社会科見学や職場体験、行政視察を積極的に受け入れ、啓発活動に努めた。一般貸出は、昨年度と比較して大きく増加し、利用促進、読書推進の効果が見られた。 積極的な声掛けを行い、延べ195人のボランティアの協力を得ることができた。 利用者の動向や地域性などを細かく分析して資料を作成し、図書館協議会において説明、報告を行った。 |
| ②貸出冊数 | 延べ159,454冊 | |
| ③蔵書数(R5年3月末現在) | 108,304冊 | |
| ④新規利用者登録者数 | 1,207人 | |
| ⑤企画事業 | 延べ35回 1,342人 | |
| ①オピニオンリーダー養成講座 | 485人/6回 | 愛媛県人権教育協議会伊予市支部と連携して研修会や講座を開講するとともに、各種研究大会等へ参加したり行政職員等への研修を行うなど、教育・啓発活動を推進した。また、5年ごとに実施している「人権に関する市民意識調査」の結果をまとめたので、今後の人権施策推進に活用していく。 四国大会(愛媛県人権教育協議会伊予市支部)・中予地区大会(伊予中学校・大平地区公民館)・実践交流学習会(愛媛県人権教育協議会伊予市支部)における実践報告は、地域と連携した取組が評価された。また県大会では、伊予中学校人権委員会の動画メッセージが優秀賞に選ばれて上映され啓発につながった。 |
| ②地区別人権・同和教育懇談会 | 850人/30回 | |
| ③伊予市人権・同和教育研究会(中山中学校) | 102人/1回 | |
| ④「伊予市じんけん教育」発行 | 全戸配布/4回 | |
| ⑤人権問題に関する市民意識調査 | | |
| ⑥愛媛県人権教育協議会伊予市支部運営費補助 | | |
| 緑風館・唐川コミュニティセンターの維持管理 | | 緑風館は、市民が安全・安心に利用できるよう適正な施設運営を行った。 唐川コミュニティセンターは、建物の老朽化に加えコミュニティセンターとしての機能を果たしていないことから、建物解体についての地元の了解を得て、解体工事の設計を行った。 |
| ①緑風館利用 | 10,876人/498回 | |
| ①第15回いよし市民総合文化祭 | 4,880人(7日間) | 事業実施に際しては、関係者(市民や講師、ボランティア等)との打合せを綿密に行いながら、安心・安全の確保及び満足度の向上などを主眼として取り組んだ。特に、市民総合文化祭に関しては、可能な限り、コロナ禍前の形式に戻して実施をしたところ、出演者や来場者から喜びの声が多くあった。 |
| ②市民演劇体験 | 17人(1回) | |
| ③市民演劇公演 | 410人(2回) | |
| ④市民大学講座 | 69人(8回) | |
| ⑤緑側モール展 | 6回 | |
| ⑥愛媛国際映画祭 | 176人(1回) | |
| 文化交流センターの維持管理び運営 | | 丁寧な窓口対応や事前協議等に努め、利用人数の増加と多種多様な施設の利用促進につながった。また、電力量節減のため、スタッフ全員で、不要な照明の消灯管理と細かな温度設定やスケジュール設定を行った。 指定管理者制度導入に向け、各種業務や操作等のマニュアル化、備品の精査、不具合箇所の修繕などを行い、円滑な引継ぎを行うことができた。 |
| ①文化ホール利用人数 | 19,952人 | |
| ②地域交流館利用人数(開館日数308日) | 21,525人 | |
| 全国大会出場激励(15件 個人17人、2団体) | | 全国大会出場選手に激励金を交付することにより、芸術文化への意識を高めることができた。 |
| 幼稚園2園の園児、小・中学校13校の児童・生徒及び各教職員の健康診断を実施する。 | | 健康診断を実施することにより、その結果に基づく疾病の予防措置や治療を適切に指示する等、学校保健衛生の推進が図れた。 |

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|-------------------------|---------|-------------------|---------|
| ②結核対策委員会運営事業 | 135 | 負担金 | 84 |
| | | 市費 | 51 |
| ③学校再開に伴う感染症対策・学習保障等支援事業 | 10,223 | 国費 | 10,223 |
| 社会体育事業(10. 6. 2) | 6,870 | 市諸収入 | 6,798 |
| | | | 72 |
| 社会体育施設管理事業(10. 6. 2) | 5,638 | 使用料 | 1,096 |
| | | 市費 | 4,506 |
| | | 財産収入 (土地建物賃貸料) | 35 |
| | | 市諸収入 | 1 |
| 社会体育補助事業(10. 6. 2) | 682 | 市費 | 682 |
| 社会体育団体育成事業(10. 6. 2) | 3,643 | 市費 | 3,643 |
| 学校給食センター運営事業(10. 6. 3) | 156,968 | 国費 | 2,166 |
| | | 市費 | 154,802 |

(11) 災害復旧費

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|------------------------|---------|---------|--------|
| 林業用施設災害復旧事業(11. 1. 2) | 3,000 | 市費 | 3,000 |
| 道路橋りょう災害復旧事業(11. 2. 1) | 35,584 | 国費 | 15,187 |
| | | 市債 | 7,500 |
| | | 市費 | 12,897 |
| 河川災害復旧事業(11. 2. 2) | 4,358 | 市費 | 4,358 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|---|---|
| <p>専門家、医師会の代表者等10人で委員会を構成し、伊予郡市の市町立小中学校の児童及び生徒に対する結核対策を検討する。</p> | <p>結核検診結果の把握、結核患者発生時の対応方針の検討、保健所や関係機関等との連携した管理方針の検討ができた。</p> |
| <p>学校の教育活動継続に際して、感染症対策等を徹底しながら、児童生徒の学びの保障を実施するにあたり、必要な物品等の購入により、衛生管理体制の強化や学習環境の充実を図ることを目的とする。</p> <p>需用費(手指消毒液等) 2,790千円 備品(サーモカメラ等) 7,433千円</p> | <p>学校規模による予算配分のうえ、消耗品、備品等の購入を行い、感染症対策を徹底しながら、児童生徒の学びの保障のための経費の支援を行うことができた。</p> |
| <p>①伊予市スポーツ推進委員活動事業 ②全国大会出場激励費(78件 個人127人、5団体) 1,520,000円 ③テニス教室 第1期 3人:延べ10回、22人 第2期 6人:延べ10回、44人 ③HIMEカップビーチバレージュニア大会 11チーム 合計52人 ④伊予市駅伝大会 40チーム 合計320人 ⑤キッズサッカーフェスティバル</p> | <p>事前に研修会を開催してルールや指導方法を把握したうえで、伊予市スポーツ推進委員主催事業としてニュースポーツ4種目の体験会を実施した。 全国大会出場選手に激励金を交付することにより、スポーツ意識の向上を図ることができた。 ビーチバレー女子ジュニア選手権大会・HIMEカップビーチバレー6～9月大会主催団体へ負担金や補助金を支出し、五色浜におけるビーチバレーの機運を醸成することができた。 伊予市スポーツ協会と共催して、ビーチバレージュニア大会、伊予市駅伝大会を、コロナ感染防止対策を講じて実施し、市民の体力増進に寄与した。</p> |
| <p>社会体育施設、夜間照明施設の維持管理 長沢・永木・野中・下灘ふれあい体育館 5,239人/208回 長沢・永木・野中・下灘ふれあいグラウ: 5,865人/266回 夜間照明施設10か所 6,314人/311回</p> | <p>社会体育事業や生涯スポーツ等が快適に実施できる環境を整えた。</p> |
| <p>助成金交付団体 ①愛媛スポーツ・レクリエーション祭 8競技、13団体 ②第55回愛媛県スポーツ少年大会 5競技、13団体</p> | <p>各大会への大会出場助成金を交付することにより、市民の体力の向上及び生涯スポーツの推進を図ることができた。</p> |
| <p>伊予市スポーツ協会への体育関係団体活動補助金</p> | <p>補助金を交付した伊予市スポーツ協会が、加盟競技団体及び各地区体育協会・スポーツ少年団の活動を助成することにより、地域スポーツの振興と青少年の健全育成に寄与した。</p> |
| <p>市内小中学校の児童・生徒の心身の健全な発達と、食生活の改善及び食育の推進に寄与する学校給食を提供できた。</p> <p>(提供学校数:13校) 学校給食平均提供日数 181日/1校 学校給食センター運営委員会 2回 献立委員会(物資選定を含む) 5回 施設見学会(視察を含む)受入人数 124人</p> | <p>学校給食センターでは、学校関係者や施設管理関係者等と密に連携を図ると共に、伊予市独自の各種マニュアル等を基に学校との共通理解と衛生管理の徹底を図り、安全安心な給食を子供たちに届けることができた。 運営委員会を2回、献立委員会を5回開催し、学校関係者等と可能な限り協議を行い、適正な学校給食の運営に努めることができた。 また、コロナ禍や国際情勢等の影響により、給食材料費の価格が高騰し続けている中、伊予市学校給食センター運営委員会が行う学校給食用食材の購入に要する経費に対して、「伊予市学校給食費高騰対応事業費補助金」を交付することにより、保護者の負担を増やすことなく、今までどおりの栄養バランスや量を保った給食を提供することができた。 さらに、給食を実際に食べている児童・生徒(小学校4・6年生、中学校2年生)を対象に「給食についてのアンケート」を実施し、子供たちの給食に対する意識や意見等を把握し、今後の学校給食の参考とすることができた。</p> |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|---|--|
| <p>○単独災害復旧事業 林道牛ノ峰線災害復旧測量設計業務(前払金) 3,000千円</p> | <p>平成30年7月豪雨による異常出水により、林業用施設の災害が発生したため測量設計を実施し、復旧工法等を確定し災害査定に向けての進捗を図った。</p> |
| <p>○補助災害復旧事業 市道栗田座呂峰線地すべり調査業務 3,722千円 市道日尾野引坂線道路災害復旧工事 22,770千円</p> | <p>令和2年7月豪雨による地すべり災害及び令和3年降雨による路側崩壊などの災害が発生したため、復旧作業を実施し通行車両等の安全確保に努めた。</p> |
| <p>○単独災害復旧事業 市道本郷東越線路面清掃業務 1,243千円 市道本郷東越線路側復旧工事外2件 7,849千円</p> | |
| <p>○単独災害復旧事業 小手谷川護岸復旧工事 外1件 4,358千円</p> | <p>令和3年降雨により、河川護岸が崩壊したため、復旧作業を実施し河川機能の回復に努めた。</p> |

2 国民健康保険特別会計(事業勘定)

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|--------------------------|-----------|---------|-----------|
| 保険給付事業(2款全般) | 3,151,139 | 県費 | 3,142,412 |
| | | 国保税 | 4,527 |
| | | 市費 | 4,200 |
| はり・きゅう助成事業(5. 1. 1) | 827 | 国保税 | 827 |
| 特定健康診査・特定保健指導事業(5. 2. 1) | 32,417 | 県諸収入 | 31,447 |
| | | | 970 |

3 国民健康保険特別会計(診療施設勘定)

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|---------------|---------|---------|--------|
| 国保直診歯科診療所運営事業 | 46,154 | 診療収入 | 39,452 |
| | | 使用料 | 80 |
| | | 手数料 | 1 |
| | | 繰越金 | 4,841 |
| | | 諸収入 | 1,780 |

4 介護保険特別会計

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源(千円) | |
|--------------------------|-----------|--------------|-----------|
| 保険給付事業(2. 1. 1～2. 6. 1) | 3,740,265 | 国費 | 669,496 |
| | | 調整交付金 | 260,251 |
| | | 県費 | 544,702 |
| | | 支払基金交付金 | 1,008,725 |
| | | 低所得者保険料軽減繰入金 | 68,289 |
| | | 特別調整交付金 | 15 |
| | | 保険料 | 717,565 |
| | | 雑収入 | 4,217 |
| | | 市費 | 467,005 |
| 介護予防・生活支援サービス事業(3. 1. 1) | 89,923 | 国費 | 22,480 |
| | | 保険者努力支援交付金 | 6,163 |
| | | 県費 | 11,240 |
| | | 支払基金交付金 | 24,279 |
| | | 保険料 | 14,519 |
| | | 市費 | 11,242 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----|------------|-----------|----------|--------|------------|---------|---------------|-----|------------|-------|--------------|-------|----------|-------|------------|-----|--------|-----------|---|
| 給付状況 被保険者数(平均) 7,880人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>一般</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>療養給付費 (千円)</td> <td>2,688,569</td> </tr> <tr> <td>療養費 (千円)</td> <td>16,337</td> </tr> <tr> <td>高額療養費 (千円)</td> <td>427,640</td> </tr> <tr> <td>高額・介護療養費 (千円)</td> <td>820</td> </tr> <tr> <td>審査手数料 (千円)</td> <td>9,076</td> </tr> <tr> <td>出産育児一時金 (千円)</td> <td>6,303</td> </tr> <tr> <td>葬祭費 (千円)</td> <td>1,980</td> </tr> <tr> <td>傷病手当金 (千円)</td> <td>414</td> </tr> <tr> <td>計 (千円)</td> <td>3,151,139</td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 一般 | 療養給付費 (千円) | 2,688,569 | 療養費 (千円) | 16,337 | 高額療養費 (千円) | 427,640 | 高額・介護療養費 (千円) | 820 | 審査手数料 (千円) | 9,076 | 出産育児一時金 (千円) | 6,303 | 葬祭費 (千円) | 1,980 | 傷病手当金 (千円) | 414 | 計 (千円) | 3,151,139 | 疾病、負傷に対し療養の給付を適切に行うことにより、社会保障の充実を図るとともに国保被保険者の健康維持・増進に寄与した。 |
| 項目 | 一般 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 療養給付費 (千円) | 2,688,569 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 療養費 (千円) | 16,337 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高額療養費 (千円) | 427,640 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高額・介護療養費 (千円) | 820 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 審査手数料 (千円) | 9,076 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 出産育児一時金 (千円) | 6,303 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 葬祭費 (千円) | 1,980 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 傷病手当金 (千円) | 414 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 (千円) | 3,151,139 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 助成実績 市内指定施術所 6箇所 受診延べ件数 860件 | 指定の施術所ではり・きゅうの施術を受けた場合に、費用の一部を助成することで、国保被保険者の健康維持・増進に寄与した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①特定健康診査 (2,203人) * 集団健診 37回 1,775人 * 個別健診 (人間ドック含む) 428人 ②特定保健指導 (139人) * 動機付け支援実施者 109人 * 積極的支援実施者 30人 | 第三期特定健康診査等実施計画に基づき、40～74歳の国民健康保険被保険者に特定健診受診券を一括送付し、メタボリックシンドロームに着目した健診を実施した。新型コロナウイルス感染症対策を講じ、特定健診受診に併せ、がん検診も受けられる総合健診として実施した。未受診者対策として、ハガキ、リーフレットによる受診勧奨を行った。受診率の低い年代の新規受診者や連続受診者に、粗品を進呈し、継続受診を呼びかけた。また、施設での人間ドックにおいては、新規の受診に結びつけることができた。心疾患や脳血管疾患、糖尿病などの発症リスクが高く、生活習慣病改善が必要な方に対し、感染症対策を講じ、保健師・管理栄養士による個人の健康状態やライフスタイルに合わせた生活習慣を見直す支援を実施した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|---|---|
| 歯科診療所運営状況 診療延べ日数 220日 来院患者延べ数 3,944人 往診患者延べ数 440人 1日当たり 19.9人 | 過疎・高齢化の進む地域の歯科医療を確保することで、地域住民の口腔歯科保健の向上に寄与した。 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 | | | | |
|--|---|---------------------------|--|------------------------|---|
| 1号被保険者数(令和5年3月末現在) 12,340人 要介護(要支援)認定者数(同上) 2,338人 <table border="1"> <tr> <td>(内訳)</td> <td>1号被保険者要介護(要支援)認定者数 2,306人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2号被保険者要介護(要支援)認定者数 32人</td> </tr> </table> 在宅サービス受給者数 延べ 17,010人/年 地域密着型サービス受給者数 延べ 3,540人/年 施設サービス受給者数 延べ 4,740人/年 福祉用具購入件数 161件/年 住宅改修件数 145件/年 高額介護サービス費支給件数 7,786件/年 高額医療合算介護サービス費支給件数 578件/年 | (内訳) | 1号被保険者要介護(要支援)認定者数 2,306人 | | 2号被保険者要介護(要支援)認定者数 32人 | 介護サービス・介護予防サービスが必要な高齢者に対し、訪問・通所サービス、短期入所サービス、認知症対応型共同生活介護、認知症対応型通所介護等の在宅サービスや介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設等の施設サービスを提供するとともに、高額となった利用者負担に対して高額介護サービス費、高額医療合算介護サービス費の支給等を行い、介護サービスの一層の利用促進を図った。 |
| (内訳) | 1号被保険者要介護(要支援)認定者数 2,306人 | | | | |
| | 2号被保険者要介護(要支援)認定者数 32人 | | | | |
| 第1号訪問介護事業 相当サービス 1,905件 基準緩和サービス 20件 第1号通所介護事業 相当サービス 2,539件 基準緩和サービス 295件 | 要支援者等に対して要介護状態になることの予防又は、要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域において自立した日常生活の支援のためのサービスを実施した。 現行の相当サービスの他に基準緩和サービスを設け、多様なサービスの充実を図った。 | | | | |

| | | | |
|----------------------|--------|--|---|
| 一般介護予防事業(3. 2. 1) | 21,317 | 国 保 險 者 機 能 強 化 交 付 金 費 県 支 払 基 金 交 付 金 市 費 | 5,329 4,903 2,664 5,755 2,666 |
| 総合相談事業(3. 3. 1) | 3,097 | 国 県 保 險 市 費 料 費 | 1,192 596 712 597 |
| 高齢者配食サービス事業(3. 3. 4) | 4,220 | 国 県 保 險 市 費 料 費 | 1,624 812 970 814 |
| 認知症総合支援事業(3. 3. 7) | 52 | 国 県 保 險 市 費 料 費 | 20 10 11 11 |

5 飲料水供給施設特別会計

| 種 目 及 び 事 業 名 | 事業費(千円) | 左 財 源 | (千円) |
|-----------------|---------|----------------|--------------|
| 維持管理業務(1. 1. 2) | 2,990 | 使 用 料 繰 入 金 | 528 2,462 |

6 浄化槽整備特別会計

| 種 目 及 び 事 業 名 | 事業費(千円) | 左 財 源 | (千円) |
|------------------|---------|----------------|----------------|
| 浄化槽整備事業(1. 1. 1) | 5,828 | 使 用 料 繰 入 金 | 4,004 1,824 |

7 農業集落排水特別会計

| 種 目 及 び 事 業 名 | 事業費(千円) | 左 財 源 | (千円) |
|-----------------|---------|----------------|------------------|
| 施設管理業務(1. 1. 1) | 45,279 | 使 用 料 繰 入 金 | 30,735 14,544 |

| <p>介護予防教室(委託事業所6カ所実施分) 64回 延べ 675人</p> <p>介護予防教室(包括支援センター実施分) 24回 延べ 319人</p> <p>普及啓発・活動支援(長寿介護課実施分) 24回 延べ 343人</p> <p>地域リハビリテーション活動支援 27回 延べ 411人</p> <p>じゅらく生きがい活動センター 指定管理者 伊予市社会福祉協議会 開館日数 241日 利用延べ人数 16,453人 1日平均利用人数 68.3人</p> <p>ふれあいいいきサロン サロン数 64箇所 年間開催回数 588回 年間延べ参加者数 8,711人</p> | <p>65歳以上のすべての高齢者及びその支援活動に関わる者を対象に介護予防教室等を開催し、介護予防に関する知識の普及啓発に努めた。</p> <p>また 通いの場等へ出向き、リハビリ専門職等により、効果的・効率的な介護予防に関しての技術的支援を行った。</p> <p>介護予防の普及啓発、地域活動の支援や趣味・生きがいづくりに関する事業を行い高齢者福祉及び地域福祉の増進に努めた。</p> <p>各地域の集会所等を利用して高齢者に他者との交流やふれあいの場を提供することにより、孤独感や閉じこもり生活の解消を図り仲間作りを推進した。</p> | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--------|------|-------|------|-----|--------|------|----|----------------|--|--------|---|
| <p>相談受付延べ件数</p> <table border="1"> <tr> <th>委託先</th> <th>相談窓口</th> <th>相談支援</th> </tr> <tr> <td>中山梅寿会</td> <td>564件</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>双海夕なぎ会</td> <td>346件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">包括支援センター相談受付件数</td> <td>2,598件</td> </tr> </table> <p>登録者数(令和5年3月末現在) 196人 見守回数 15,274回 利用者数 延べ 783人</p> <p>認知症初期集中支援チーム設置 1箇所 認知症サポーター養成講座 回数 14回 受講者数 261人</p> | 委託先 | 相談窓口 | 相談支援 | 中山梅寿会 | 564件 | 13件 | 双海夕なぎ会 | 346件 | 1件 | 包括支援センター相談受付件数 | | 2,598件 | <p>65歳以上の高齢者で支援が必要な者に対し、心身の状況や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握し、総合的な相談に応じるとともに、必要に応じて適切な介護・保健・医療・福祉サービスなどの利用につなげる等支援を行い、関係者とのネットワークの構築を図った。</p> <p>見守りが必要と思われる65歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者世帯等に対し、弁当配食に合わせて安否確認を行い、社会的孤立感の解消や自立支援を図るとともに安心して生活が送れるよう支援に努めた。</p> <p>認知症の人が住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けるために認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築を図った。</p> <p>また、認知症の人に対して効果的な支援が行われる体制を構築するために認知症ケアの向上を図るための取組を推進する認知症支援推進員の配置や認知症サポーター養成講座を開催し、ネットワーク構築に努めた。</p> |
| 委託先 | 相談窓口 | 相談支援 | | | | | | | | | | | |
| 中山梅寿会 | 564件 | 13件 | | | | | | | | | | | |
| 双海夕なぎ会 | 346件 | 1件 | | | | | | | | | | | |
| 包括支援センター相談受付件数 | | 2,598件 | | | | | | | | | | | |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|---|--|
| <p>飲料水供給施設諸元(4施設)</p> <p>① 給水戸数 71戸 ② 給水人口 137人 ③ 年間配水量 11,076m³</p> <p>〔施設維持管理〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 水道施設日常運転管理委託 4施設 水道施設機器更新 2件 水道施設機器修繕 1件 水質検査 延べ 24回 | <p>中山町の添賀地区・平村地区・高岡地区・柚之木地区の4地区の飲料水供給施設において、浄水施設及び配水施設の維持管理に努め、給水区域に安定した清浄な水の供給が行えるよう貢献した。</p> |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|--|--|
| <p>市町村設置事業で中山、双海地域に設置された、合併浄化槽の維持管理を行っている。</p> <p>(1)管理基数 101基 (2)修繕基数 23基 (3)譲与同意基数 13基</p> | <p>集合処理事業で行えない地域を個別処理で処理し、水質保全や公衆衛生の向上に貢献できた。</p> <p>令和2年度より設置後10年を超える浄化槽について、個人譲与事業を実施している。</p> |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|--|---|
| <p>農業集落排水処理施設が、現在伊予市において、大平、佐礼谷、犬寄、源氏の4施設があり、施設の維持管理を行っている。</p> <p>1.汚水浄化成果(汚水処理業務＝民間委託)</p> <p>(1)浄化水量(放流量) 178,914m³/年 (2)有収水量 166,112m³/年 (3)有収率[(2)÷(1)] 92.8% (4)汚泥処理</p> <ul style="list-style-type: none"> 大平(脱水汚泥量) 145.08t/年 中山(汲取余剰汚泥量) 162,830ℓ/年 | <p>当該事業は農山村地域の水質向上、地域住民の公衆衛生のため、農家、非農家が混在する住宅密集地域において、生活雑排水の浄化により、公共用水域の水質保全、公衆衛生の向上に貢献できた。</p> |

8 伊予港上屋特別会計

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源 (千円) | |
|----------------|---------|----------|-------|
| 一般管理費(1. 1. 1) | 11,293 | 使用料 | 8,454 |
| | | 繰越金 | 2,831 |
| | | 諸収入 | 8 |

9 後期高齢者医療特別会計

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源 (千円) | |
|-------------|---------|----------|---------|
| 後期高齢者医療制度事業 | 553,184 | 保険料 | 377,399 |
| | | 市費 | 171,291 |
| | | 手数料 | 42 |
| | | 繰越金 | 4,271 |
| | | 諸収入 | 181 |

10 都市総合文化施設運営事業特別会計

| 種目及び事業名 | 事業費(千円) | 左財源 (千円) | |
|-----------------------|---------|----------|--------|
| 都市総合文化施設運営事業(1. 1. 1) | 現年 | 一般会計繰入金 | 45,186 |
| | 70,786 | 基金繰入金 | 25,600 |
| | 繰越 | 繰越金 | 14,300 |
| | 14,300 | | |
| | 合計 | 一般会計繰入金 | 45,186 |
| | 85,086 | 基金繰入金 | 25,600 |
| | | 繰越金 | 14,300 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|---|---|
| (収入) ○上屋使用料 8,997千円 上屋1棟 899㎡ 上屋2棟 961㎡ 上屋3棟 824㎡ (支出) ○上屋敷地使用料 705千円 ○伊予港上屋2棟軒先改修工事 5,588千円 ○一般会計への繰出金 4,738千円 | 企業等の原材料及び製品等の一時保管場所として上屋施設(倉庫)を提供することで、商工業、さらには地域経済の振興・発展に寄与した。 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|--|---|
| 被保険者数 6,676人 75歳以上 6,559人 障害認定該当者(65歳以上75歳未満) 117人 | 75歳以上の後期高齢者(65～74歳の障がいのある前期高齢者を含む)を対象として、愛媛県後期高齢者医療広域連合が保険者となり、市町と分担しながら運営を行う。市は、保険料徴収や窓口業務を中心とする事務を円滑に行い、高齢者が安心して医療サービスを受けられることができるように努めた。 新型コロナウイルス感染症の影響により保険料の納付が困難な方への免除制度や傷病手当制度について、HPや広報紙を活用し周知した。 |

| 事業内容 | 事業効果の概要 |
|---|--|
| ○ ウェルビア伊予各所床改修工事 12,487千円 ○ ウェルビア伊予自動火災報知設備更新工事 10,945千円 ○ ウェルビア伊予目隠しフェンス設置工事 5,173千円 ○ ウェルビア調理場空調設備更新工事 3,892千円 ○ 施設利用者 300,540人 | 伊予市の都市機能並びに文化拠点及び市民等の健康の増進と保養並びに教育の向上を図るため、ウェルビア伊予の運営を行う。 施設の運営は指定管理者が行い、民間経営手法により経費の節減に努めている。 令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策として、各所床改修工事及び調理場空調設備更新工事を実施した。 また、自動火災報知設備更新工事及び目隠しフェンス設置工事等を実施した。 |